

佐世保市の地域福祉に関するアンケート

調査結果報告書

平成24年3月

佐世保市 保健福祉部

目 次

第1章 調査の概要	2
第2章 調査の結果と分析	3
1. 回答者の属性について	3
2. 地域における支え合いの状況や意識について	6
3. 地域における活動の状況や意識などについて	18
4. 地域福祉の推進について	25
5. 自由意見	34
6. 地域別の回答の結果について	40
資料	
アンケート調査票	59

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、佐世保市民の地域での生活における支え合いの状況や、福祉についての意識度を調査するとともに、本市において取り組んでいる事業についての認知度や意向を把握することにより、今後の本市における「地域福祉の推進」に役立てるために実施するもの。

2. 調査期間

平成23年11月24日(木)～12月22日(木)

3. 調査の対象者

市内在住の満16歳以上の市民3,500人
(住民基本台帳からの地区別および年齢層の比例配分による無作為抽出)

4. 調査の方法

調査票記入式のアンケート調査(郵送配付、郵送回収による)

5. 調査票の回収結果

回収数 1,354件 (回収率 38.7%)

【備考】

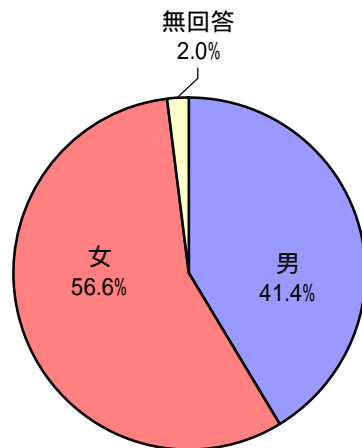
この報告書の見方について

- (1) 各設問の回答については、原則として回答者数を基数とした百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答ができる設問については、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (3) 各設問のうち、調査の主たる目的に関わる設問(問9以降)については、年齢などの属性や他の設問への回答との関連性を調べるため、必要に応じてクロス集計を行っている。
- (4) クロス集計の場合において、各設問の無回答分については、総じて少数なうえ、他の設問に対する回答との関連性を調査する理由は乏しいため、集計の対象から外している。したがって、無回答を除いた数を基数とする各設問に対する回答の比率となっている。
- (5) クロス集計の結果の一部において、表示の都合上、図表中の回答率の数値および回答の選択肢等を省略している場合がある。

第2章 調査の結果と分析

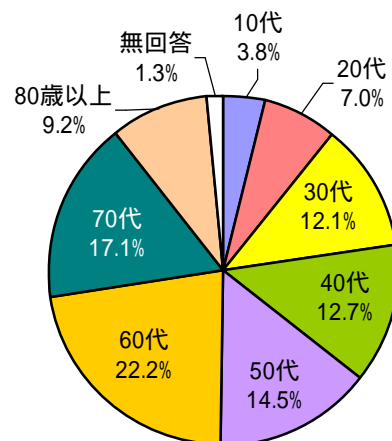
1. 回答者の属性について

(問1) 性別



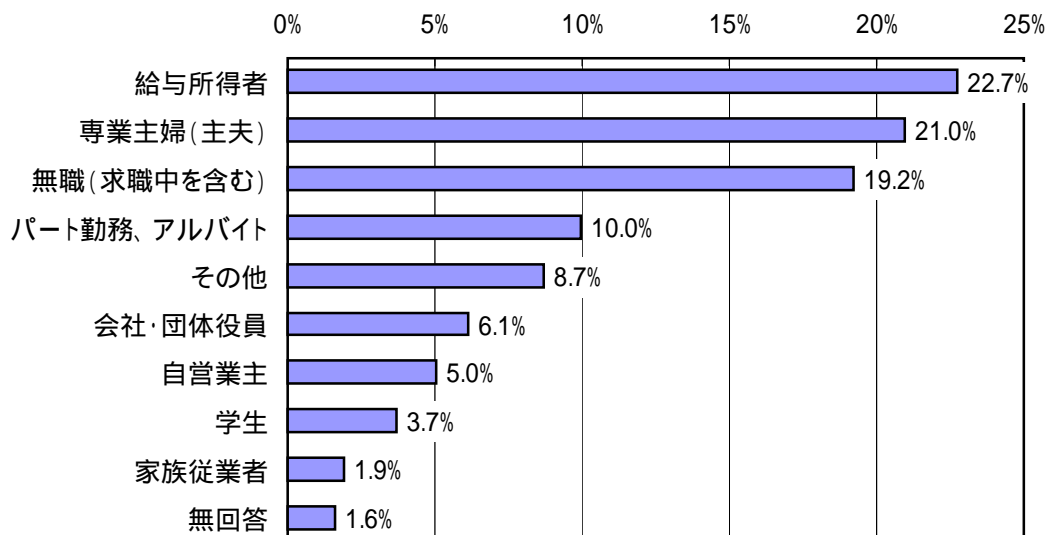
No	回答	数
1	男	560
2	女	767
3	無回答	27
	合計	1,354

(問2) 年齢



No	回答	数
1	10代	51
2	20代	95
3	30代	164
4	40代	172
5	50代	197
6	60代	301
7	70代	232
8	80歳以上	125
9	無回答	17
	合計	1,354

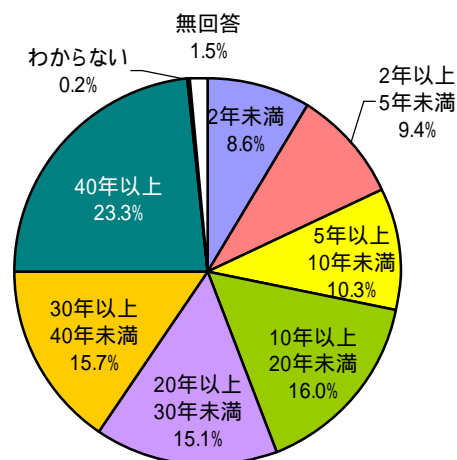
(問3) 職業



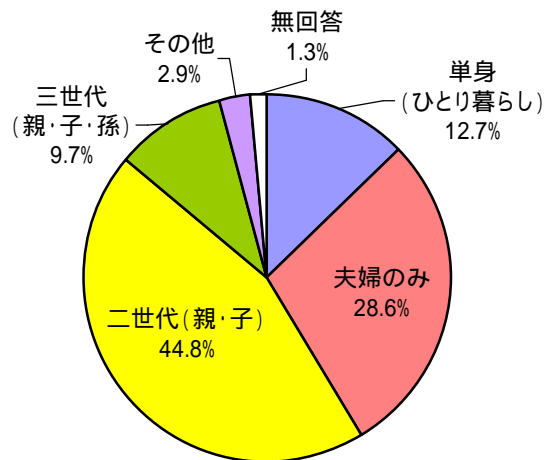
(問4) 居住地域

No	回答	数	%
1	本庁管内	396	29.2
2	相浦支所管内	161	11.9
3	中里・皆瀬支所管内	61	4.5
4	黒島支所管内	6	0.4
5	大野支所管内	99	7.3
6	柚木支所管内	18	1.3
7	日宇支所管内	184	13.6
8	早岐支所管内	181	13.4
9	江上支所管内	25	1.8
10	針尾支所管内	11	0.8
11	三川内支所管内	22	1.6
12	宮支所管内	15	1.1
13	吉井行政センター管内	27	2.0
14	世知原行政センター管内	21	1.6
15	宇久行政センター管内	12	0.9
16	小佐々行政センター管内	27	2.0
17	江迎行政センター管内	36	2.7
18	鹿町行政センター管内	28	2.1
19	わからない	1	0.1
20	無回答	23	1.7
	合計	1,354	100.0

(問5) 居住年数

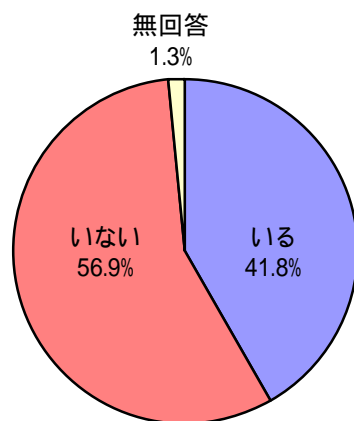


(問6) 家族構成



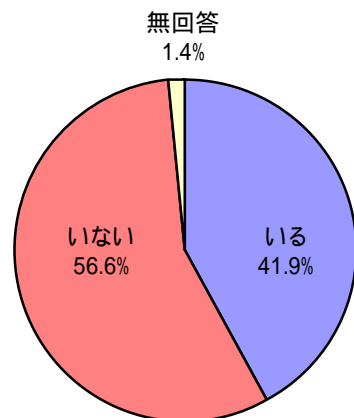
No	回答	数
1	単身	172
2	夫婦のみ	387
3	二世代	606
4	三世代	132
5	その他	39
6	無回答	18
	合計	1,354

(問7) 身近な範囲における要支援・介護認定者の有無



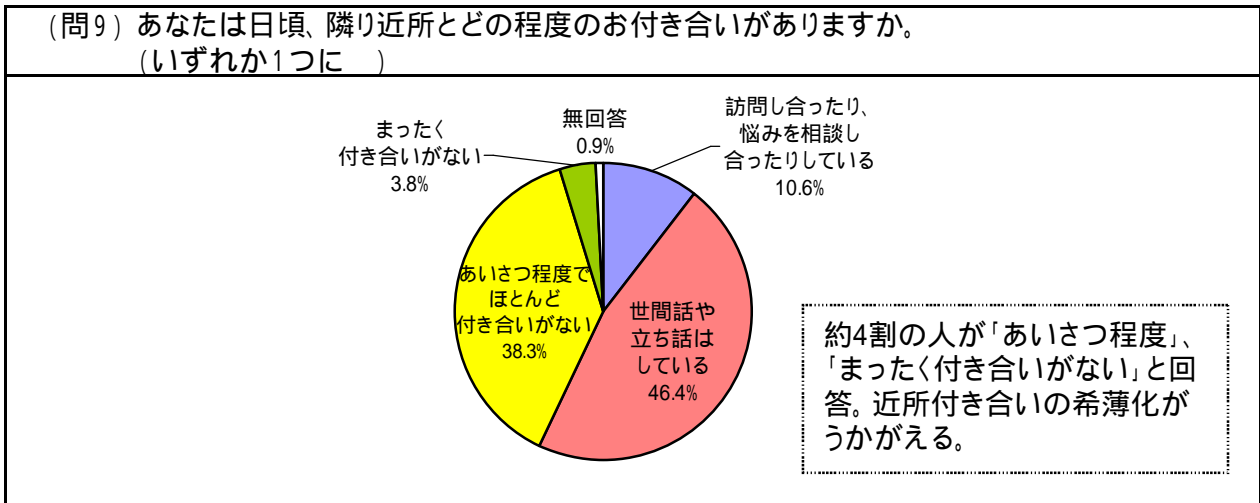
No	回答	数
1	いる	566
2	いない	770
3	無回答	18
	合計	1,354

(問8) 身近な範囲における障がい手帳の所持者の有無



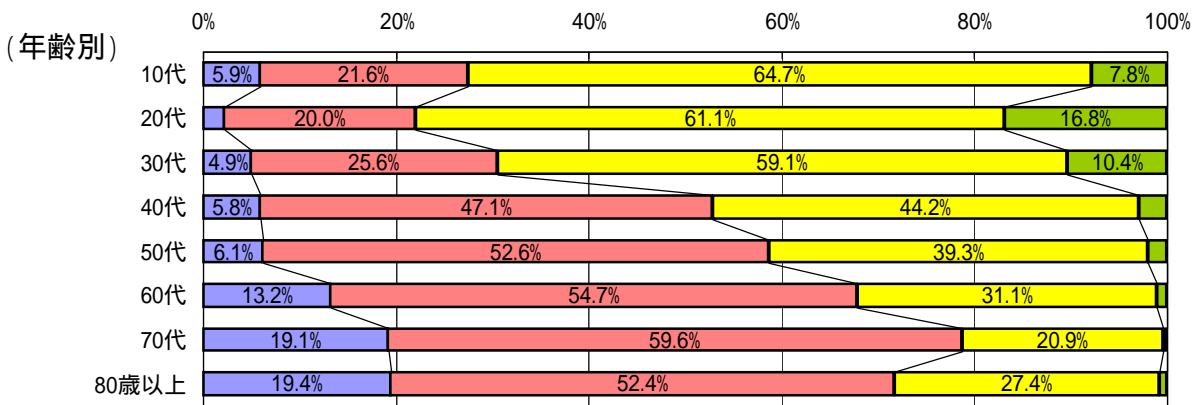
No	回答	数
1	いる	568
2	いない	767
3	無回答	19
	合計	1,354

2. 地域における支え合いの状況や意識について

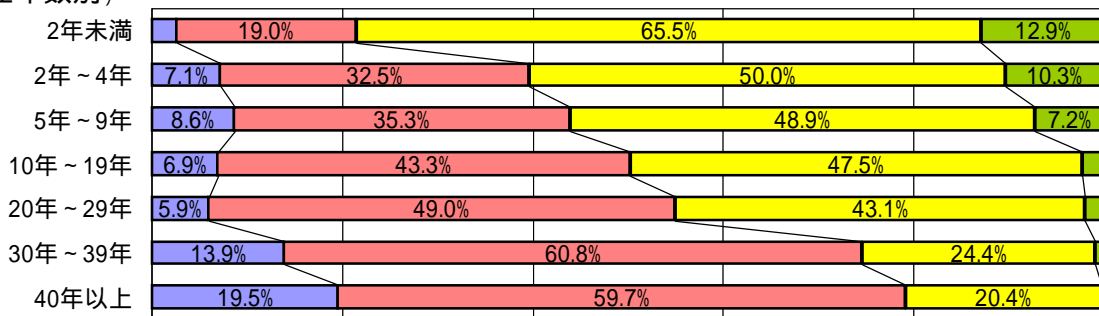


属性別の回答結果

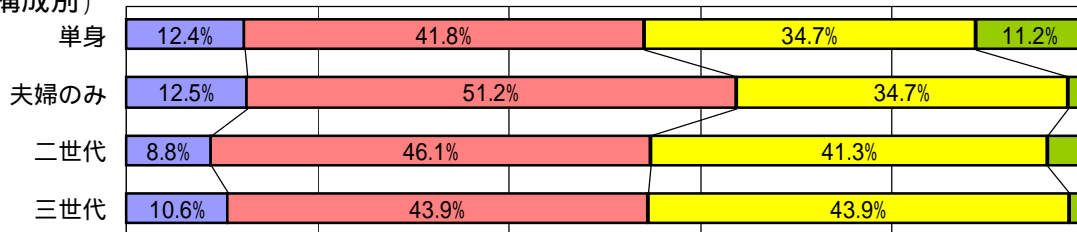
無回答は除く



(居住年数別)

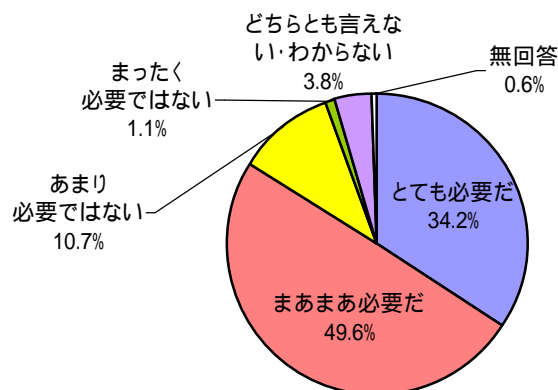


(世帯構成別)



概ね年齢が高いほど近所との関わりがより多く、また付き合い方が深い傾向にある。しかし、居住年数別では、30年を超える場合を除き、「訪問や悩みを相談し合っている」のはそれぞれ1割にも満たず、居住年数にかかわらず付き合いが浅くなっている状況がうかがえる。

(問10) あなたは、日頃の生活を送る上で、隣り近所とのお付き合いが必要だと思いますか。
(いずれか1つに)

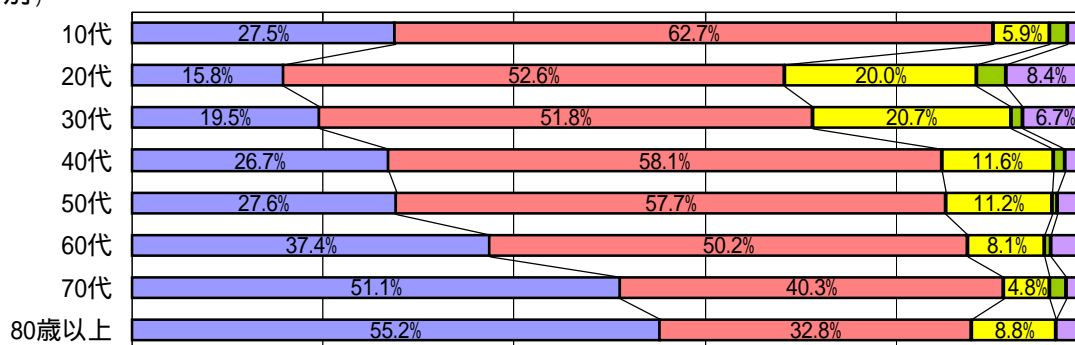


8割を超える人は、隣り近所との付き合いは「とても必要だ」、「まあまあ必要だ」と回答しており、近所付き合いの必要性を感じている人は多い。

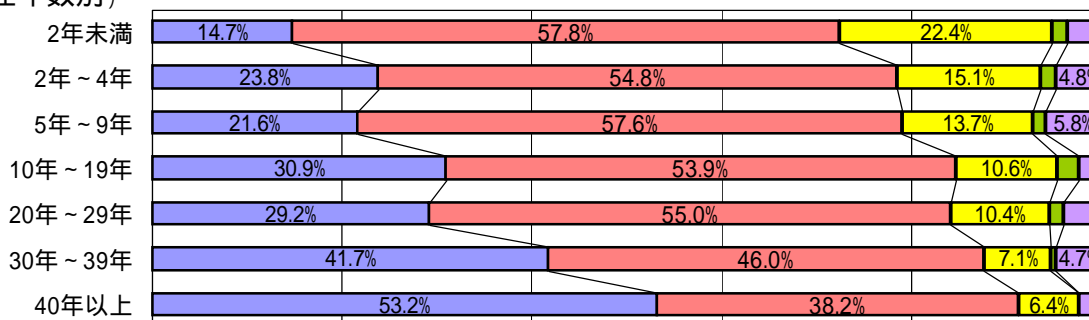
属性別の回答結果

無回答は除く

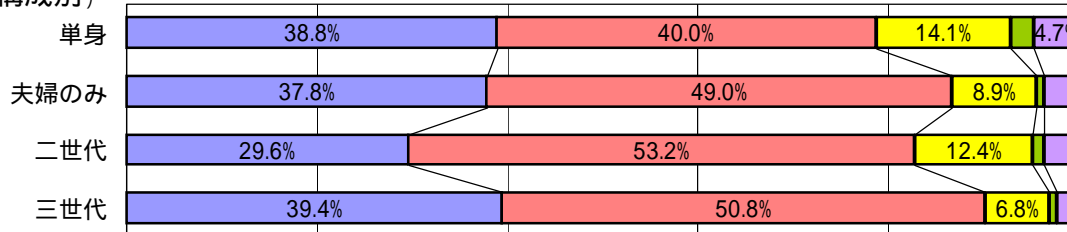
(年齢別) 0% 20% 40% 60% 80% 100%



(居住年数別)



(世帯構成別)

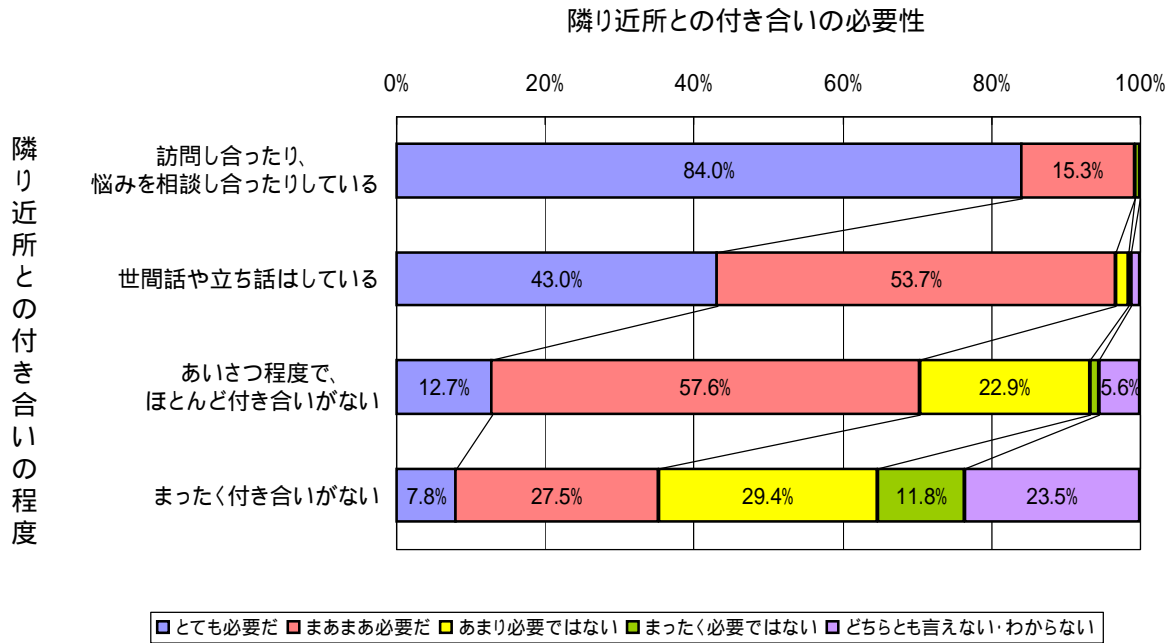


20～30代では、近所付き合いが必要だと答えている割合が他の世代と比較して少ない。その一方で、最も若い10代の約9割が近所付き合いが必要だと回答しているのが特徴的。また、居住年数別では、概ね長くなるほど近所付き合いの必要性を強く感じている人が多い傾向にある。世帯構成別では、それほど大きな違いは見られない。

関連する設問との分析

無回答は除く

隣り近所との付き合いの程度(問9の結果)との関係

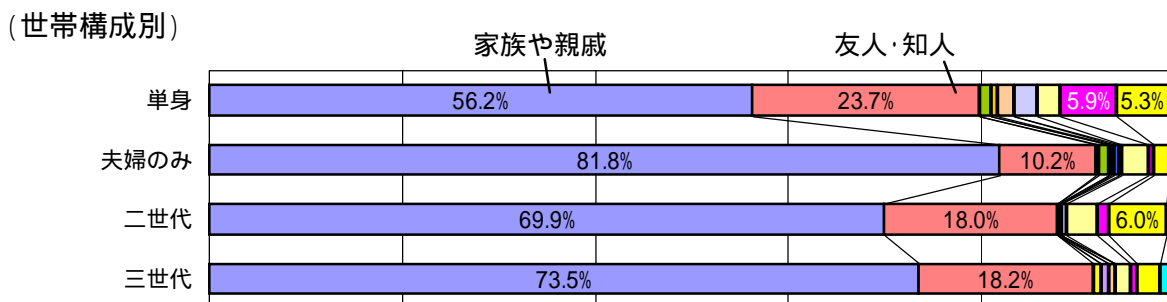
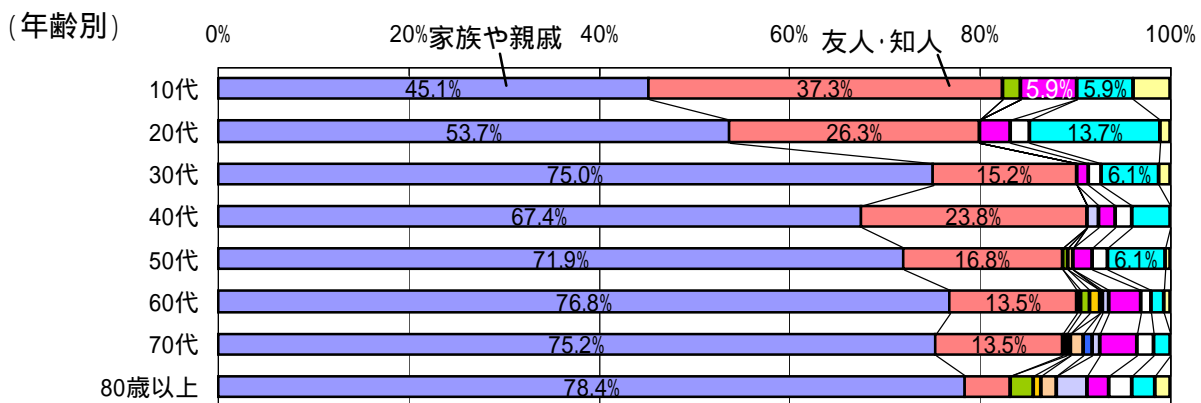


日頃から隣り近所と訪問や相談をし合っている人は、付き合いの必要性も強く感じている。日頃の近所付き合いの程度によって、その必要性に対する意識も大きく差が生じている。

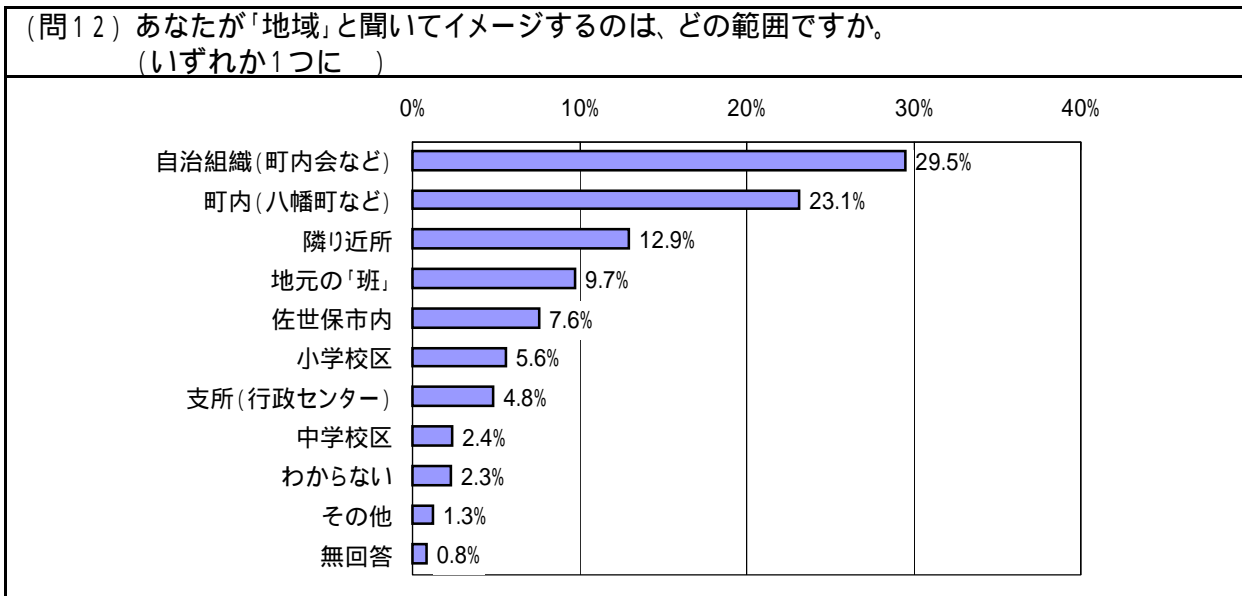
(問11) あなたに悩みや困り事があったときの、身近な相談相手は誰ですか。
(いずれか1つに)

選択肢	回答率(%)
1 家族や親戚	71.1%
2 友人・知人	16.5%
3 地区の民生委員や主任児童委員	0.1%
4 市役所など行政機関の相談窓口	0.7%
5 社会福祉協議会	0.1%
6 福祉関係の事業所の職員	0.3%
7 ボランティアやNPOの活動をしている人	0.0%
8 かかりつけの医療機関	0.4%
9 町内会・自治会・公民館などの長	0.2%
10 隣り近所の人	0.7%
11 誰にも相談せず、自分で解決する	2.7%
12 相談相手はいない	1.5%
13 その他	4.1%
14 わからない	0.7%
無回答	0.7%

属性別の回答結果 無回答は除く



10～20代では、「友人・知人」に相談する割合が比較的多いが、30代以上では、それぞれ7割前後の人が「家族や親戚」を身近な相談相手としている。また、世帯構成別では、単身世帯の人は相談相手を「友人・知人」と回答している人の割合が比較的多いが、それ以外では、「家族や親戚」と回答している割合が圧倒的に多い。



属性別の回答結果(上位3項目)

(年齢別)

	1位	2位	3位
10代	町内(36.0%)	地元の自治組織(24.0%)	中学校区(10.0%)
20代	町内(42.1%)	佐世保市内(17.9%)	地元の自治組織(9.5%)
30代	町内(30.5%)	地元の自治組織(26.2%)	佐世保市内(14.0%)
40代	地元の自治組織(29.7%)	町内(26.2%)	小学校区(13.4%)
50代	地元の自治組織(39.8%)	町内(23.5%)	地元の「班」(8.2%) 支所(8.2%)
60代	地元の自治組織(34.0%)	町内(20.9%)	隣り近所(13.8%)
70代	地元の自治組織(27.7%)	隣り近所(25.1%)	地元の「班」(16.5%)
80歳以上	隣り近所(29.8%)	地元の自治組織(27.4%)	町内(12.9%)

(居住年数別)

	1位	2位	3位
2年未満	町内(33.6%)	地元の自治組織(24.1%)	佐世保市内(16.4%)
～4年	地元の自治組織(30.2%)	町内(27.0%)	佐世保市内(11.1%)
～9年	地元の自治組織(25.9%)	町内(20.9%)	小学校区(13.7%)
～19年	地元の自治組織(32.4%)	町内(23.6%)	隣り近所(8.8%)
～29年	地元の自治組織(30.2%)	町内(26.2%)	地元の「班」(12.9%)
～39年	地元の自治組織(34.1%)	町内(19.9%)	隣り近所(14.7%)
40年～	地元の自治組織(27.5%)	隣り近所(22.0%)	町内(19.5%)

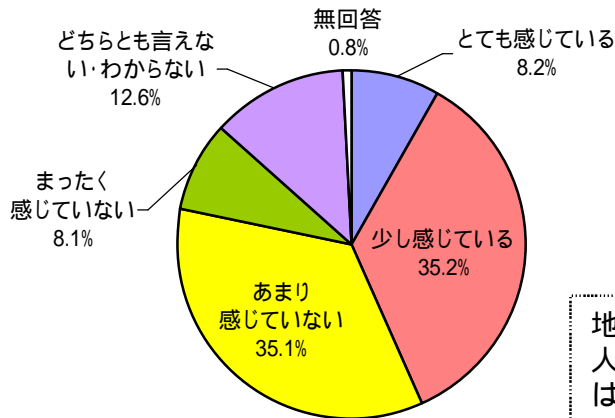
(世帯構成別)

	1位	2位	3位
単身	隣り近所(24.7%)	地元の自治組織(21.8%)	町内(20.6%)
夫婦のみ	地元の自治組織(35.2%)	町内(20.1%)	隣り近所(13.1%)
二世帯	地元の自治組織(29.1%)	町内(26.0%)	佐世保市内(9.4%)
三世帯	町内(26.5%)	地元の自治組織(25.8%)	隣り近所(15.2%)

20～30代では、「佐世保市内」が上位に入っている一方、60代以上では「隣り近所」が上位に入るなど、年齢が高いほど「地域」と聞いてイメージする範囲は狭くなっている。また、居住年数別では、居住期間が短い4年以下に「佐世保市内」が上位に入るなど、概ね居住年数が長いほど地域としてイメージする範囲は狭い。世帯構成別では、単身世帯で「隣り近所」の回答が最も多くなっている。

第2章 調査の結果と分析
2. 地域における支え合いの状況や意識について

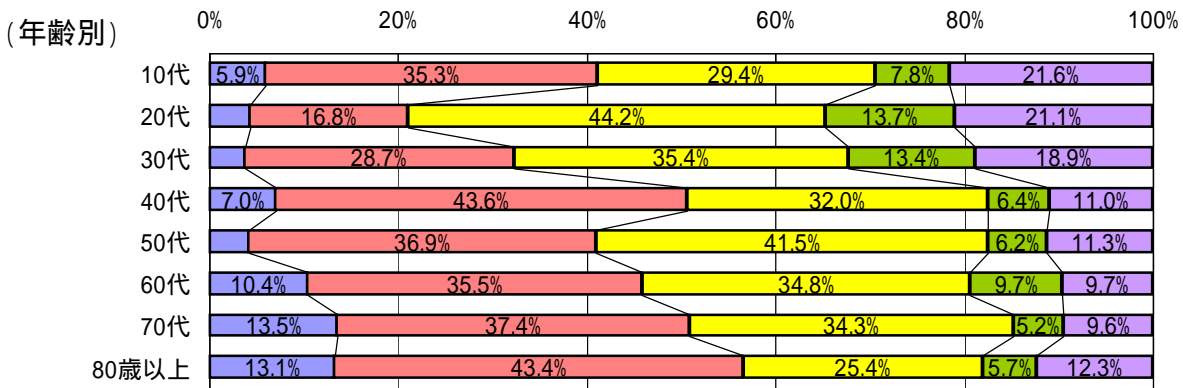
(問13) あなたのお住まいの地域では、子ども、高齢者、障がい者を含めて、お互いの生活を地域全体で支え合っていると感じていますか。
(いずれか1つに)



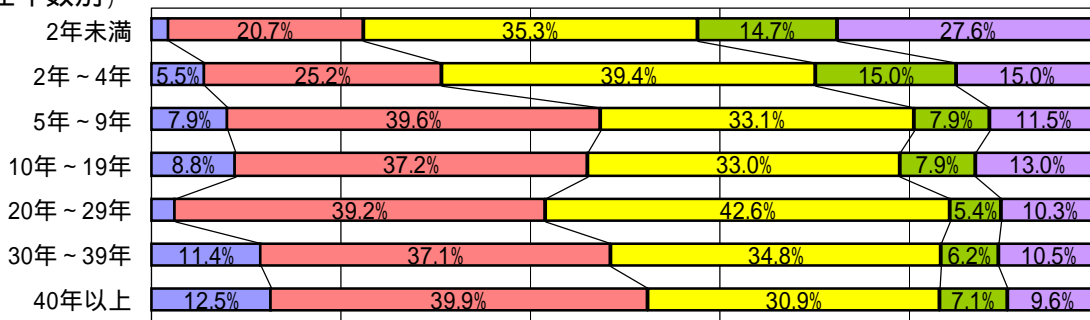
地域の支え合いを感じている人と感じていない人の割合は、ほぼ同じである。

属性別の回答結果

無回答は除く



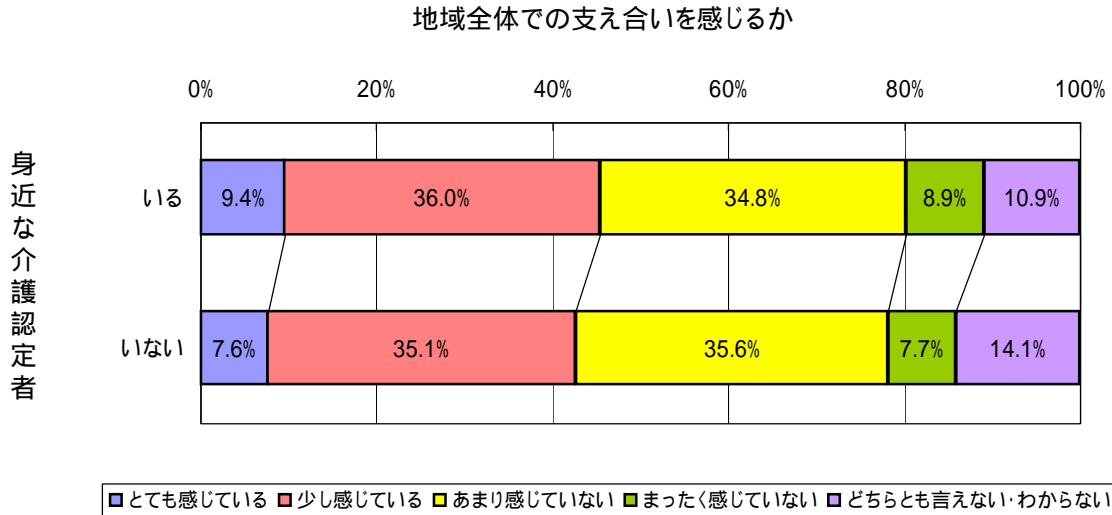
(居住年数別)



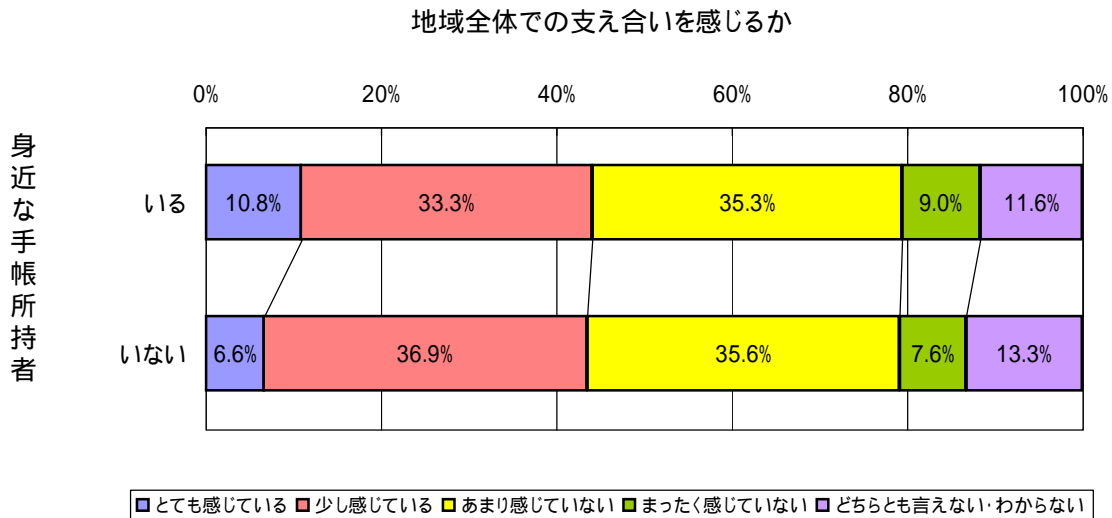
20～30代においては、地域の支え合いを少しでも感じている人は、2～3割余りと少ない。また、30年以上の長期居住者では、「とても感じている」と回答した人の割合が若干多い。しかし、「少し感じている」を含めると、5年以上の居住者間では感じ方に大きな差は見られない。

関連する設問との分析

身近な介護認定者の有無(問7の結果)との関係

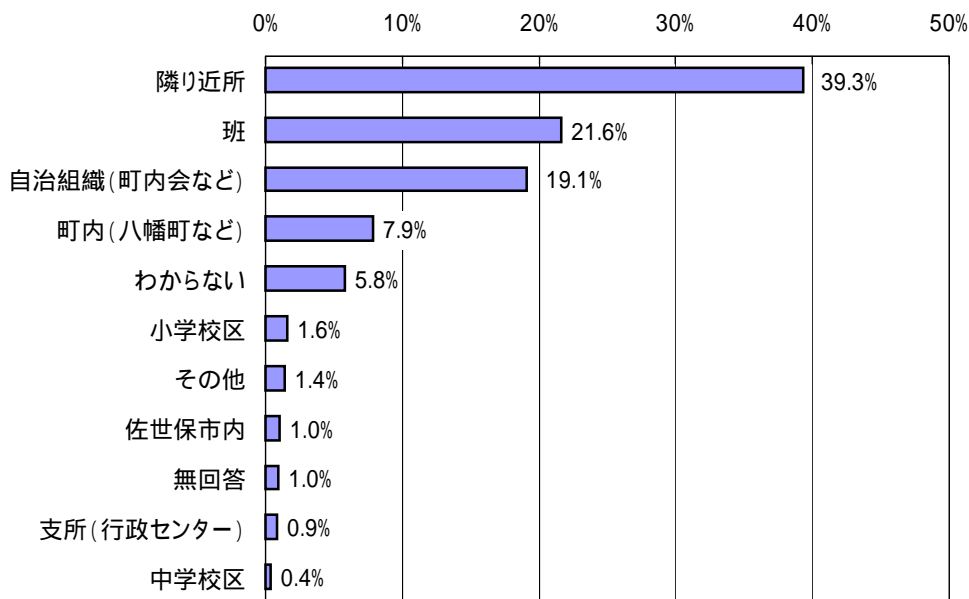


身近な障がいの手帳所持者の有無(問8の結果)との関係



介護認定者や障がいの手帳を持っている人が身近にいる方が、地域での支え合いを「とても感じている」と回答した人の割合は多い。しかし、「少し感じている」を合わせると大きな差は見られない。

(問14) あなたは、住民同士がお互いに助け合えるのは、どの範囲だと思いますか。
(いずれか1つに)



「隣り近所」、地元の「班」や「自治組織(町内会など)」という狭い範囲の回答が全体の8割を占めている。

属性別の回答結果(上位3項目)

(年齢別)

	1位	2位	3位
10代	隣り近所(29.4%)	町内(25.5%)	地元の自治組織(21.6%)
20代	隣り近所(41.1%)	地元の「班」(18.9%)	町内(12.6%)
30代	隣り近所(33.5%)	地元の自治組織(20.7%)	地元の「班」(18.9%)
40代	隣り近所(30.2%)	地元の「班」(28.5%)	地元の自治組織(19.2%)
50代	隣り近所(33.3%)	地元の「班」(27.2%)	地元の自治組織(22.6%)
60代	隣り近所(38.6%)	地元の自治組織(24.5%)	地元の「班」(20.8%)
70代	隣り近所(49.8%)	地元の「班」(24.0%)	地元の自治組織(13.1%)
80歳以上	隣り近所(55.3%)	地元の自治組織(17.9%)	地元の「班」(13.8%)

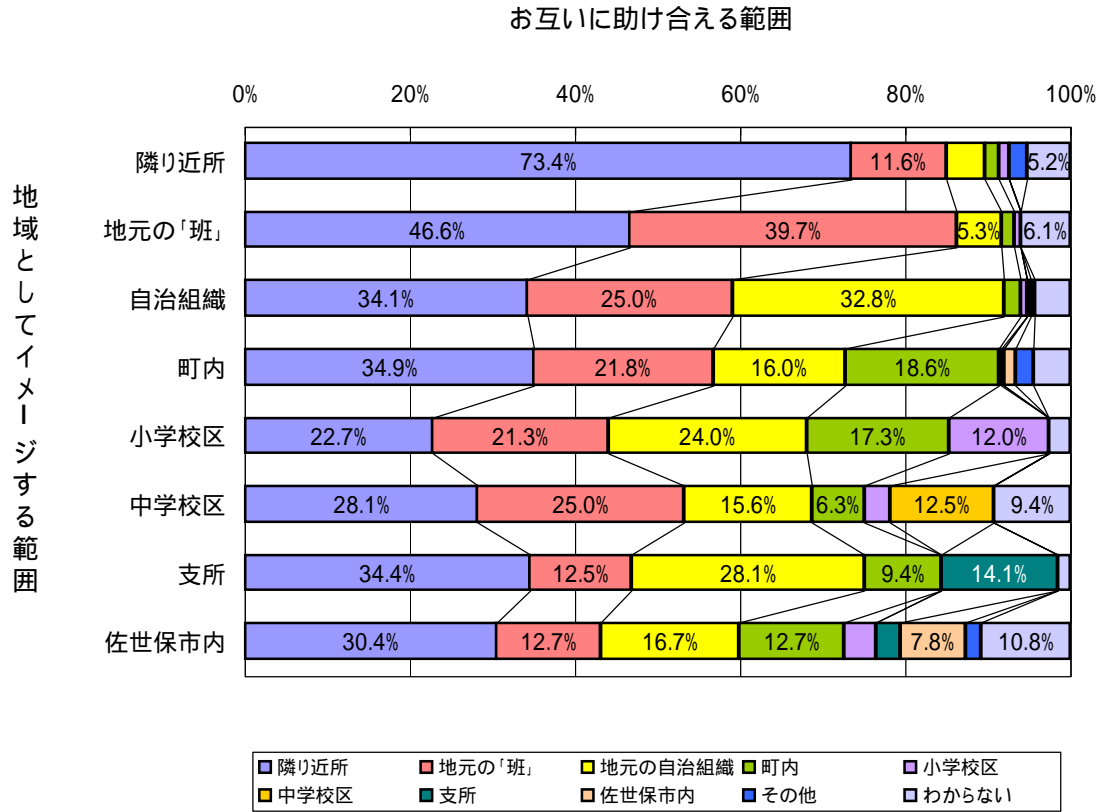
(居住年数別)

	1位	2位	3位
2年未満	隣り近所(31.0%)	地元の「班」(19.8%)	地元の自治組織(17.2%)
～4年	隣り近所(34.6%)	地元の自治組織(18.9%)	地元の「班」(18.1%)
～9年	隣り近所(33.8%)	地元の自治組織(23.7%)	地元の「班」(22.3%)
～19年	隣り近所(40.9%)	地元の自治組織(20.5%)	地元の「班」(16.7%)
～29年	隣り近所(35.8%)	地元の「班」(28.9%)	地元の自治組織(15.7%)
～39年	隣り近所(45.2%)	地元の「班」(25.7%)	地元の自治組織(21.9%)
40年～	隣り近所(44.2%)	地元の「班」(21.3%)	地元の自治組織(18.1%)

いずれの場合も「隣り近所」という回答が最も多く、次いで地元の「班」や「自治組織」と上位を占め、多くの市民は「住民同士の助け合いは、より身近な範囲で」と考えていることがわかる。

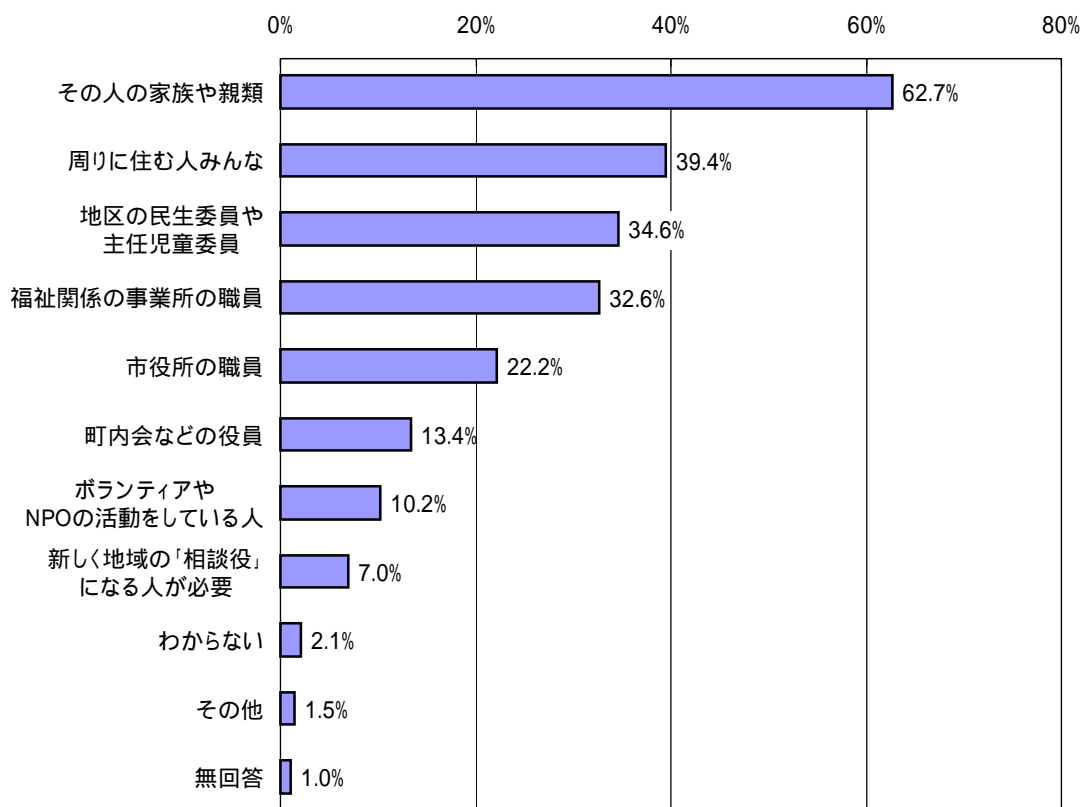
関連する設問との分析

「地域」とイメージする範囲(問12の結果)との関係



地域のイメージを隣り近所と回答した人を除き、多くの人が助け合える範囲は、「地域」としてイメージする範囲よりも狭い結果となっている。

(問15) あなたは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方など、生活上何らかの支援が必要な方が困っているときに、誰がその方の相談相手になるべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに)



「家族や親類」という回答が最も多く、次いで4割近い人が「周りに住む人みんな」と回答。民生委員や主任児童委員、福祉関係の事業所の職員など、特定の目的を持った人と同様に身近な住民を相談相手として考える人も多い。

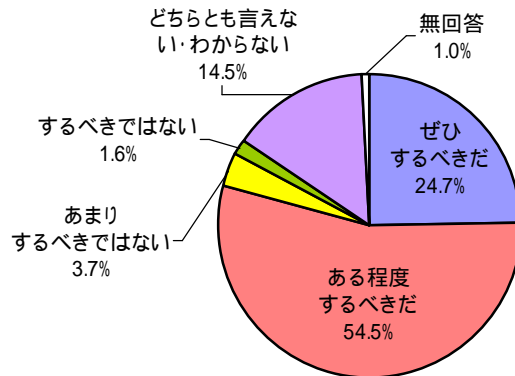
属性別の回答結果(上位3項目)

(年齢別)

	1位	2位	3位
10代	その人の家族や親類(60.8%)	周りに住む人みんな(54.9%)	福祉関係の事業所の職員(35.3%)
20代	その人の家族や親類(71.6%)	福祉関係の事業所の職員(40.0%)	周りに住む人みんな(35.8%)
30代	その人の家族や親類(73.2%)	福祉関係の事業所の職員(39.6%)	市役所の職員(38.4%)
40代	その人の家族や親類(76.2%)	福祉関係の事業所の職員(46.5%)	周りに住む人みんな(44.8%) 民生委員や主任児童委員(44.8%)
50代	その人の家族や親類(67.0%)	民生委員や主任児童委員(44.7%)	周りに住む人みんな(41.1%)
60代	その人の家族や親類(54.8%)	周りに住む人みんな(42.2%)	民生委員や主任児童委員(36.2%)
70代	その人の家族や親類(54.7%)	周りに住む人みんな(35.3%)	民生委員や主任児童委員(33.2%)
80歳以上	その人の家族や親類(52.0%)	周りに住む人みんな(34.4%)	民生委員や主任児童委員(28.0%)

いずれの年代も「家族や親類」という回答が最も多い。また、「周りに住む人みんな」が、30代を除くすべての年代で上位に入っている。

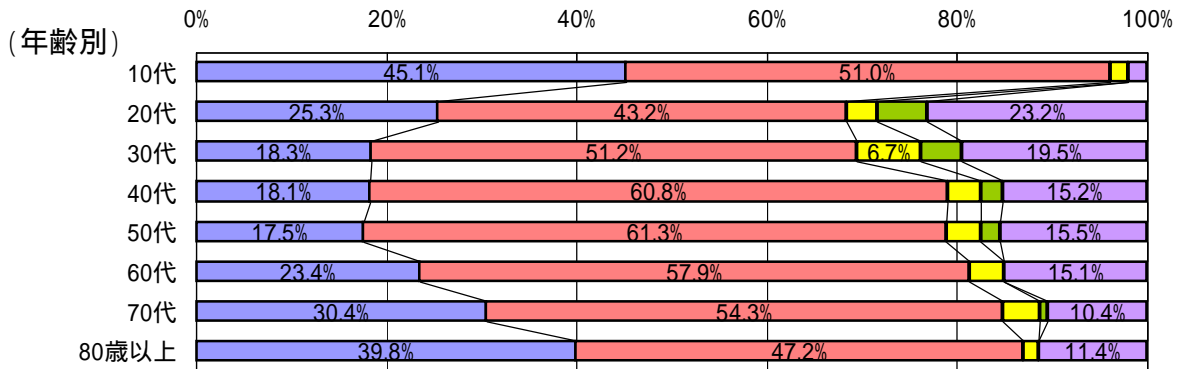
(問16) あなたは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方など、生活上何らかの支援が必要な方に対して、地域で助け合って日常生活のお手伝いなどをするべきだと思いますか。
(いずれか1つに)



「ぜひするべきだ」、「ある程度するべきだ」と8割近くの方が回答しており、地域での助け合いが必要だという意識は高い。

属性別の回答結果

無回答は除く

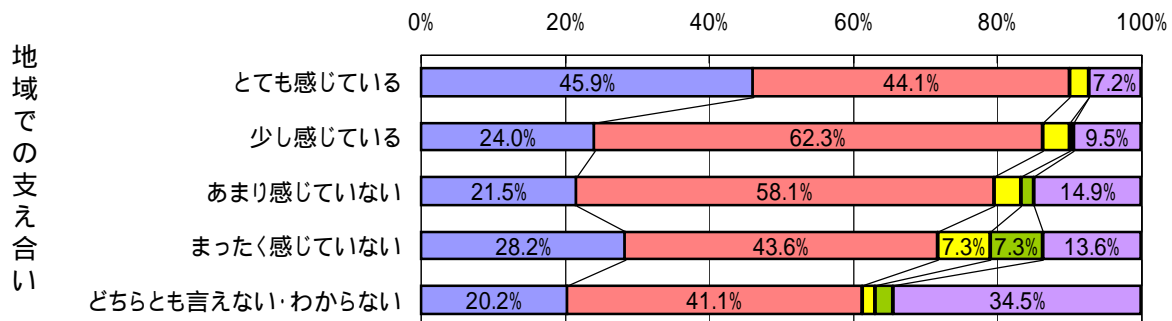


「ぜひするべきだ」という回答が、10代と80歳以上で40%前後と他の年代と比較して高いのが特徴的。

関連する設問との分析

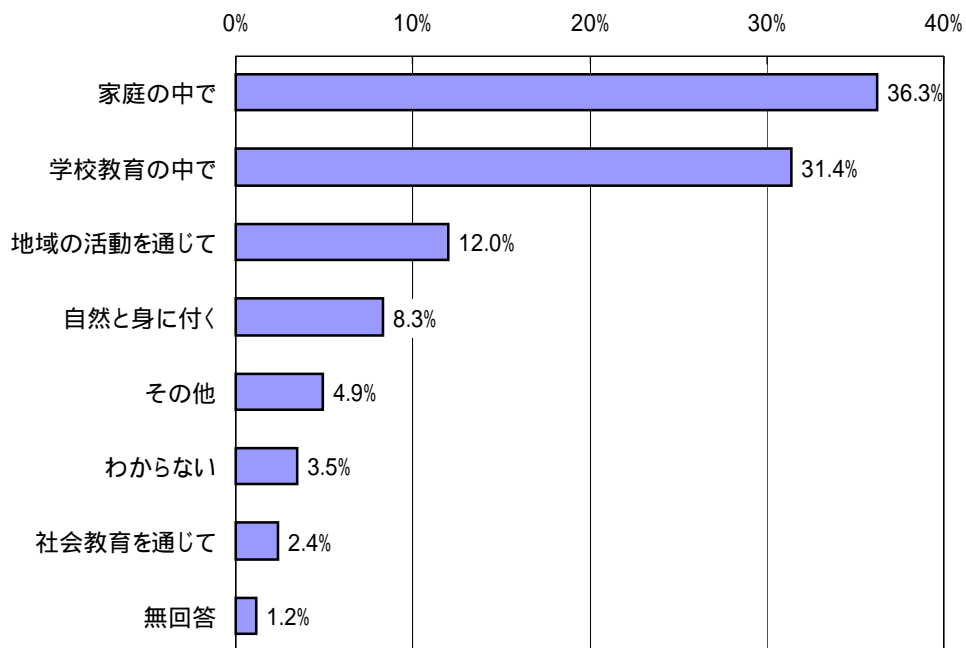
地域での支え合いの状況に対する感じ方(問13の結果)との関係

地域で助け合って生活の支援をすべきか



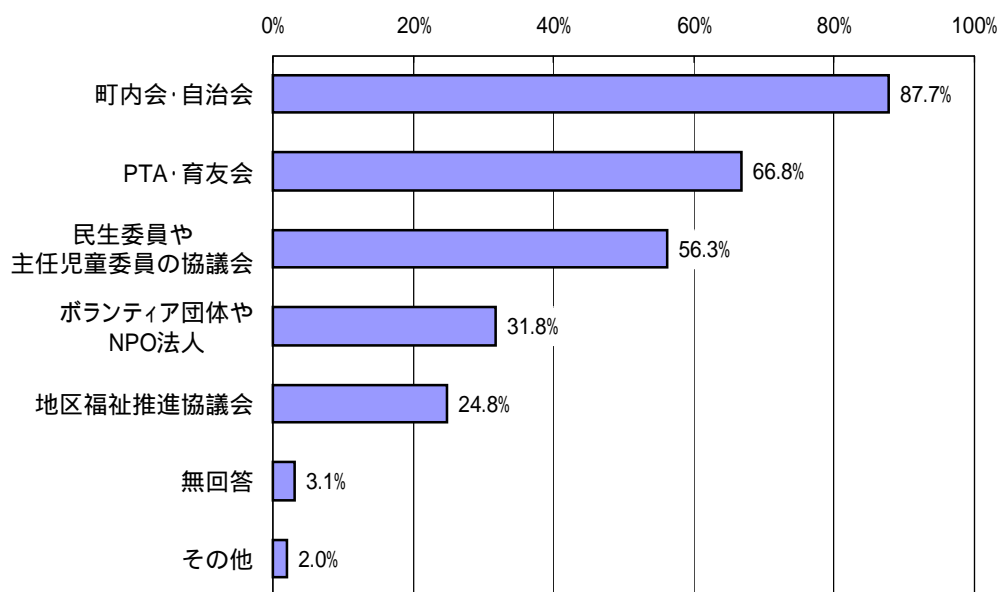
地域での支え合いを感じている人ほど、地域で助け合って生活の支援をすべきという意識も高くなっている。しかし、地域での支え合いを「あまり感じていない」、「まったく感じていない」と回答した人の中にも、地域での助け合いは「ぜひするべきだ」、「ある程度するべきだ」と感じている人がそれぞれ7割を超えており、市民の多くが地域での支え合いの必要性を感じている。

(問17) あなたは、児童・生徒に対する福祉教育(思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育)について、どのように行うべきだと思いますか。
 (いずれか1つに)



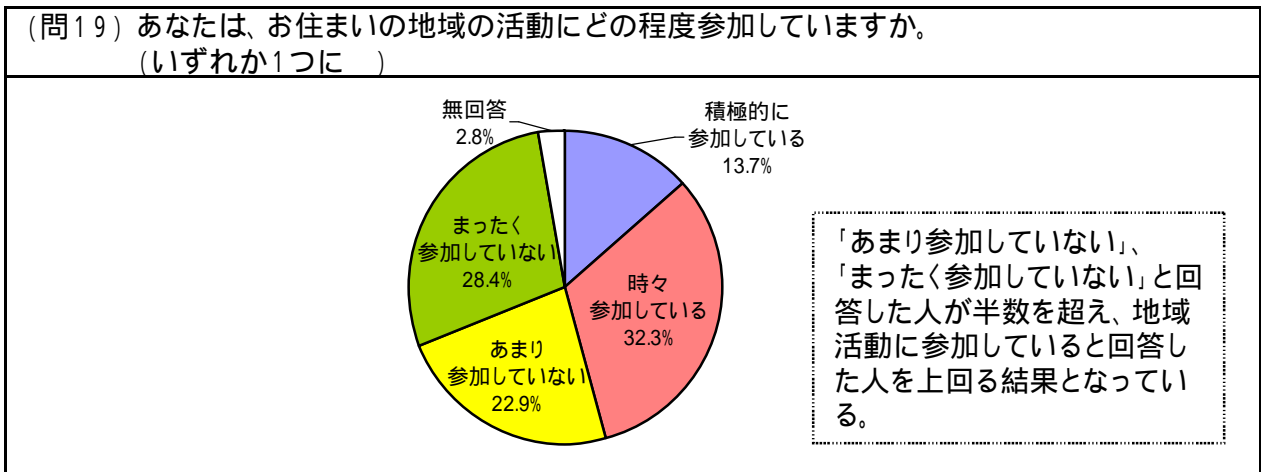
家庭や学校教育の中で学ぶべきと回答した人が全体の7割近くを占めている。また、教育の場を限定せず、家庭や学校、地域などで総合的に学ぶべきという意見も多数あった。

(問18) 地域には、町内会や自治会などの組織のほか、地区福祉推進協議会などのさまざまな団体が活動していますが、あなたは、どのような団体を知っていますか。
 (知っているものすべてに)



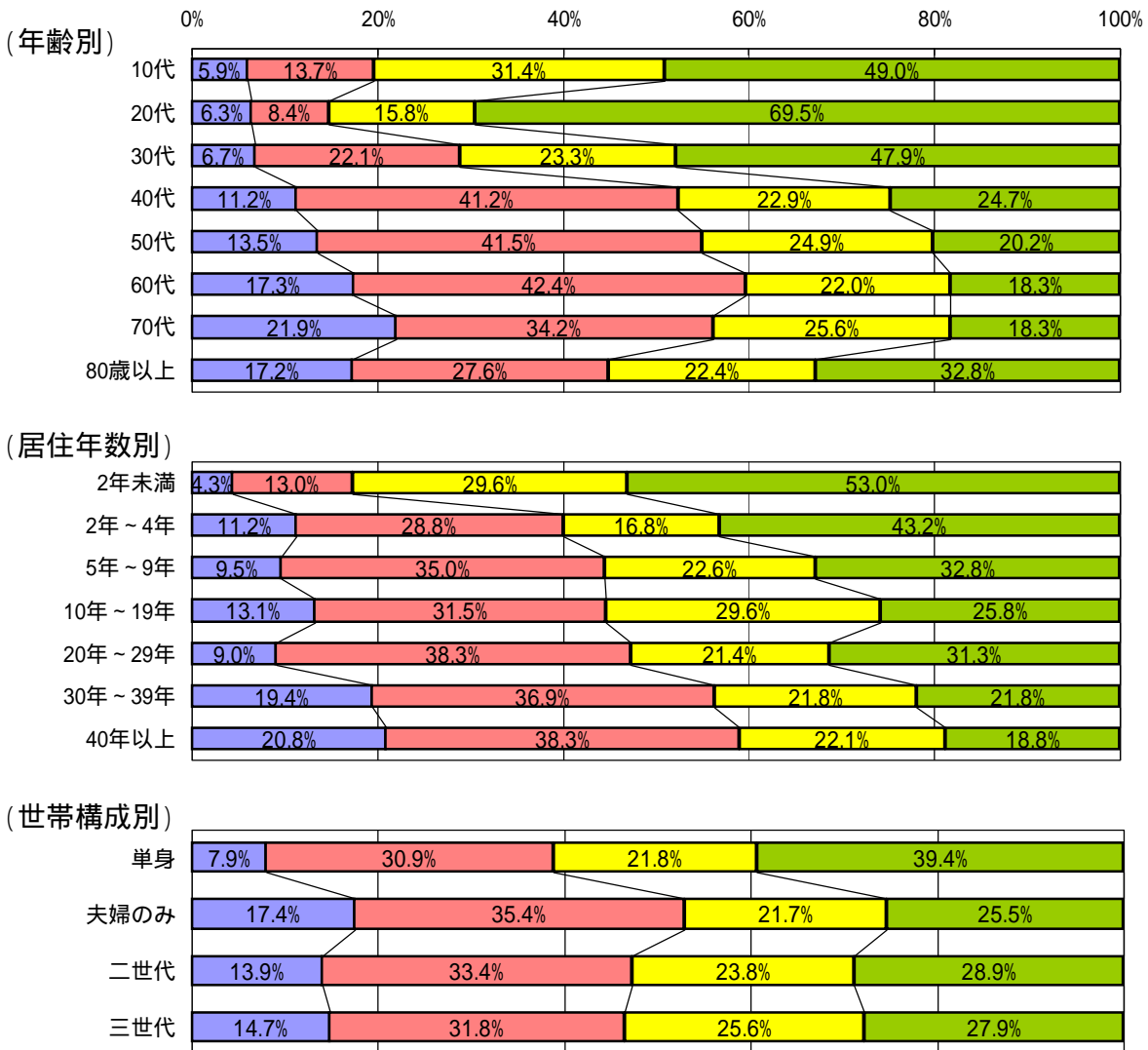
「町内会・自治会」の認知度が最も高く、9割近くの人を知っていると回答。地区福祉推進協議会については、24.8%と低い結果となっている。

3. 地域における活動の状況や意識などについて



属性別の回答結果

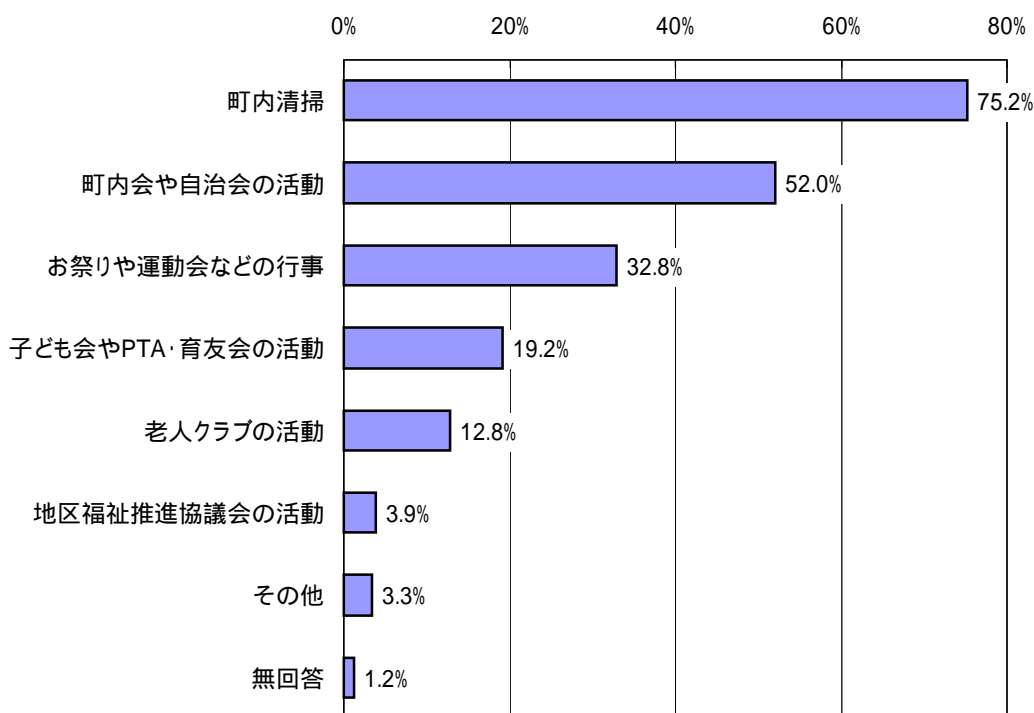
無回答は除く



概ね年齢が高いほど地域活動に参加している割合が高い。10～30代では、5～7割近くの人が「まったく参加していない」と回答しており、若年層の地域活動の参加率の低さが際立っている。また、概ね居住年数が長いほど地域活動への参加率が高い。世帯構成別では、単身世帯の参加率が低い。

問19で地域活動について「まったく参加していない」と答えた人は除く

(問20) あなたは、地域でどのような活動や行事に参加していますか。
(あてはまるものすべてに)



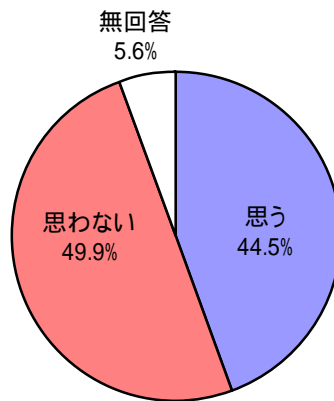
属性別の回答結果 (上位3項目)

(年齢別)

	1位	2位	3位
10代	お祭りなどの行事 (53.8%)	町内清掃 (42.3%)	子ども会・PTAなどの活動 (26.9%)
20代	町内清掃 (69.0%)	お祭りなどの行事 (44.8%)	町内会や自治会の活動 (20.7%)
30代	町内清掃 (75.3%)	お祭りなどの行事 (54.1%)	町内会や自治会の活動 (47.1%)
40代	町内清掃 (75.8%)	町内会や自治会の活動 (64.1%)	子ども会・PTAなどの活動 (53.1%)
50代	町内清掃 (81.8%)	町内会や自治会の活動 (65.6%)	お祭りなどの行事 (33.1%)
60代	町内清掃 (83.0%)	町内会や自治会の活動 (58.5%)	お祭りなどの行事 (32.0%)
70代	町内清掃 (73.7%)	町内会や自治会の活動 (44.1%)	老人クラブの活動 (31.3%)
80歳以上	町内清掃 (57.7%)	老人クラブの活動 (46.2%)	町内会や自治会の活動 (33.3%)

「町内清掃」や「町内会・自治会の活動」は、幅広い年代で上位に入っている。20～40代の子育て世代では、「お祭りなどの行事」や「子ども会・PTAなどの活動」が上位に入っており、子どもを通じて地域活動に参加する機会を得ている人も多いと考えられる。

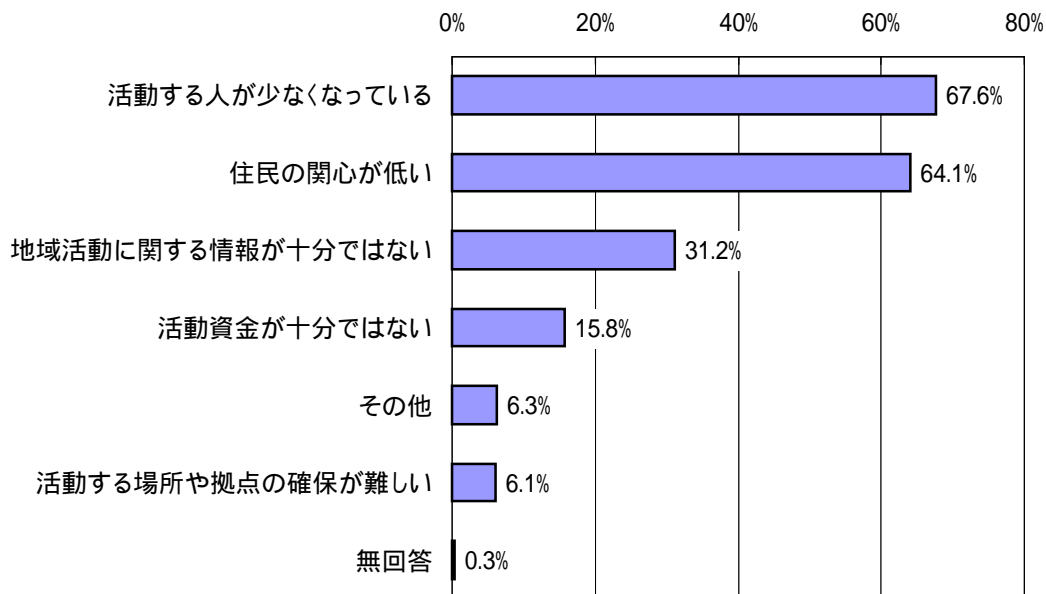
(問21) あなたは、現在の地域の活動に問題があると思いますか。
 (いずれか1つに)



半数近くの人が、地域活動に何らかの問題を感じている。

問21で地域の活動に「問題がある」と答えた人のみ回答

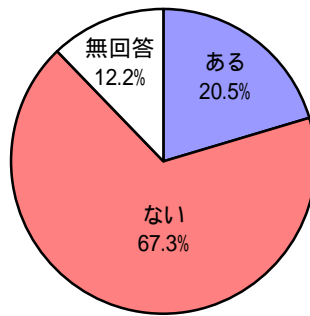
(問22) あなたは、地域の活動の問題点はどのようなことだと思いますか。
 (あてはまるものすべてに)



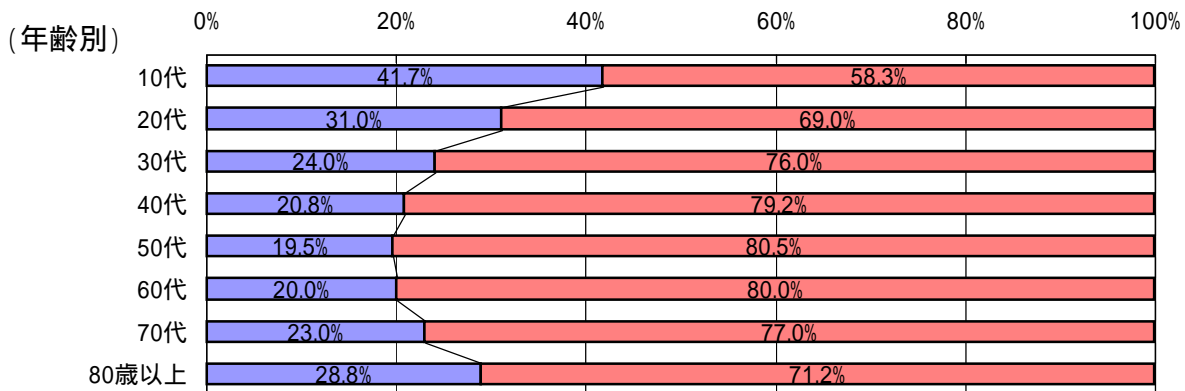
地域活動の問題として、活動する人材の不足が最も多く、次いで住民の関心の低さが挙げられている。地域活動に対する住民の意識低下が、活動に携わる人材不足を招く要因の一つになっているとも考えられる。

第2章 調査の結果と分析
 3. 地域における活動の状況や意識などについて

(問23) あなたは、ボランティア・NPO活動に参加したことがありますか。
 (いずれか1つに)

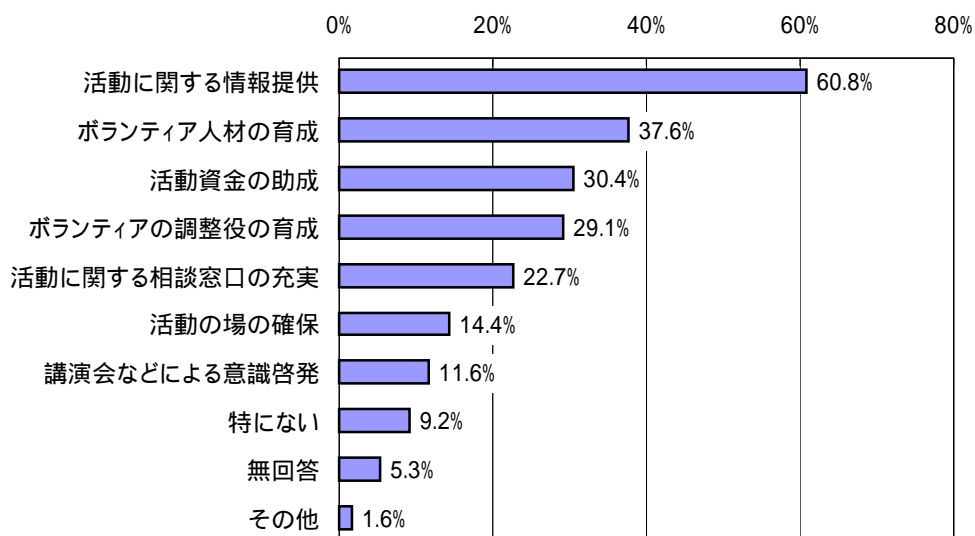


属性別の回答結果 無回答は除く



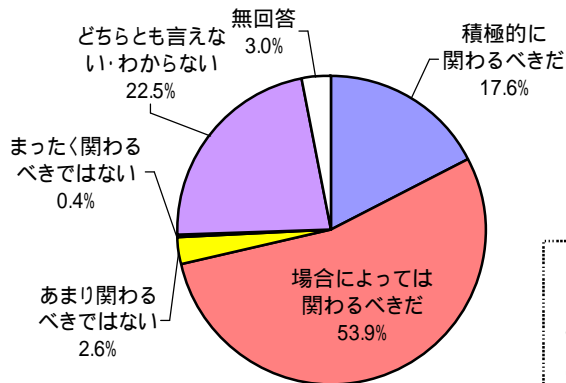
参加したことがあると回答した10代が4割を超え、世代別では最も参加経験が多い。全体的には、ボランティアやNPO活動への参加経験者は2割程度にとどまっている。

(問24) あなたは、ボランティア・NPO活動が活性化するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
 (あてはまるものに3つまで)



6割を超える人が、ボランティアやNPO活動に関するさらなる情報提供の必要性を感じている。

(問25) あなたは、自治会などの“地域”を単位とする組織と、ボランティアやNPOなどの“目的別”の団体の関わり方は、どうあるべきだと思いますか。
 (いずれか1つに)

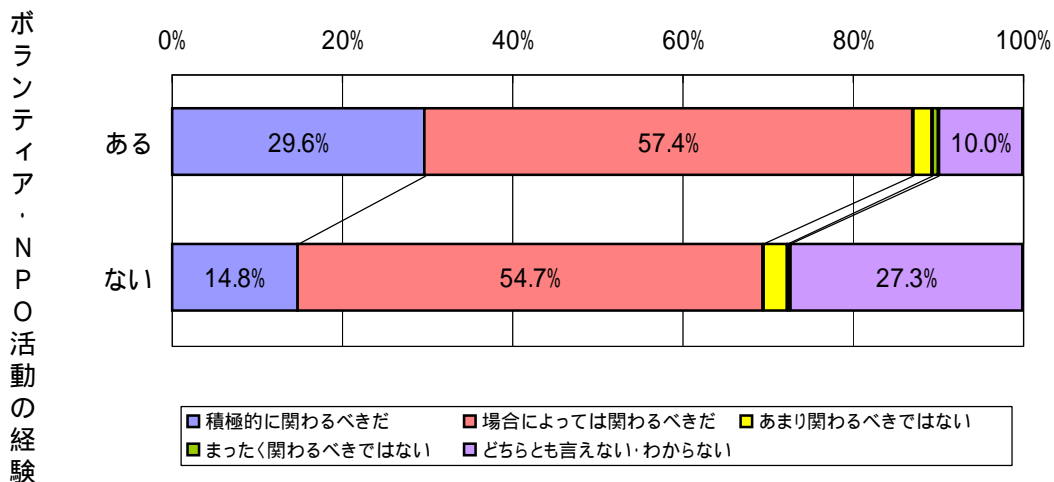


「積極的に関わるべきだ」、
 「場合によっては関わるべきだ」を合わせると7割を超えている。

関連する設問との分析

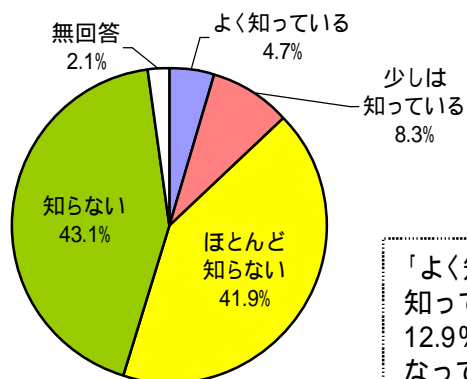
ボランティア・NPO活動の参加経験(問23の結果)との関係

地域別の組織と目的別の団体の関わりについて



ボランティアやNPOなどの活動経験者は、未経験者に比べて地域別の組織と積極的に関わるべきだという回答者が2倍と多い。ボランティアなどの自らの活動経験を通じて、より必要性を感じていることがうかがえる。

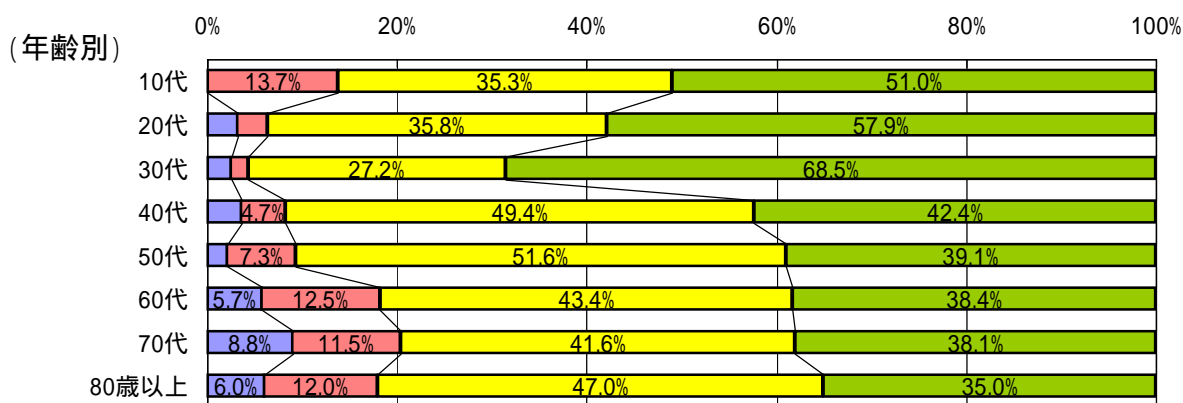
(問26) あなたは、「デイクラブ」や「ふれあいいきいきサロン」などの住民による交流の場があることを知っていますか。
 (いずれか1つに)



「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせても12.9%と認知度が低い結果となっている。

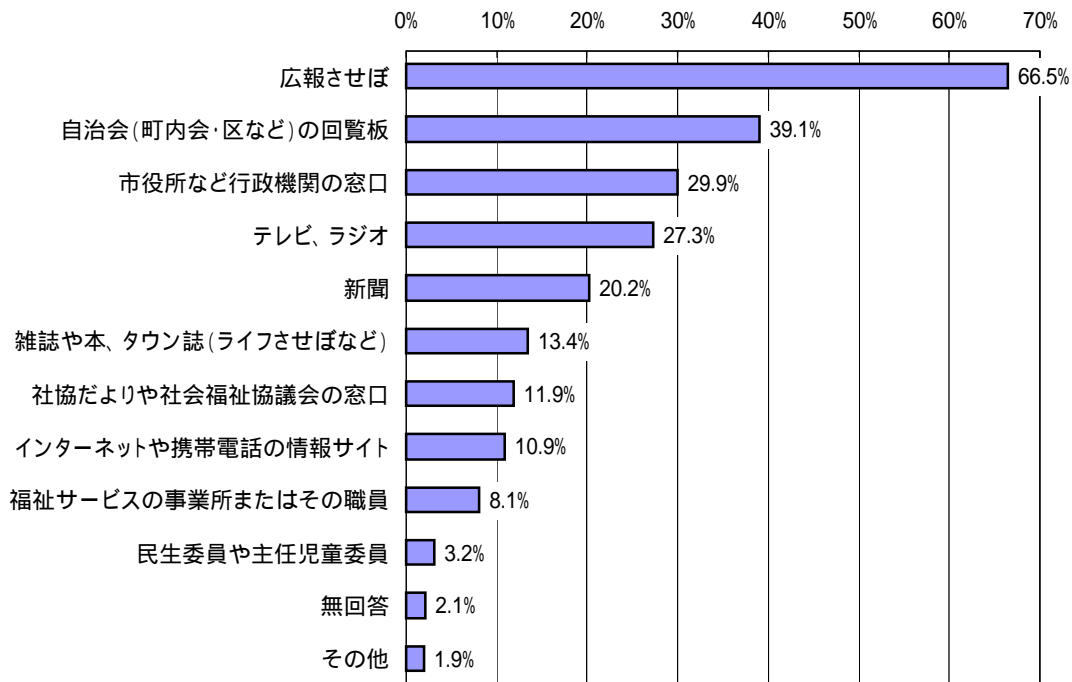
属性別の回答結果

無回答は除く



認知度が最も高い70代でも、「よく知っている」、「少しは知っている」と回答した人は2割にとどまり、20～50代にいたっては1割にも満たない。10代では、「少しは知っている」と回答した人の割合が13.7%と若年層の中では高いのが特徴的。

(問27) あなたが福祉に関する情報を入手する場合、どこから情報を入手しますか。
(あてはまるものに3つまで)



半数を超える人が、情報の入手先として市が発行する「広報させば」と回答している。このほか、自治会の回覧板やテレビ、ラジオ、新聞など、情報を入手するためにさまざまな媒体が利用されているが、インターネットについては1割程度にとどまっている。

属性別の回答結果(上位3項目)

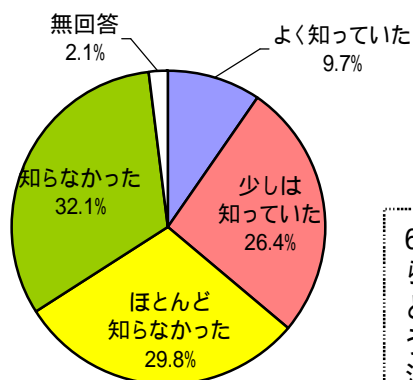
(年齢別)

	1位	2位	3位
10代	テレビ、ラジオ(52.9%)	広報させば(31.4%)	インターネットなどの情報(29.4%)
20代	広報させば(47.4%)	インターネットなどの情報(32.6%)	テレビ、ラジオ(28.4%)
30代	広報させば(64.0%)	市役所などの窓口(38.4%)	自治会の回覧板(26.8%)
40代	広報させば(67.4%)	自治会の回覧板(37.2%)	市役所などの窓口(32.6%)
50代	広報させば(68.5%)	自治会の回覧板(42.1%)	市役所などの窓口(33.0%)
60代	広報させば(75.7%)	自治会の回覧板(51.5%)	テレビ、ラジオ(26.6%) 新聞(26.6%)
70代	広報させば(68.5%)	自治会の回覧板(41.8%)	市役所などの窓口(31.5%)
80歳以上	広報させば(69.6%)	自治会の回覧板(38.4%)	市役所などの窓口(28.0%)

「広報させば」は、幅広い年代にわたって福祉の情報源となっている。また、10～20代の若年層においては、約3割の人が情報入手の手段としてインターネットを活用している。

4. 地域福祉の推進について

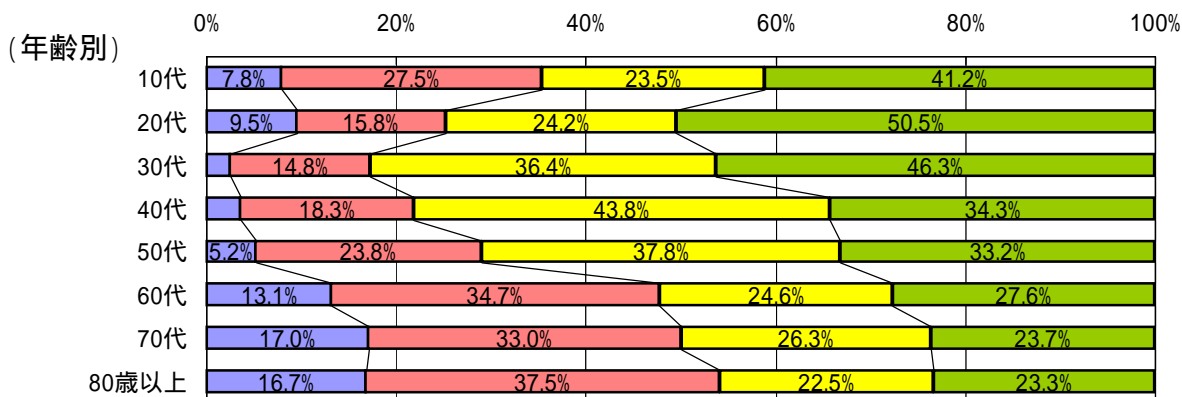
(問28) あなたは、「地域福祉」という言葉を知っていましたか。
(いずれか1つに)



6割を超える人が「ほとんど知らなかった」、「知らなかった」と回答しており、地域福祉という言葉や考え方は、十分には浸透していない。

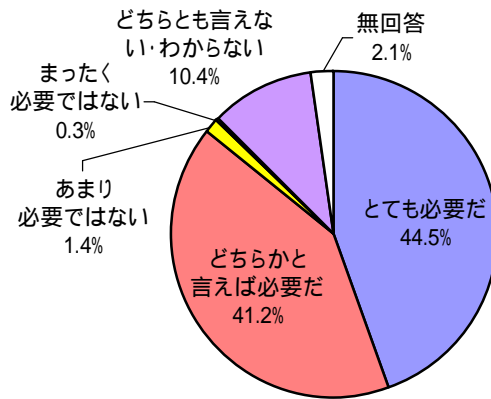
属性別の回答結果

無回答は除く



「よく知っていた」、「少しは知っていた」を合わせて半数を超えたのは70代以上だけで、「地域福祉」の言葉や考え方が幅広い市民に浸透しきれていないのが現状である。

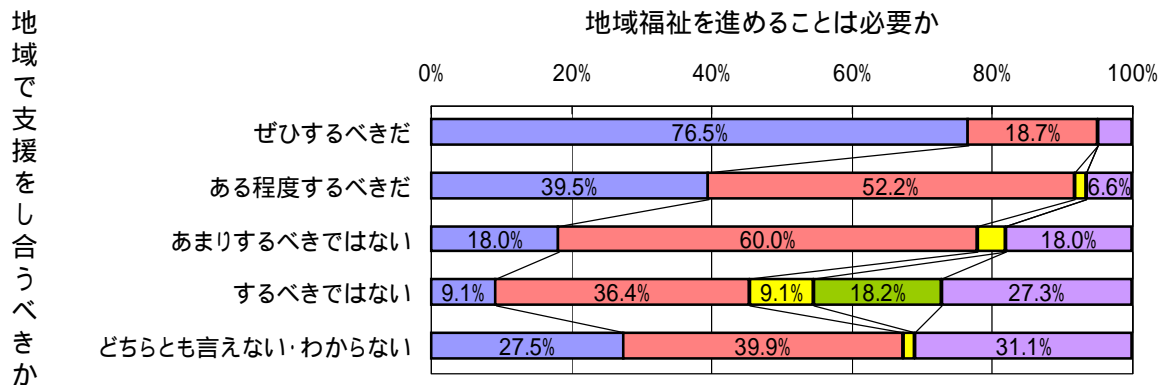
(問29) あなたは、「地域福祉」を進めることが必要だと思いますか。
(いずれか1つに)



「とても必要だ」、「どちらかと言えば必要だ」と回答した人が8割以上を占めている。

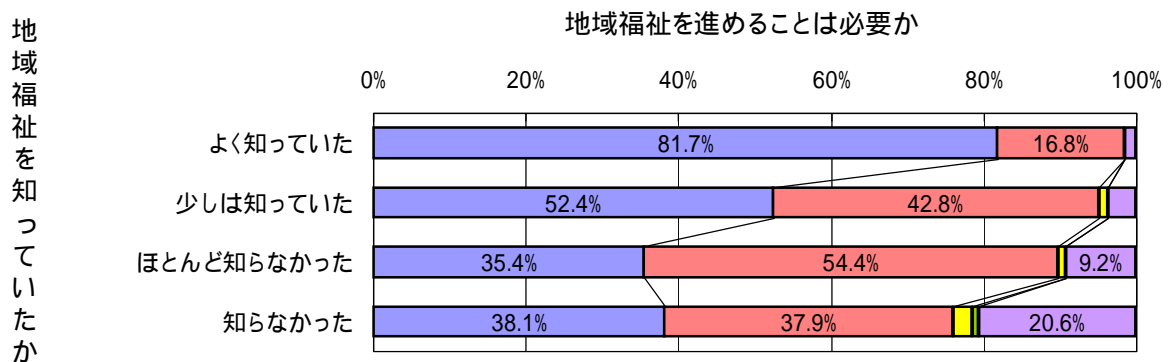
関連する設問との分析

地域で生活上の支援をし合うべきかの意識(問16の結果)との関係



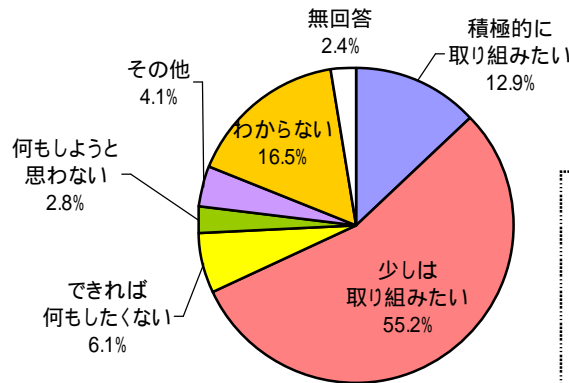
意味合いの近い二つの設問を比較してみると、「地域福祉」の考え方や質問のとらえ方に差があるのか、地域で生活上の支援をあまりするべきではないと回答した人でも8割近くの人が地域福祉の推進の必要性を感じている。

地域福祉についての認知度(問28の結果)との関係



「地域福祉」の認知度が高いほど、その推進の必要性をより強く感じていることがわかる。また、地域福祉という言葉を「ほとんど知らなかった」、「知らなかった」と回答した人の中でも必要性を感じている人は多い。「地域福祉」という言葉自体はあまり浸透していないが、その取り組みの必要性を認識している人は多いと言える。

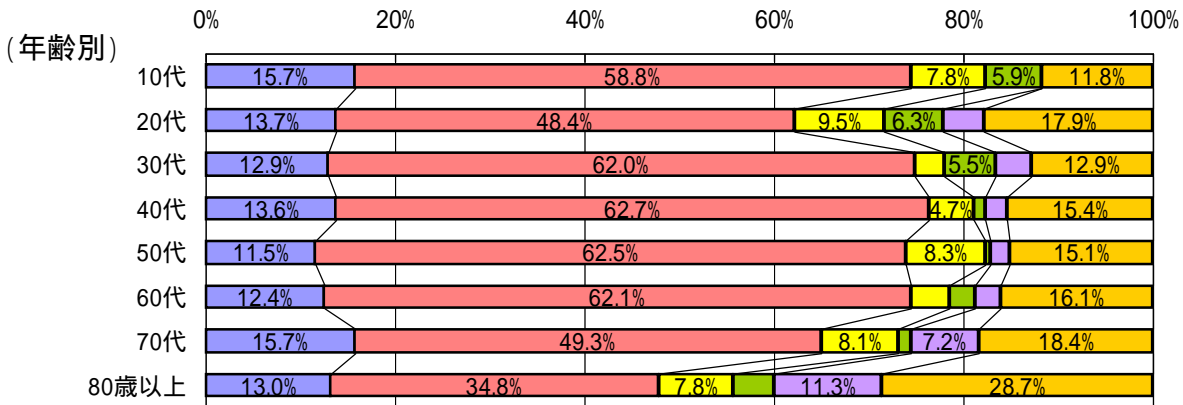
(問30) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、自分ができることに取り組みようと思いますか。(いずれか1つに)



「積極的に取り組みたい」と回答した人は少ないが、「少しは取り組みたい」と回答した人は半数を超え、7割近くの人が何らかの取り組みをしたいと考えている。

属性別の回答結果

無回答は除く

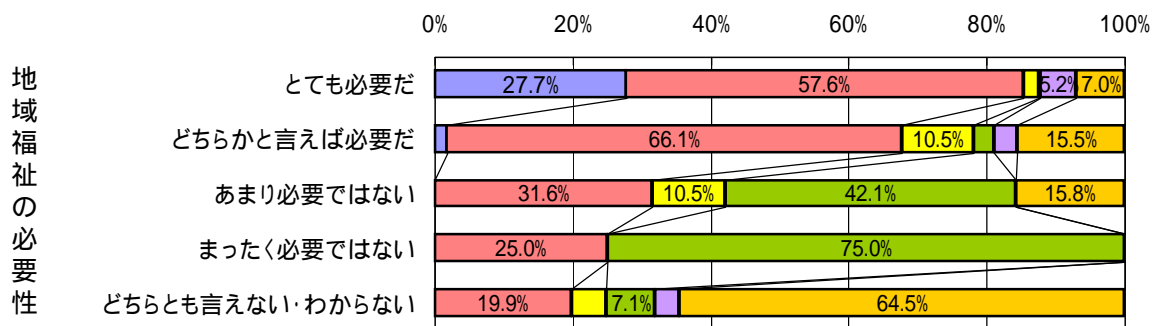


年齢別では、地域福祉に自ら積極的に取り組みようという意欲を持つ人の割合に顕著な差は見られない。

関連する設問との分析

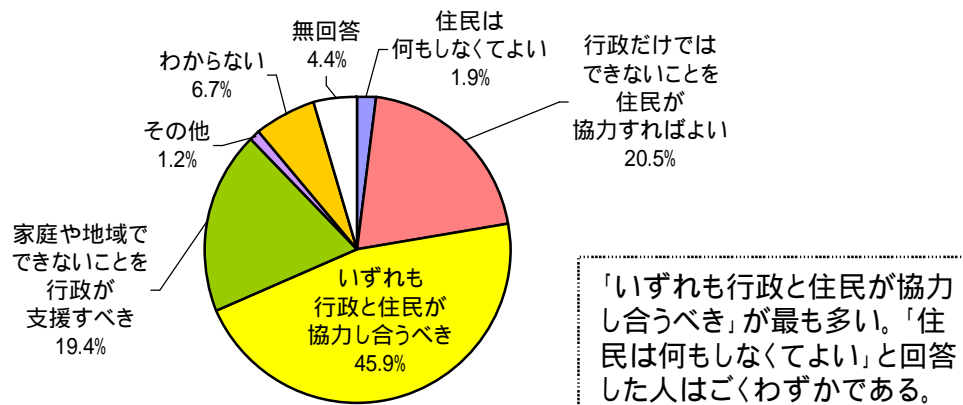
地域福祉の必要性の意識(問29の結果)との関係

地域福祉を進めるためにできることを自ら取り組む



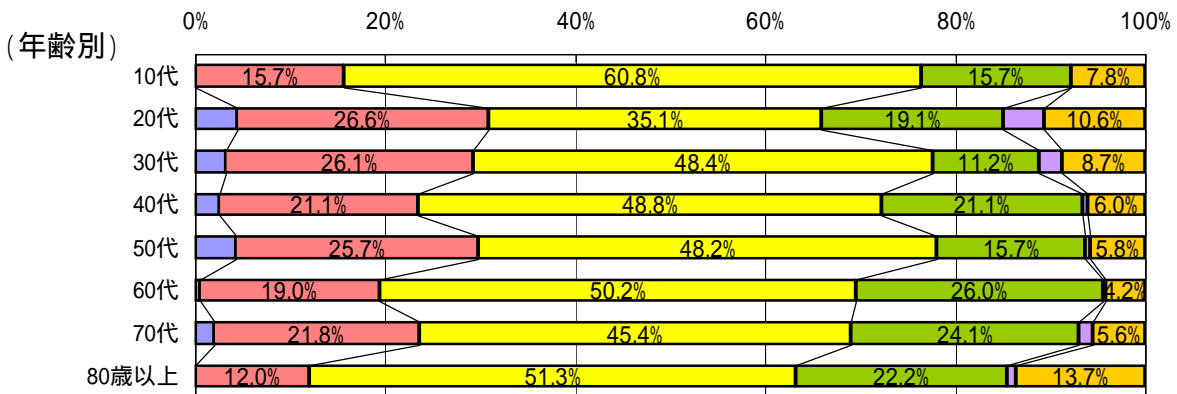
「地域福祉」の必要性を強く感じている人ほど、自ら取り組みようという意識は高い。しかし、「とても必要だ」と回答した人でも「積極的に取り組む」と回答した人は3割にも満たず、必要性は認識しているものの自らが取り組むことに対しては若干消極的な結果となっている。

(問31) 「地域福祉」を進めるために、行政と住民はどのような関係にあるべきだと思いますか。
(いずれか1つに)



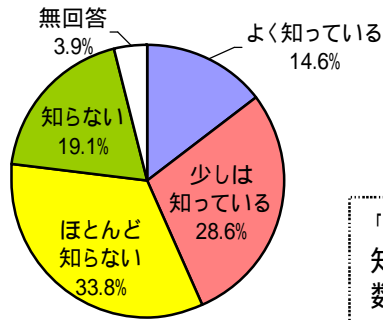
属性別の回答結果

無回答は除く



すべての年代において、「いずれも行政と住民が協力し合うべき」が最も多い。「行政だけではできないことを住民が協力すればよい」と「家庭や地域でできないことを行政が支援すべき」という相反する回答については、全体としてはほぼ同じ割合である。しかし、年齢別に見ると、「行政」か「家庭や地域」のどちらを取り組むべき主体と考えるかによって、それぞれの回答の割合に差が見られる。

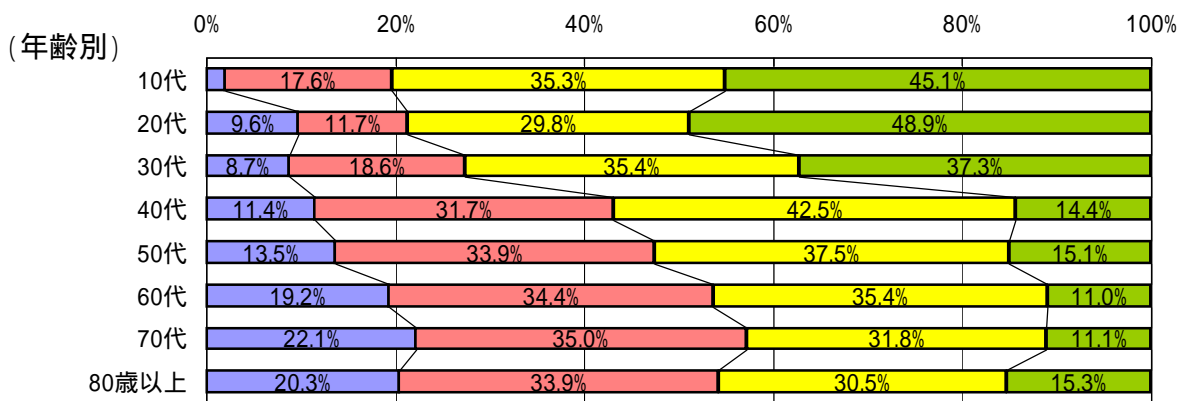
(問32) あなたは、「地域福祉」を進めるためにさまざまな活動を行っている団体「佐世保市社会福祉協議会」を知っていますか。
(いずれか1つに)



「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせても半数に満たない。

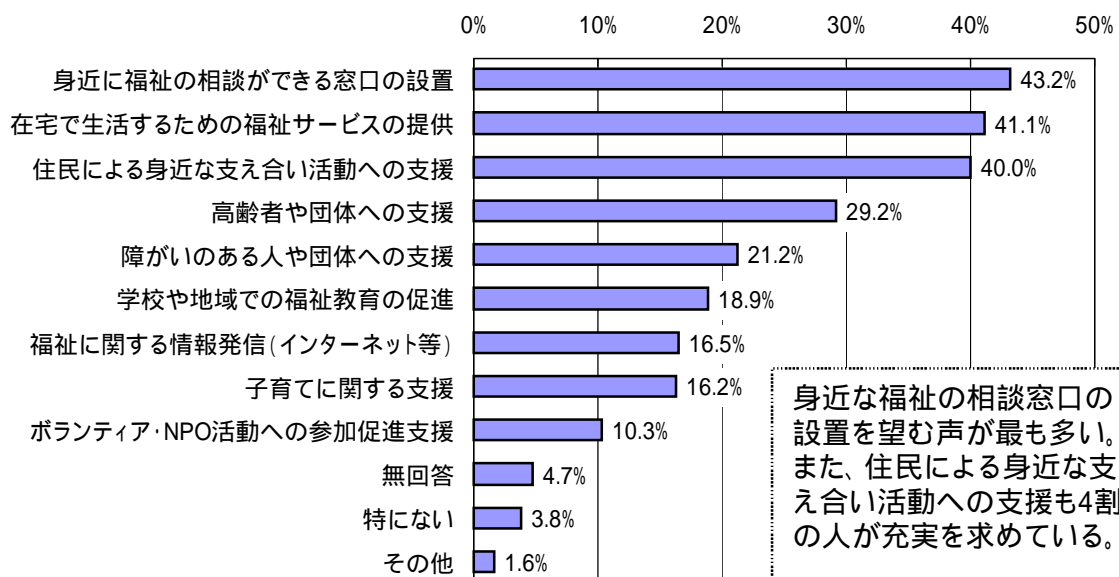
属性別の回答結果

無回答は除く



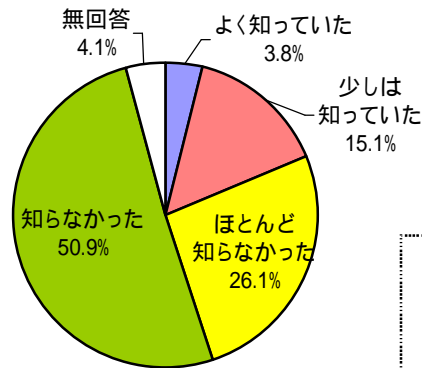
概ね年齢が高くなるほど、認知度も高くなっている。10～30代においては、「ほとんど知らない」、「知らない」が7割を超えており、若年層における認知度が低い。

(問33) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、「佐世保市社会福祉協議会」が行う活動・支援として充実すべきことはどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものに3つまで)



身近な福祉の相談窓口の設置を望む声が多。また、住民による身近な支え合い活動への支援も4割の人が充実を求めている。

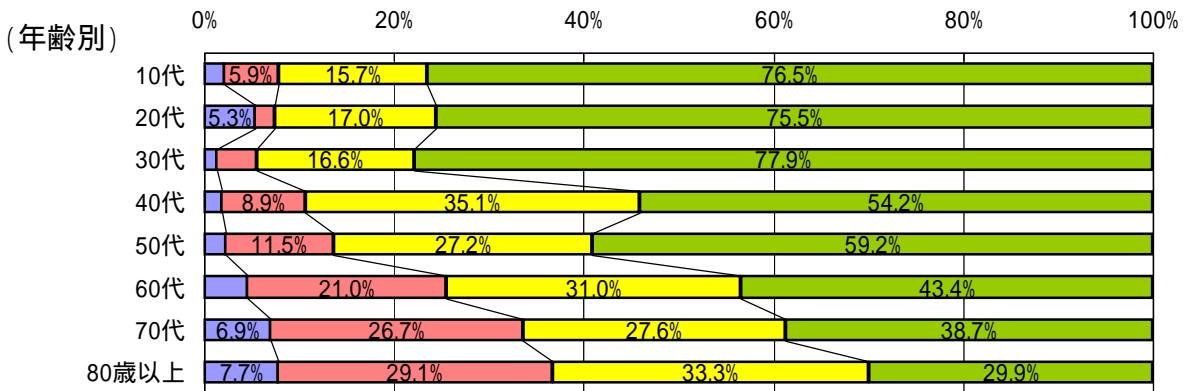
(問34) あなたは、「地域福祉計画」または「地域福祉活動計画」を知っていましたか。
(いずれか1つに)



半数以上の方が「知らなかった」と回答しており、認知度は低い。

属性別の回答結果

無回答は除く

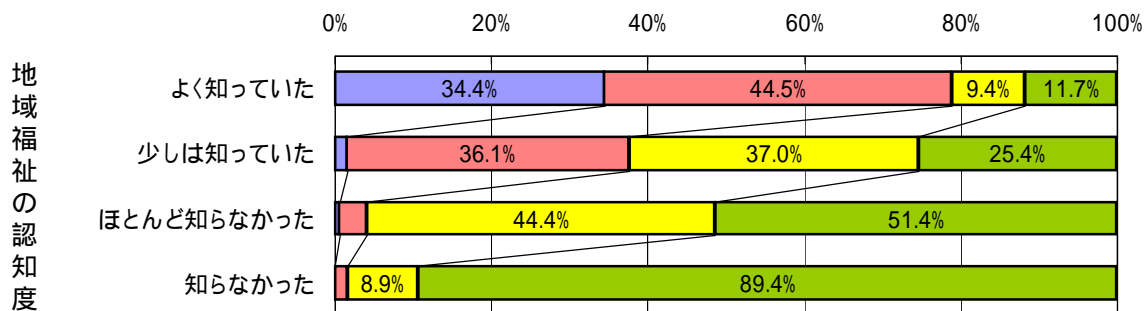


年齢が高いほど、知っている人の割合が多い。10～30代にいたっては、「少しは知っていた」を含めても1割にも満たない。

関連する設問との分析

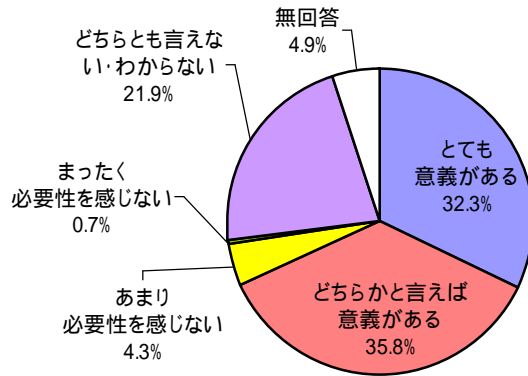
地域福祉についての認知度(問28の結果)との関係

地域福祉計画・活動計画の認知度



「地域福祉」についての認知度と比例する結果となっている。しかし、地域福祉を「少しは知っていた」と回答した人の中にも計画の存在を「ほとんど知らない」、「知らない」と回答した人が半数を超え、地域福祉という言葉や考え方に比べて計画の認知度はさらに低いことがわかる。

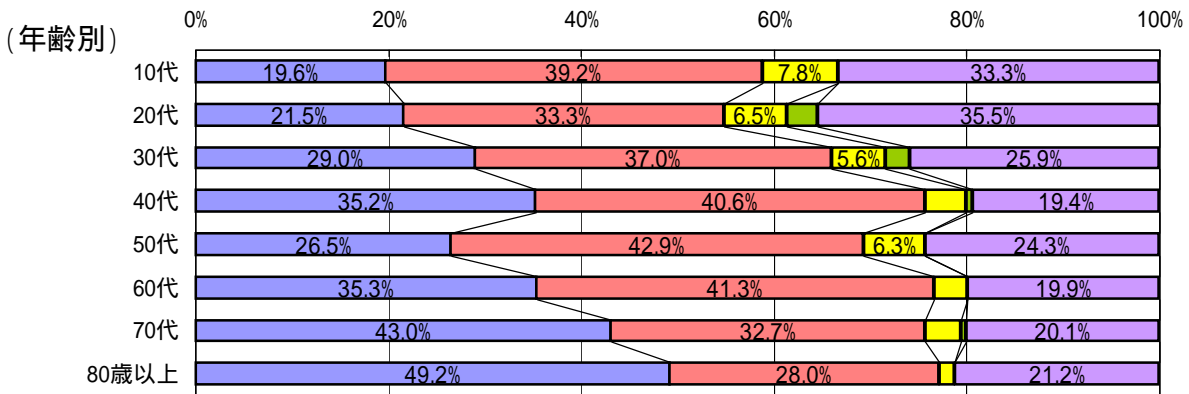
(問35) あなたは、「地域福祉計画」や「地域福祉活動計画」についてどう思いますか。
(いずれか1つに)



「とても意義がある」と「どちらかと言えば意義がある」を合わせると7割近い人が計画の意義を認めている。

属性別の回答結果

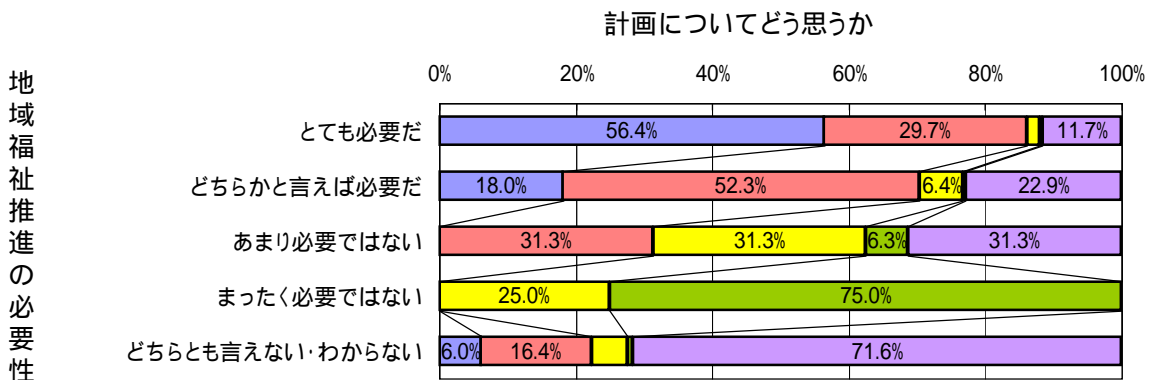
無回答は除く



概ね年齢が高いほど、計画の意義を感じている人の割合が多い。計画の存在自体を知らない人も多いため、全体で2割を超える人が「どちらとも言えない・わからない」と回答している。

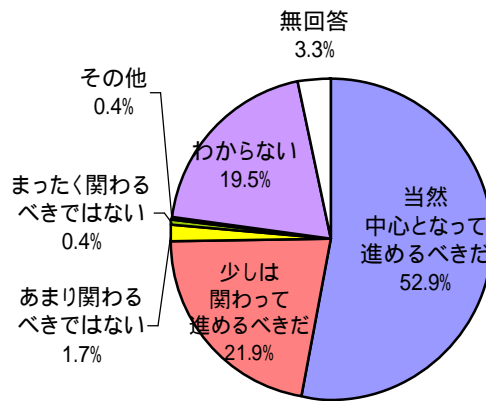
関連する設問との分析

地域福祉推進の必要性の意識(問29の結果)との関係



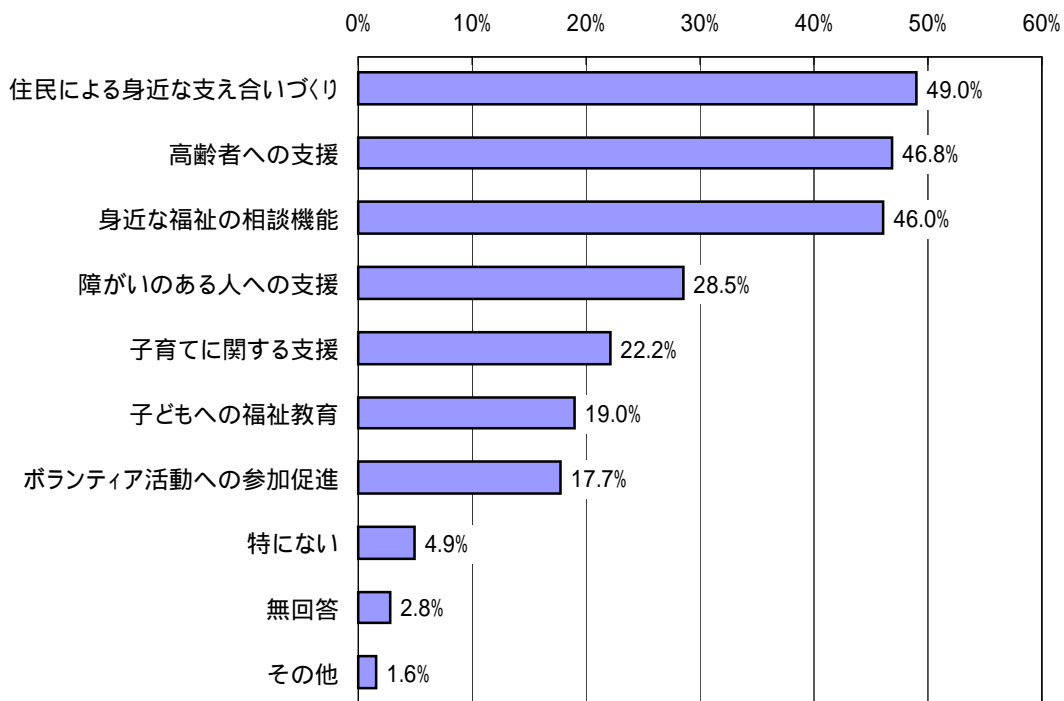
地域福祉の必要性と計画の意義を感じる人は、概ね比例する関係を示す結果となった。

(問36) あなたは、「地域福祉」を進めるための取り組みについて、各地区の福祉推進協議会が中心となって進めることについてどう思いますか。
(いずれか1つに)



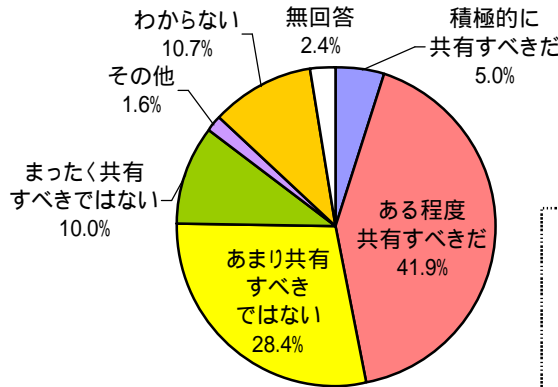
半数以上の人々が「当然中心となって進めるべき」と回答。また、「わからない」と回答した人も2割程度いる。

(問37) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、各地区の福祉推進協議会が行う活動として充実すべきことはどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものに3つまで)



身近な支え合いや相談の充実を望む声が多い。また、高齢者支援についても4割を超える人が充実を求めている。

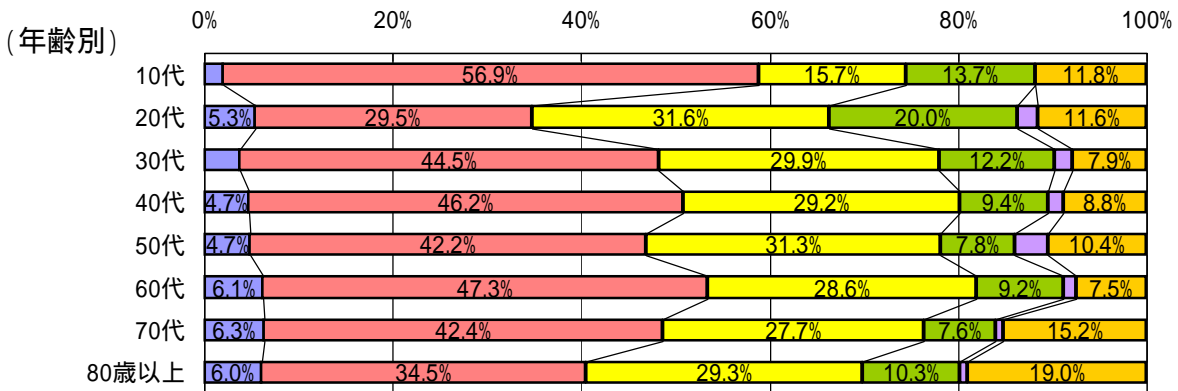
(問38) あなたは、地域福祉を進めるうえで、地域内で個人情報を共有することについて、どう思いますか。(いずれか1つに)



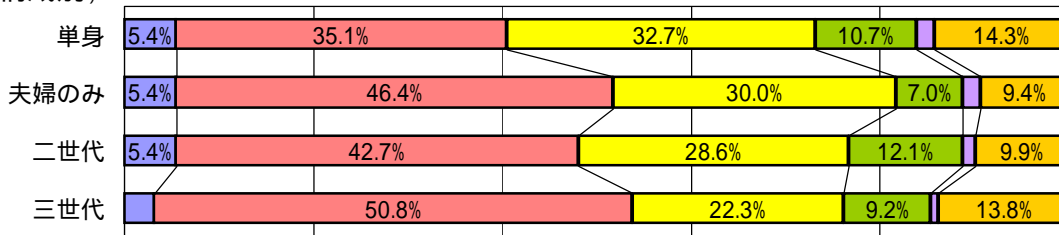
個人情報の共有に肯定的な人は、半数以下にとどまっている。個人情報の共有の是非については、意見が分かれる結果となっている。

属性別の回答結果

無回答は除く



(世帯構成別)



年齢別では20代と80歳以上において、また世帯構成別では単身世帯において、個人情報の共有に肯定的な人が少ない傾向にある。その他の意見として、個人情報の取り扱いについて守秘義務の徹底を求める意見などが寄せられた。

5. 自由意見

(問39) 「地域福祉」に関する取り組みについて、ご意見やご提案などがございましたら
お書きください。

抜粋して掲載

地域福祉全般に関すること	
<p>「地域福祉は大いに意義がある」、「地域福祉という考え方で進むのはよい」という意見が寄せられた一方、「『地域福祉』という言葉は初めて目にした」や「具体的なイメージがつかめない」など、地域福祉としての具体的な活動や目指す方向、個人としての関わり方などが分からない、または分かりづらいという意見も多数寄せられた。</p> <p>その上で、地域福祉に関する情報提供などを求める声も多く寄せられた。</p>	
・	<p>広報紙、テレビ、インターネット、回覧板、地域ごとの説明会の実施など、さまざまな媒体や手段による広報を通じて、市民が理解し、意識を高められる機会を設けてほしい。</p>
・	<p>「広報させば」で、地区福祉推進協議会、地域福祉計画、地域福祉活動計画などについて、特集記事を組むことはできないか。</p>
・	<p>福祉は、誰かがしてくれると思って、のんきに構えているのではないだろうか。</p>
・	<p>一人一人の意識を変えなければ、計画だけが一人歩きしてしまう。</p>
・	<p>「地域福祉」という言葉は聞いたことがあるが、具体的な活動は知られていないように思う。まずは、多くの市民へ広報することで、地域からの意見や提案もより多く集められ、地域と密接した活動になるのではないか。</p>
・	<p>ひとり暮らしや夫婦のみで暮らす高齢者、障がい者の世帯などであっても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるような支援ができる、また悲惨な孤独死や虐待などを発生させない地域づくりが必要。</p>
・	<p>地域福祉とは、近くで生活する人全員が家族同様であること。</p>
・	<p>本当に実行される計画なのか、市民に見えるようもっとオープンにすべき。</p>
・	<p>先進的な取り組みをしている他の市町村の状況等を調査し、実例等を広報・紹介してほしい。また、取り組みを見習ってほしい。</p>
・	<p>若年層にアピールする場が必要。情報提供を分かりやすく、楽しい形でできれば若者でも参加しやすいと思う。</p>
・	<p>市民の立場に立った受け入れやすい計画ができ、その地域でより具体的な活動になることを望む。</p>
・	<p>地域福祉は、市が中心に引っ張るもの。市にもっとリーダーシップをとってもらいたい。</p>
・	<p>個人の善意を待つのではなく、行政の強力なバックアップが必要。行政(市職員)が率先して模範を示すべき。</p>
・	<p>行政は、地域の会議・会合に出向くと生の声を聞けるのでは。行政と市民の距離を縮める必要がある。</p>
・	<p>私の地区は、60～70%が70歳以上の高齢者のみの世帯。行政は、直接、地域の実態を把握すべき。</p>
・	<p>行政がすべきことを地域に丸投げするのはよくない。地域が難しいと感じている部分を支援してほしい。</p>
・	<p>町内会を中心に福祉活動をするべき。市は町内会が充実するよう施策を進めてほしい。</p>
・	<p>地域福祉の推進は、町内会・自治会の取り組みが効果的。予算を与え、活動の活性化を図る必要がある。</p>
・	<p>福祉協議会や公民館活動、民生委員などがあり、一定の成果は上がっていると思う。</p>
・	<p>積極的に町内会等に出向き、福祉のアドバイスをしたり、市の考え方を伝えたり、支援を必要としている人のことなど全体の把握に努めてほしい。</p>
・	<p>公的機関と地域・個人が、いかに協力し合っていくかが求められる。</p>
・	<p>まずは町内各班内で親和を図り、町内会、地区公民館と段階的に地域福祉活動に繋げ充実していけたらと思う。</p>
・	<p>各団体の活動は単独で行われていることが多く、団体同士の連携がなくては支援を必要としている人に十分な支援・サービスの提供ができていないように思う。</p>

地域福祉全般に関すること（前ページの続き）	
・	「福祉」と聞くと、高齢者や障がい者に関することと思いがちだが、市民全員に関する取り組み。もっと分りやすく、身近に感じられるものであってほしい。
・	各人頑張ろうという自覚がもっと必要。それでもどうにもならない時には地域福祉も必要だろう。
・	福祉という名の下、何でも行政に委ねるのは好ましくない。健康づくりに自らも関心を持ち、病院に頼らないような生活習慣を心掛けることも大事。
・	子どもの遊び場や高齢者の集う場所など、さまざまな人が身近に接する機会があれば、自然にお互いへの接し方が分かっていくと思う。
・	個人情報の保護は当然重要だが、あまりに情報が少なく、事件・事故等が発生した時に、即対応が困難な状況もある。
・	個人情報は、情報管理者が厳重に管理すべき。過去に情報を流出された方もいて、こういう現状がある限り、個人としては地域の福祉を利用できない。
・	経済的・時間的な問題で、地域福祉と思いやる心を持つのが難しくなっていると思う。
・	支援やサービスを受けたいとき、近すぎる地区や近所の方には、たとえボランティア団体であっても頼りづらい人もいる。プライバシーや遠慮などの関係で、公的なサービスの方が受けやすい時もあるので、デリケートに対処する必要がある。
・	親しいからこそ話せないこと、知られたくないこともあるので、行政に頼りたいと考える。
・	不用意に助けることで、トラブルが発生したり、迷惑になったりしないかと考える。押し付けにならない福祉を実行してほしい。
・	他人の生活に干渉するようなことは絶対にすべきではない。
・	災害等が起こった場合、その対象となる方々（障がい者、高齢者、子ども等）が困る事がないような支援ができるようにしてほしい。
・	いろいろな人たちが気軽に集まって話したり、触れ合ったりする場所などがあればいいと思う。
・	福祉を分けて考えず、子ども、高齢者、障がい者ともに助け合える場所、人づくりが必要だと思う。
・	「地域福祉」という言葉がイメージ的に関わりにくい印象なので、講習会や講座があっても一度きりの参加で終わってしまうように思う。
・	今回のアンケートを通して少し意識が変わったと思う。
・	アンケートによって地域福祉を知り、これからも佐世保市民のために少しでも協力できるよう頑張ろうと思う。
・	アンケートには答えられるので、これからも続けて意見を受け止めてほしい。
(1) 人選、人材育成に関すること	
・	人選については、よほど気配りをした上で行うべき。
・	地域福祉に関わる人すべてにボランティア精神、個人情報の取り扱いについての教育を充実させる必要がある。
・	地域福祉活動は、第一にリーダーの育成指導にあると思う。
・	地域における支援者のリストアップ、有効な活動づくり、支援者への研修会等による人材育成を行う。
(2) 相談窓口について	
・	困り事があってもどうしたらよいか分からない人が多いので、福祉に携わる人は、その人に応じたボランティアやNPOがあれば紹介してほしい。
・	もう少し親身になって相談を聞いてくれたり、たらい回しなどなく一つの窓口で受け止めてくれたりするような行政、地域にしていきたい。
・	身近に福祉などの相談ができる場所が設置されることを希望する。
・	何か困り事があったときに、市や社会福祉協議会はもちろん、身近な民生委員や駐在所などで、相談に対応してくれたり、適した相談窓口案内してくれたり、連携がとられるといいと思う。
・	各種の相談等自分の家族のことと思って、公平にお願いしたい。

(3) 福祉教育	
・	子どもたちが身近な支え合いを当然として受け止められる福祉教育の推進が急がれる。
・	子ども自身が、将来のこととして福祉を意識するカリキュラムが必要。
・	保育所、幼稚園、小学校から高校まで、教育機関にも「出前講座」を実施するなど、地域福祉について子どもから大人まで学習できる場を広げてほしい。
・	福祉教育については、各家庭に任せると差が生じるため学校での教育としたい。
・	子どもの教育は、家庭での教育が大事だと思う。

地域での支え合いに関すること	
・	独居高齢者の数が増えている。お互いに支え合いながら生活ができるように町内、隣り近所で言葉を掛け合うようにしたい。
・	ひとり暮らしの人には、ご近所で声掛けをすることが大事だと思う。
・	現在住んでいる地域では、あいさつや高齢者への声掛けがされている。地域の方々との関わりがとても必要。
・	高齢者に対する地域の温かい見守りが広がっていくよう取り組んでほしい。
・	できる範囲での支え合いをすることが、現状でできる一番即効性のある活動である。
・	自治会などで、地域内の独居高齢者などの家を回っていくのもよいと思う。
・	独居高齢者の問題があるが、民生委員の協力により、少しは掌握できていると思う。
・	日頃から隣り近所と信頼関係を築いていくことが大切。その上で、ある程度の個人情報は共有すべきで早期の対応に役立つと思う。
・	地域で見守りや買い物支援を必要とする人、またどのようなことを求めているかを把握できるようになるといい。しかし、個人情報を共有する点は難しい。
・	高齢者や障がい者等、助けを必要としている人々にとって一番心強い支えは近くの住人だと思う。各地区に中心となり、具体的な支援策を示してくれる人がいると協力しやすいと思う。
・	行政や専門職に引き継げるよう情報を集めたり、家族が負担にならない程度の手助けができたりするマンパワー(人的資源)が地域にあるといい。
・	在宅訪問などでも、薬剤の管理や生活環境まで、地域の薬局の薬剤師が気軽にフォローできたらよいと思う。
・	近所の高齢者や、子育てに疲れた人の手助けなど、身近なことから協力するべきだと思う。組織や団体を頼らず、自分たちができることに立ち上がるべき。
・	地域で支援が必要な人に対して、その人の支援に対する考え方やどこまでプライバシーに介入できるかが難しい問題である。
・	一昔前のように、「子ども達は地域で育てていく」という気風が取り戻せたらと思う。
・	私の住む地域では、子どもを見守る活動が行われ、安心して子どもを学校に行かせられる。また、祭りやイベントも盛んで、このようなイベントや話し合いを通じて、地域の繋がりが広がっていくと思う。
・	地域の自治会に入って、お互いに助け合って生活していこうという考えが地域社会全体で薄れている。

地域活動・ボランティア活動に関すること	
・	私の住む地区は、高齢者がほとんどで、町内活動に率先して協力している。
・	町内の高齢化が進み、今後、早急に高齢者地域の活動や連携方法の見直しが必要。
・	都会になるにつれて地域のつながりがなくなり、挨拶もしなかったり、近所の人の名前も分からなかったり、個人主義になっていると思う。
・	地域の自治会等に、若い人や男性の参加が極めて少ない。自治会活動においては、中高年の女性が主で、活動範囲も限られ地域福祉にまで取り組む人材がいない。
・	私たち30～40代が積極的に関わるべきだと思う。若年層もきっかけがあれば、何らかの行動を起こすのではないかな。
・	行政は、社会人が地域活動に参加しやすくするために何かしらの援助をするべきではないかな。
・	私たちの公民館では、サークル活動に町民が集まり、町民同士の親交を深めるとともに、多くの情報・ネットワークを共有している。また、団体の方が町の行事にも中心となって参加してくれるほか、毎月1回、「公民館だより」を全世帯に配布し、お知らせや報告を行っている。
・	地域活動に町として何をどのように取り組んでいいのかわからない。市が取り組み方法をもっと指導してほしい。
・	住んでいる地域の人たちと面識がほとんどない。もう少し地域の人たちと触れ合って、分からないことを聞いたり、できないことなどを協力し合ったりして生活できる環境になったらよいと思う。
・	現在の民生・児童委員を誰がやっているのかわからない。
・	各人の意識も必要だが、福祉推進協議会で活動を呼びかける機会をもっとつくるべき。
・	地域の行事など、最初はやや強制的にでも参加を促し、たとえ参加者が少なくても継続していくことが大切。そのような場に税金を使ってほしい。
・	町内会の活動等、ボランティア精神でできればいいが、義務だと思えば負担や不満を感じたりする人が出てくるのではないかな。金銭ではなく、やってよかったと思える何かがあるといいと思う。
・	若年層を中心に活動していけたらと思う。
・	地域での学校行事を増やし、講演や活動を子どもたちと一緒に行うとよい。
・	さまざまな場面でボランティア活動の需要が高まる中、楽しく参加できる場で支え合っていければと思う。
・	行政頼みで自ら奉仕しようという意識がないのが残念。人の役に立ちたいと思っても、何が自分にできるのかという不安や疑問もあり、窓口を訪ねていく勇気のない人もたくさんいるのではないかな。
・	活動にどのように参加するのか、また参加資格などがわからない。もっと情報発信等をしてほしい。
・	多種多様な協力の形態が整っていれば参加もしやすいと思う。
・	気軽に参加できるか心配もあるため、時間や活動内容など、ボランティア活動の調整役が必要。また、受付窓口があることを知ってもらうことが大切。
・	ボランティア活動に参加することはとても大切なこと。仕事があり忙しいが、少しはボランティア活動もしなくてはと思っている。
・	家庭に関わるボランティアの場合、守秘義務等の教育も必要。
・	不景気でボランティアをやる余裕と時間がある人は少ないと思うので、報酬を与えるべきだと思う。
・	ボランティアやNPOなどの仕事をしたくても、助成金などが少なくできない現状もある。
・	地域の市会議員の皆さんにも、ボランティアの激励や参加などに動いてもらいたい。
・	身近に手助けが必要な人がいない場合には、関心や興味を持ちにくく、活動されている状況が周りからは見えにくい。

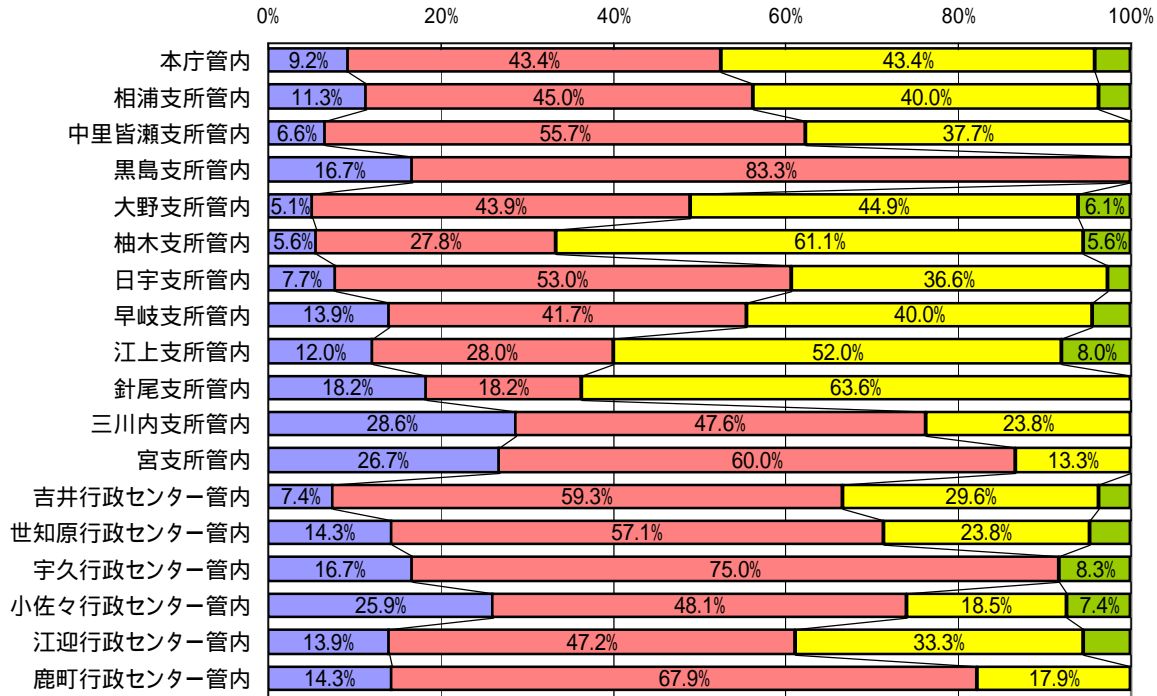
福祉サービスに関すること	
・	広報紙は読んでいるが、地域の福祉施設について具体的な情報が伝わってこない。
・	精神障がい者の生活訓練施設や養護老人ホームのあり方など、これからもっと充実させてほしい。
・	ヘルパーの数をもっと増やしてほしい。
・	福祉・介護施設は随分充実しているように思えるが、道路・歩道、公共交通機関は十分な配慮がなされていないように思う。
・	買い物難民や移動困難者も多い。コミュニティーバスや移動スーパー車などが来てくれたらいいと思う。
・	市の福祉関連部署の数が多いので、ある程度統合はできないだろうか。
(1) 高齢者に関すること	
・	高齢化が進む中、ひとり暮らしの人たちへの訪問、地域医療の充実化を図ること。
・	高齢者と定期的(月に2回程度)に連絡を取り合うなどするといい。
・	独居高齢者が増加傾向にあるので、安否確認や相談などができるよう積極的に把握し、取り組んでほしい。
・	低所得者でも入所できる老人ホームをつくってほしい。
・	老老介護を行っているところが目立つ。介護申請内容も変わり、十分な要介護認定や、サービスを受けられているのか疑問。
・	看護や介護を行っている家族の負担は少しでも軽減されているのか、また人材は足りているのか疑問。
・	老人ホームやグループホームも年々増えているが、それでも入所待ちの高齢者が多く追いついていない現状が残念。
・	介護保険サービス等、いろいろと手続きが面倒で困る。
・	デイケアなどを必要としている方が、どこに相談したらいいのか、はっきり分かる形で示されているといい。
(2) 障がい者に関すること	
・	障がい者手帳を取得する際、手続きが面倒だった。一人暮らしなど、頼る人がいない方は大変。もっと簡潔にできればと思う。
・	障がいのある人への支援を調査し、自立する力を出せるような政策を立ててほしい。
(3) 子どもに関すること	
・	障がい者用駐車場に、妊婦に加えて1歳未満の乳児や未就園児3人以上いる家庭の駐車ができるよう対象者を拡大してほしい。
・	児童館など、無料・低料金で子どもたちが安心・安全に遊べる施設をつくってほしい。
・	一人親家族など小・中学生を夜間預けられる施設があつたらいいと思う。
・	児童クラブ等の費用の助成。
・	子育て支援が必要。共働きが多いため、学童保育の必要性を感じる。

地域別の回答結果

6. 地域別の回答の結果について (問9～問38)

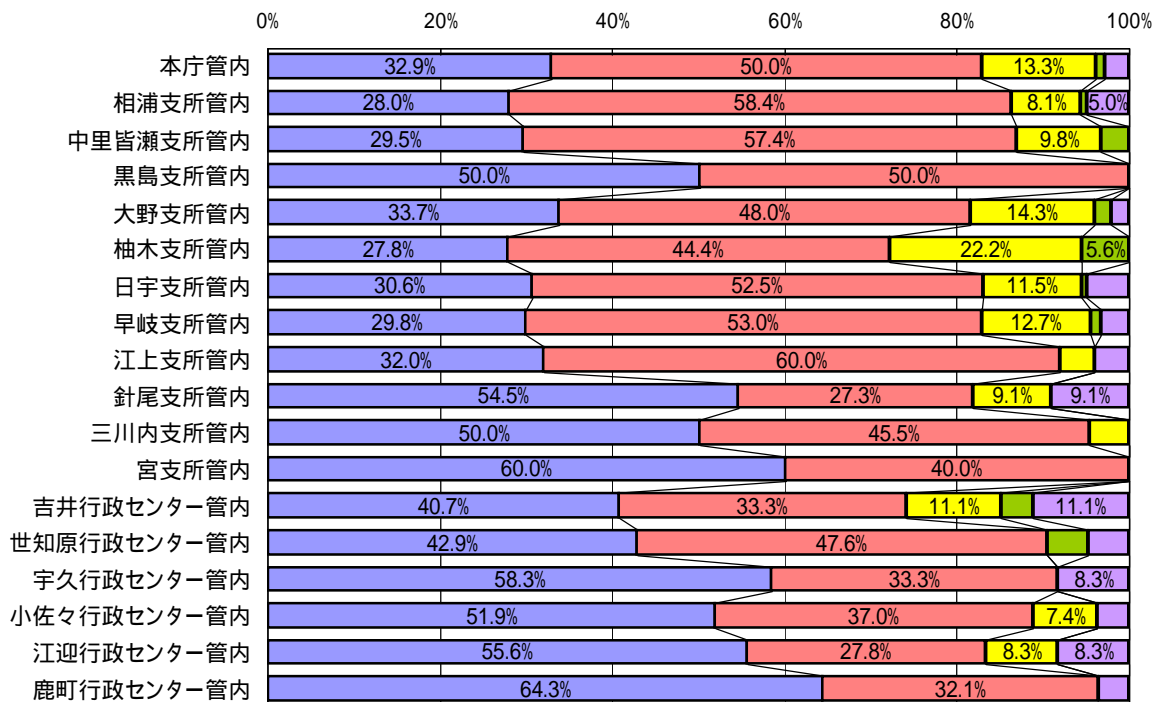
(問9) あなたは日頃、隣り近所とどの程度のお付き合いがありますか。
(いずれか1つに)

■訪問し合ったり、悩みを相談し合ったりしている ■世間話や立ち話はしている ■あいさつをする程度で、ほとんど付き合いがない ■まったく付き合いがない



(問10) あなたは、日頃の生活を送る上で、隣り近所とのお付き合いが必要だと思えますか。
(いずれか1つに)

■とても必要だ ■まあまあ必要だ ■あまり必要ではない ■まったく必要ではない ■どちらとも言えない・わからない



(問11) あなたに悩みや困り事があったときの、身近な相談相手は誰ですか。
(いずれか1つに)

上位3項目のみ

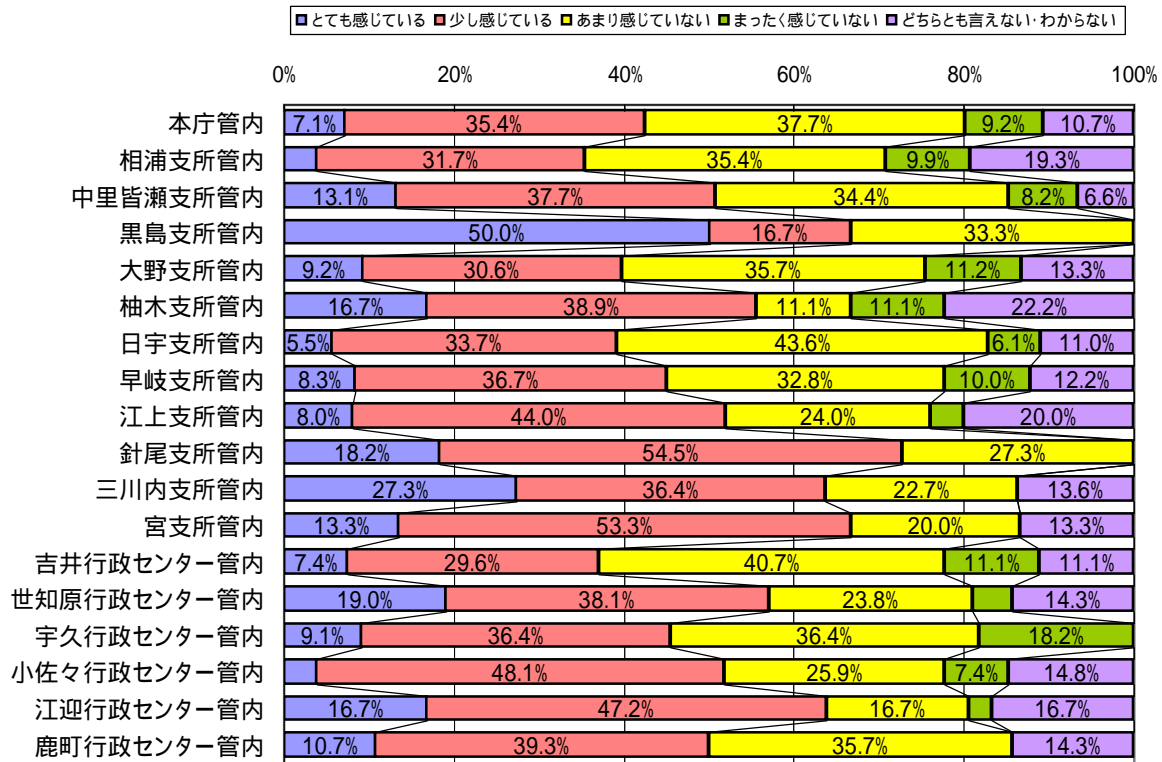
地域別	1位	2位	3位
本庁管内	家族や親戚(71.6%)	友人・知人(15.9%)	誰にも相談しない(3.3%)
相浦支所管内	家族や親戚(68.3%)	友人・知人(14.9%)	誰にも相談しない(5.0%)
中里皆瀬支所管内	家族や親戚(70.5%)	友人・知人(26.2%)	医療機関(1.6%)
黒島支所管内	家族や親戚(50.0%)	友人・知人(50.0%)	ナシ
大野支所管内	家族や親戚(68.4%)	友人・知人(16.3%)	誰にも相談しない(5.1%)
柚木支所管内	家族や親戚(72.2%)	友人・知人(16.7%)	ナシ
日宇支所管内	家族や親戚(73.8%)	友人・知人(16.4%)	誰にも相談しない(2.7%)
早岐支所管内	家族や親戚(75.7%)	友人・知人(14.4%)	誰にも相談しない(1.7%)
江上支所管内	家族や親戚(64.0%)	友人・知人(24.0%)	誰にも相談しない(4.0%)
針尾支所管内	家族や親戚(81.8%)	友人・知人(18.2%)	ナシ
三川内支所管内	家族や親戚(72.7%)	友人・知人(18.2%)	誰にも相談しない(4.5%)
宮支所管内	家族や親戚(86.7%)	友人・知人(13.3%)	ナシ
吉井行政センター管内	家族や親戚(70.4%)	友人・知人(14.8%)	相談相手はいない(7.4%)
世知原行政センター管内	家族や親戚(81.0%)	友人・知人(19.0%)	ナシ
宇久行政センター管内	家族や親戚(75.0%)	友人・知人(16.7%)	隣り近所の人(8.3%)
小佐々行政センター管内	家族や親戚(66.7%)	友人・知人(22.2%)	相談相手はいない(3.7%)
江迎行政センター管内	家族や親戚(66.7%)	友人・知人(5.6%)	相談相手はいない(2.8%)
鹿町行政センター管内	家族や親戚(60.7%)	友人・知人(28.6%)	相談相手はいない(3.6%)

(問12) あなたが「地域」と聞いてイメージするのは、どの範囲ですか。
(いずれか1つに)

上位3項目のみ

地域別	1位	2位	3位
本庁管内	地元の自治組織(27.1%)	町内(23.8%)	隣り近所(14.6%)
相浦支所管内	地元の自治組織(28.6%)	町内(24.2%)	隣り近所(9.9%)
中里皆瀬支所管内	町内(31.1%)	地元の自治組織(27.9%)	地元の「班」(9.8%)
黒島支所管内	佐世保市内(33.3%)	地元の自治組織(16.7%)	町内(16.7%)
大野支所管内	地元の自治組織(30.6%)	町内(16.3%)	隣り近所(15.3%)
柚木支所管内	地元の自治組織(22.2%)	支所(22.2%)	隣り近所(16.7%)
日宇支所管内	地元の自治組織(36.6%)	町内(23.5%)	隣り近所(15.3%)
早岐支所管内	地元の自治組織(34.8%)	町内(24.3%)	隣り近所(11.0%)
江上支所管内	町内(32.0%)	隣り近所(20.0%)	地元の自治組織(16.0%)
針尾支所管内	地元の自治組織(27.3%)	町内(18.2%)	隣り近所(9.1%)
三川内支所管内	地元の自治組織(27.3%)	町内(27.3%)	隣り近所(13.6%)
宮支所管内	隣り近所(20.0%)	地元の「班」(20.0%)	地元の自治組織(13.3%)
吉井行政センター管内	町内(33.3%)	地元の自治組織(29.6%)	地元の「班」(18.5%)
世知原行政センター管内	地元の自治組織(33.3%)	地元の「班」(23.8%)	町内(14.3%)
宇久行政センター管内	地元の「班」(41.7%)	隣り近所(16.7%)	町内(8.3%)
小佐々行政センター管内	地元の自治組織(25.9%)	隣り近所(22.2%)	町内(18.5%)
江迎行政センター管内	地元の自治組織(41.7%)	町内(13.9%)	地元の「班」(13.9%)
鹿町行政センター管内	町内(33.3%)	地元の自治組織(22.2%)	隣り近所(14.8%)

(問13) あなたのお住まいの地域では、子ども、高齢者、障がい者を含めて、お互いの生活を地域全体で支え合っていると感じていますか。
(いずれか1つに)



(問14) あなたは、住民同士がお互いに助け合えるのは、どの範囲だと思いますか。
(いずれか1つに)

上位3項目のみ

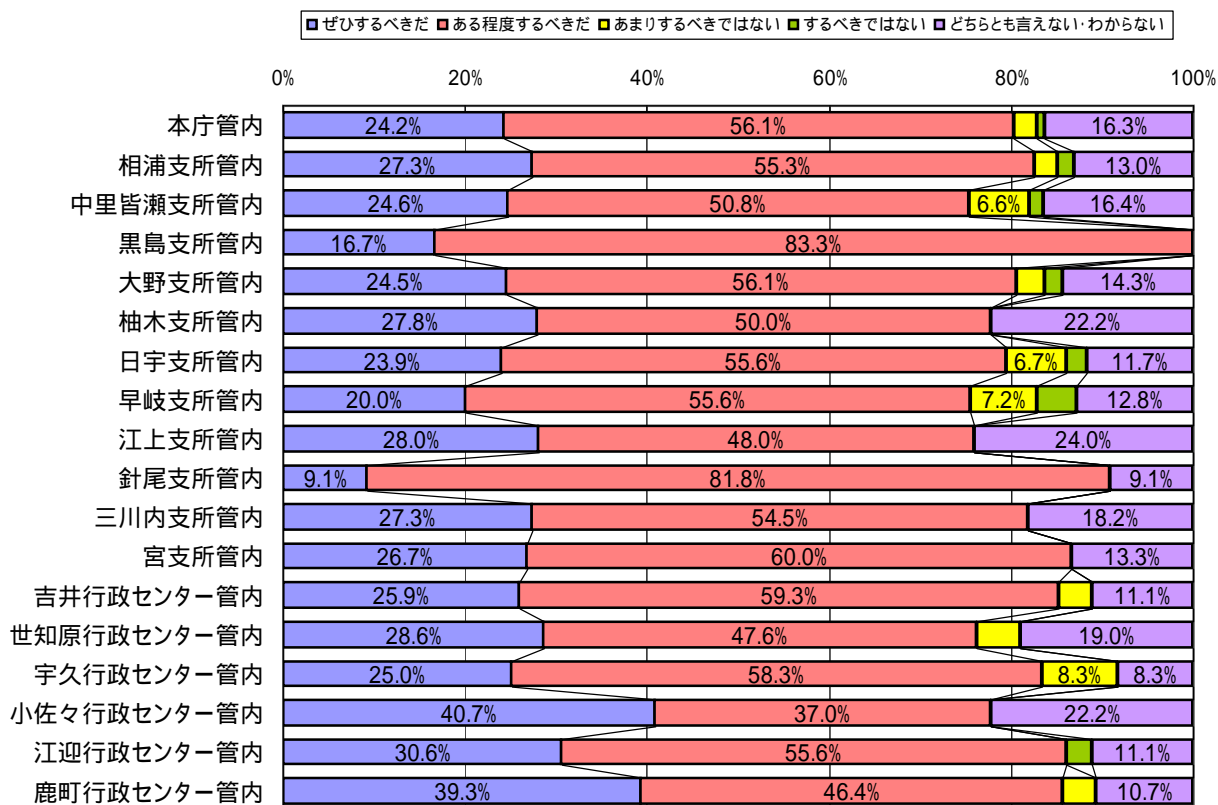
地域別	1位	2位	3位
本庁管内	隣り近所 (38.1%)	地元の「班」 (21.5%)	地元の自治組織 (15.9%)
相浦支所管内	隣り近所 (41.0%)	地元の「班」 (21.1%)	地元の自治組織 (19.3%)
中里皆瀬支所管内	隣り近所 (39.3%)	地元の「班」 (24.6%)	地元の自治組織 (18.0%)
黒島支所管内	地元の「班」 (33.3%)	隣り近所 (16.7%)	地元の自治組織 (16.7%)
大野支所管内	隣り近所 (34.7%)	地元の「班」 (28.6%)	地元の自治組織 (19.4%)
柚木支所管内	隣り近所 (27.8%)	地元の自治組織 (27.8%)	町内 (16.7%)
日宇支所管内	隣り近所 (50.8%)	地元の「班」 (18.8%)	地元の自治組織 (15.5%)
早岐支所管内	隣り近所 (38.9%)	地元の自治組織 (23.9%)	地元の「班」 (21.7%)
江上支所管内	隣り近所 (28.0%)	地元の「班」 (28.0%)	地元の自治組織 (28.0%)
針尾支所管内	隣り近所 (27.3%)	地元の自治組織 (27.3%)	町内 (18.2%)
三川内支所管内	地元の自治組織 (40.9%)	隣り近所 (22.7%)	町内 (18.2%)
宮支所管内	隣り近所 (53.3%)	地元の「班」 (33.3%)	地元の自治組織 (13.3%)
吉井行政センター管内	隣り近所 (33.3%)	地元の「班」 (33.3%)	地元の自治組織 (25.9%)
世知原行政センター管内	隣り近所 (33.3%)	地元の自治組織 (28.6%)	地元の「班」 (23.8%)
宇久行政センター管内	隣り近所 (41.7%)	地元の「班」 (33.3%)	地元の自治組織 (16.7%)
小佐々行政センター管内	隣り近所 (44.4%)	地元の「班」 (14.8%)	地元の自治組織 (14.8%)
江迎行政センター管内	隣り近所 (27.8%)	地元の「班」 (25.0%)	地元の自治組織 (19.4%)
鹿町行政センター管内	隣り近所 (42.9%)	地元の「班」 (25.0%)	地元の自治組織 (21.4%)

(問15) あなたは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方など、生活上何らかの支援が必要な方が困っているときに、誰がその方の相談相手になるべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに)

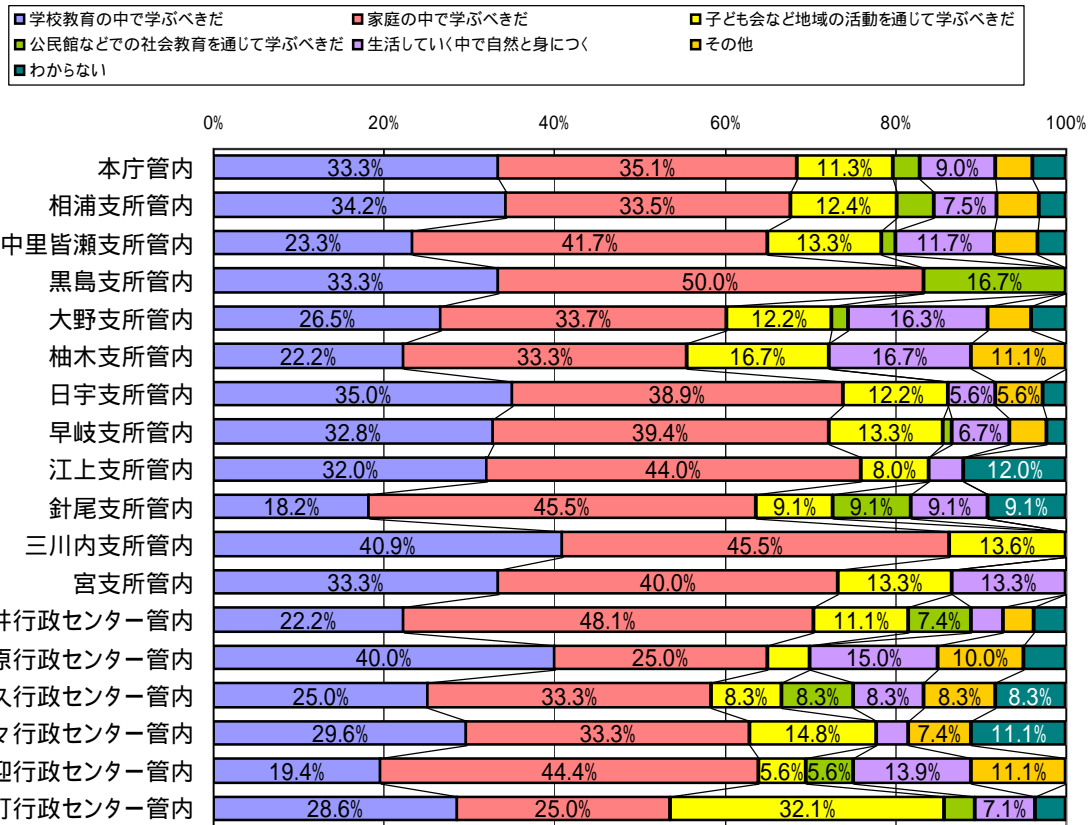
上位3項目のみ

地域別	1位	2位	3位
本庁管内	家族や親類 (64.6%)	周りに住む人 (37.6%)	民生委員や主任児童委員 (34.3%)
相浦支所管内	家族や親類 (60.2%)	周りに住む人 (46.6%)	民生委員や主任児童委員 (37.9%)
中里皆瀬支所管内	家族や親類 (68.9%)	周りに住む人 (47.5%)	福祉関係の事業所の職員 (41.0%)
黒島支所管内	周りに住む人 (66.7%)	家族や親類 (33.3%)	民生委員や主任児童委員 (33.3%)
大野支所管内	家族や親類 (55.6%)	周りに住む人 (33.3%)	民生委員や主任児童委員 (32.3%)
柚木支所管内	家族や親類 (50.0%)	福祉関係の事業所の職員 (27.8%)	周りに住む人 (22.2%)
日宇支所管内	家族や親類 (64.7%)	周りに住む人 (40.2%)	民生委員や主任児童委員 (37.5%)
早岐支所管内	家族や親類 (70.7%)	福祉関係の事業所の職員 (36.5%)	周りに住む人 (35.4%)
江上支所管内	家族や親類 (52.0%)	周りに住む人 (44.0%)	福祉関係の事業所の職員 (32.0%)
針尾支所管内	家族や親類 (45.5%)	周りに住む人 (27.3%)	民生委員や主任児童委員 (18.2%)
三川内支所管内	家族や親類 (50.0%)	周りに住む人 (45.5%)	福祉関係の事業所の職員 (36.4%)
宮支所管内	家族や親類 (60.0%)	周りに住む人 (40.0%)	民生委員や主任児童委員 (26.7%)
吉井行政センター管内	家族や親類 (48.1%)	福祉関係の事業所の職員 (40.7%)	周りに住む人 (29.6%)
世知原行政センター管内	家族や親類 (71.4%)	周りに住む人 (42.9%)	民生委員や主任児童委員 (38.1%)
宇久行政センター管内	家族や親類 (83.3%)	周りに住む人 (50.0%)	民生委員や主任児童委員 (33.3%)
小佐々行政センター管内	家族や親類 (55.6%)	民生委員や主任児童委員 (37.0%)	福祉関係の事業所の職員 (37.0%)
江迎行政センター管内	家族や親類 (75.0%)	周りに住む人 (50.0%)	民生委員や主任児童委員 (47.2%)
鹿町行政センター管内	周りに住む人 (60.7%)	福祉関係の事業所の職員 (39.3%)	家族や親類 (35.7%)

(問16) あなたは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方など、生活上何らかの支援が必要な方に対して、地域で助け合って日常生活のお手伝いなどをするべきだと思いますか。
(いずれか1つに)



(問17) あなたは、児童・生徒に対する福祉教育(思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育)について、どのように行うべきだと思いますか。
(いずれか1つに)

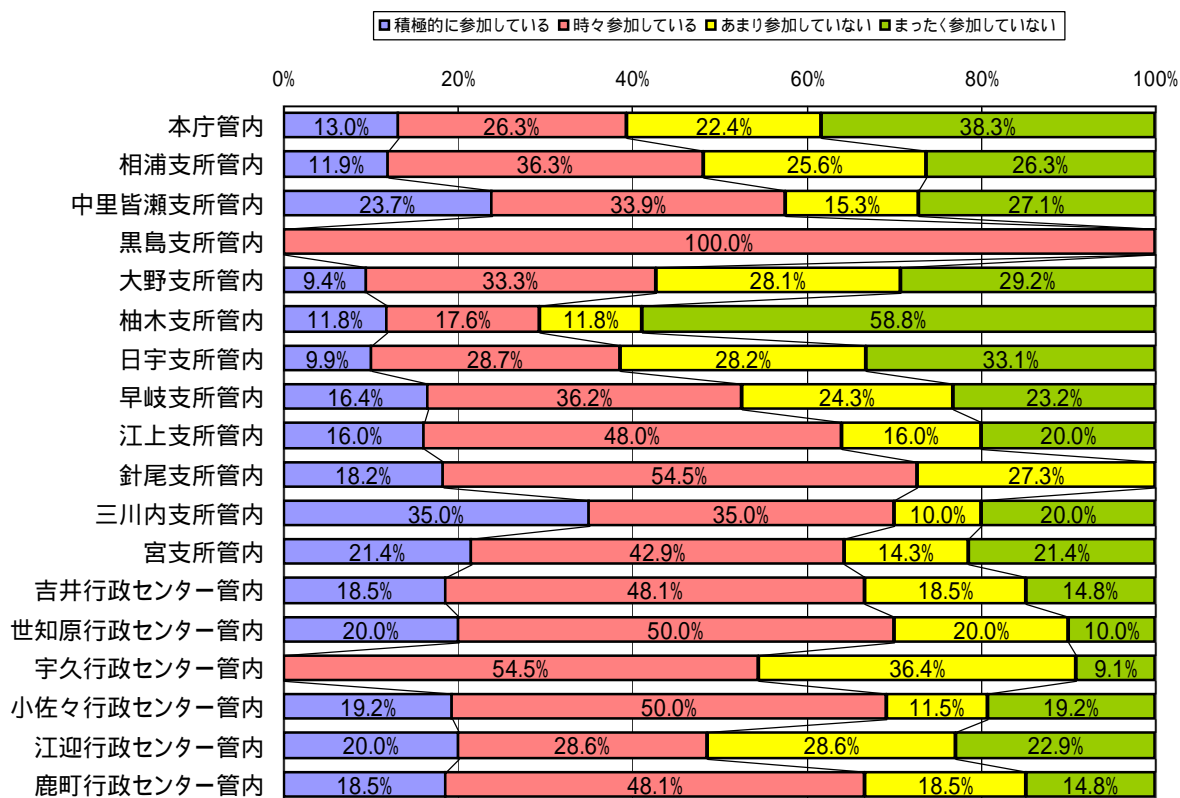


(問18) 地域には、町内会や自治会などの組織のほか、地区福祉推進協議会などのさまざまな団体が活動していますが、あなたは、どのような団体を知っていますか。
(知っているものすべてに)

上位3項目のみ

地域別	1位	2位	3位
本庁管内	町内会・自治会(87.1%)	PTA・育友会(67.9%)	民生委員の協議会(55.1%)
相浦支所管内	町内会・自治会(90.1%)	PTA・育友会(72.0%)	民生委員の協議会(59.6%)
中里皆瀬支所管内	町内会・自治会(85.2%)	PTA・育友会(67.2%)	民生委員の協議会(54.1%)
黒島支所管内	町内会・自治会(100.0%)	民生委員の協議会(50.0%)	PTA・育友会(33.3%)
大野支所管内	町内会・自治会(83.8%)	PTA・育友会(63.6%)	民生委員の協議会(55.6%)
柚木支所管内	町内会・自治会(88.9%)	PTA・育友会(77.8%)	民生委員の協議会(55.6%)
日宇支所管内	町内会・自治会(89.1%)	PTA・育友会(61.4%)	民生委員の協議会(52.2%)
早岐支所管内	町内会・自治会(92.8%)	PTA・育友会(67.4%)	民生委員の協議会(53.0%)
江上支所管内	町内会・自治会(76.0%)	民生委員の協議会(68.0%)	PTA・育友会(52.0%)
針尾支所管内	町内会・自治会(100.0%)	PTA・育友会(72.7%)	民生委員の協議会(54.5%)
三川内支所管内	町内会・自治会(86.4%)	PTA・育友会(72.7%)	民生委員の協議会(63.6%)
宮支所管内	町内会・自治会(93.9%)	PTA・育友会(73.3%)	民生委員の協議会(60.0%)
吉井行政センター管内	町内会・自治会(85.2%)	民生委員の協議会(77.8%)	PTA・育友会(74.1%)
世知原行政センター管内	町内会・自治会(90.5%)	PTA・育友会(66.7%)	民生委員の協議会(57.1%)
宇久行政センター管内	町内会・自治会(66.7%)	民生委員の協議会(66.7%)	PTA・育友会(50.0%)
小佐々行政センター管内	町内会・自治会(88.9%)	PTA・育友会(66.7%)	民生委員の協議会(55.6%)
江迎行政センター管内	町内会・自治会(72.2%)	PTA・育友会(66.7%)	民生委員の協議会(63.9%)
鹿町行政センター管内	町内会・自治会(96.4%)	PTA・育友会(71.4%)	民生委員の協議会(64.3%)

(問19) あなたは、お住まいの地域の活動にどの程度参加していますか。
(いずれか1つに)

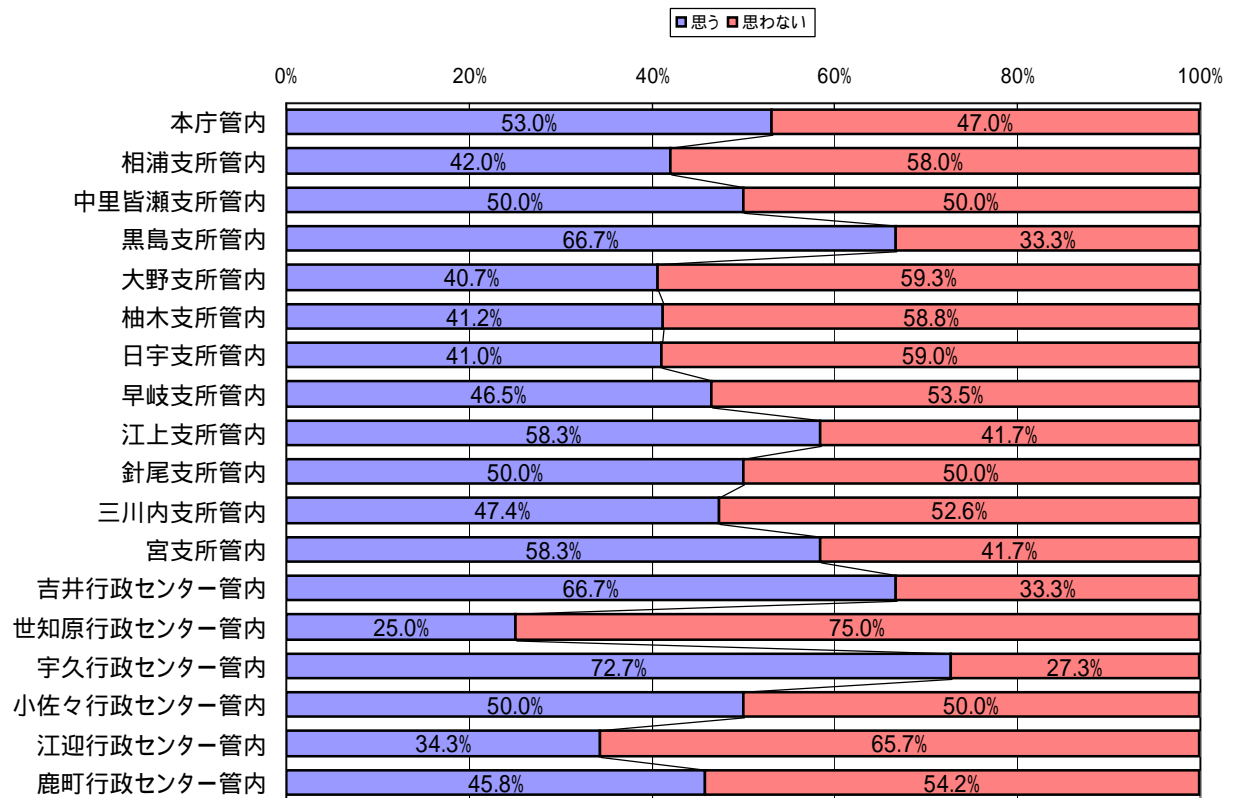


(問20) あなたは、地域でどのような活動や行事に参加していますか。
(あてはまるものすべてに)

上位3項目のみ

地域別	1位	2位	3位
本庁管内	町内清掃 (69.6%)	町内会などの活動 (51.9%)	お祭りなどの行事 (24.5%)
相浦支所管内	町内清掃 (84.7%)	町内会などの活動 (49.2%)	子ども会などの活動 (25.4%)
中里皆瀬支所管内	町内会などの活動 (83.7%)	町内清掃 (67.4%)	お祭りなどの行事 (37.2%)
黒島支所管内	町内清掃 (80.0%)	町内会などの活動 (80.0%)	お祭りなどの行事 (80.0%)
大野支所管内	町内清掃 (75.0%)	町内会などの活動 (48.5%)	お祭りなどの行事 (33.8%)
柚木支所管内	町内清掃 (71.4%)	お祭りなどの行事 (71.4%)	町内会などの活動 (42.9%)
日宇支所管内	町内清掃 (82.6%)	町内会などの活動 (49.6%)	お祭りなどの活動 (30.6%)
早岐支所管内	町内清掃 (82.4%)	町内会などの活動 (54.4%)	お祭りなどの活動 (33.1%)
江上支所管内	町内清掃 (65.0%)	町内会などの活動 (65.0%)	お祭りなどの活動 (35.0%)
針尾支所管内	町内会などの活動 (81.8%)	町内清掃 (63.6%)	お祭りなどの活動 (54.5%)
三川内支所管内	お祭りなどの活動 (81.3%)	町内清掃 (75.0%)	町内会などの活動 (68.8%)
宮支所管内	町内清掃 (72.7%)	町内会などの活動 (45.5%)	お祭りなどの活動 (45.5%)
吉井行政センター管内	町内清掃 (73.9%)	お祭りなどの行事 (43.5%)	町内会などの活動 (39.1%)
世知原行政センター管内	町内清掃 (61.1%)	町内会などの活動 (38.9%)	お祭りなどの活動 (27.8%)
宇久行政センター管内	お祭りなどの活動 (80.0%)	町内会などの活動 (50.0%)	町内清掃 (30.0%)
小佐々行政センター管内	町内清掃 (85.7%)	町内会などの活動 (61.9%)	お祭りなどの活動 (52.4%)
江迎行政センター管内	町内清掃 (88.9%)	お祭りなどの活動 (51.9%)	町内会などの活動 (29.6%)
鹿町行政センター管内	町内清掃 (65.2%)	お祭りなどの活動 (52.2%)	町内会などの活動 (39.1%)

(問21) あなたは、現在の地域の活動に問題があると思いますか。
(いずれか1つに)

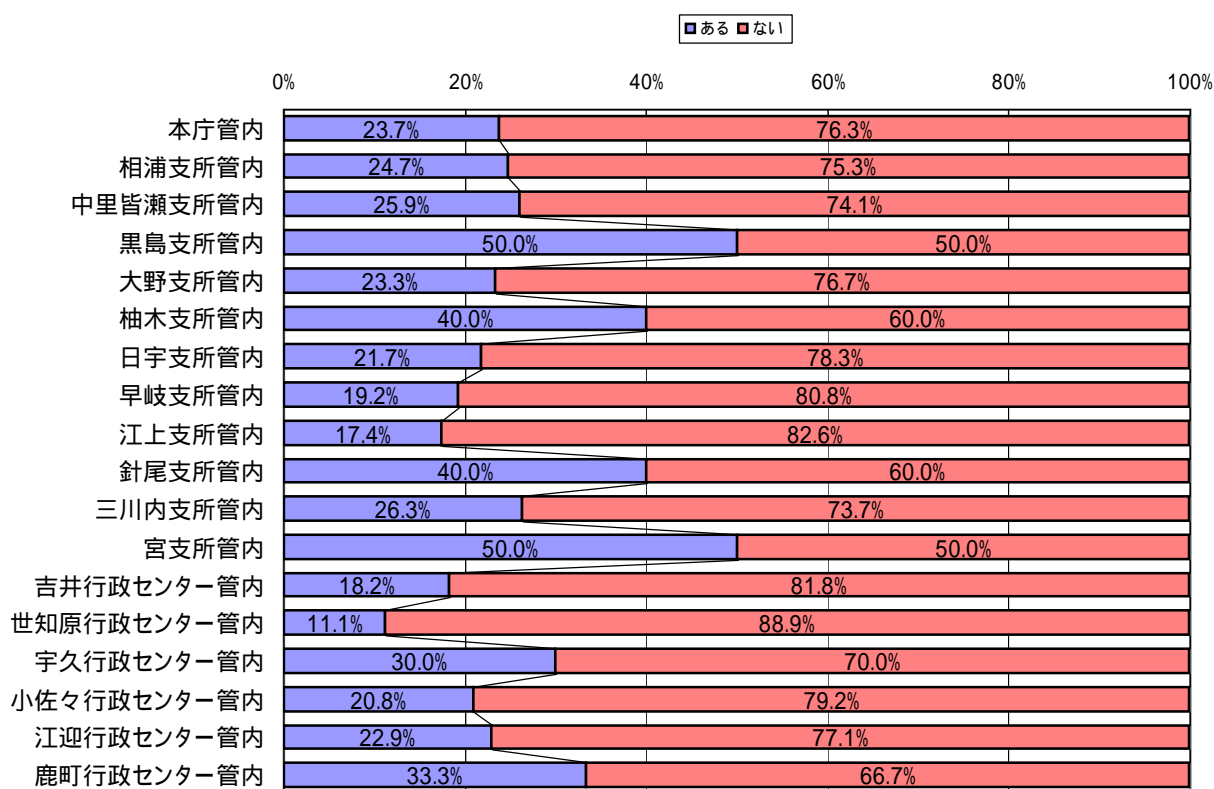


(問22) あなたは、地域の活動の問題点はどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものすべてに)

上位3項目のみ

地域別	1位	2位	3位
本庁管内	住民の関心が低い(66.2%)	活動する人が減っている(65.2%)	情報が十分でない(31.3%)
相浦支所管内	住民の関心が低い(69.8%)	活動する人が減っている(61.9%)	情報が十分でない(36.5%)
中里皆瀬支所管内	住民の関心が低い(69.0%)	活動する人が減っている(58.6%)	情報が十分でない(27.6%)
黒島支所管内	活動する人が減っている(100.0%)	活動資金が十分でない(50.0%)	住民の関心が低い(25.0%)
大野支所管内	活動する人が減っている(75.7%)	住民の関心が低い(64.9%)	情報が十分でない(29.7%)
柚木支所管内	活動する人が減っている(42.9%)	住民の関心が低い(28.6%)	情報が十分でない(28.6%)
日宇支所管内	活動する人が減っている(58.9%)	住民の関心が低い(57.5%)	情報が十分でない(32.9%)
早岐支所管内	活動する人が減っている(71.3%)	住民の関心が低い(71.3%)	情報が十分でない(36.3%)
江上支所管内	活動する人が減っている(85.7%)	住民の関心が低い(57.1%)	情報が十分でない(35.7%)
針尾支所管内	活動する人が減っている(50.0%)	住民の関心が低い(50.0%)	情報が十分でない(25.0%)
三川内支所管内	活動する人が減っている(88.9%)	住民の関心が低い(66.7%)	活動資金が十分でない(22.2%)
宮支所管内	活動する人が減っている(85.7%)	住民の関心が低い(57.1%)	情報が十分でない(42.9%)
吉井行政センター管内	住民の関心が低い(66.7%)	活動する人が減っている(61.1%)	情報が十分でない(22.2%)
世知原行政センター管内	活動する人が減っている(100.0%)	住民の関心が低い(40.0%)	活動資金が十分でない(40.0%)
宇久行政センター管内	活動する人が減っている(75.0%)	住民の関心が低い(50.0%)	活動資金が十分でない(25.0%)
小佐々行政センター管内	住民の関心が低い(76.9%)	活動する人が減っている(69.2%)	情報が十分でない(46.2%)
江迎行政センター管内	活動する人が減っている(83.3%)	住民の関心が低い(41.7%)	活動資金が十分でない(25.0%)
鹿町行政センター管内	活動する人が減っている(100.0%)	住民の関心が低い(54.5%)	情報が十分でない(36.4%)

(問23) あなたは、ボランティア・NPO活動に参加したことがありますか。
(いずれか1つに)



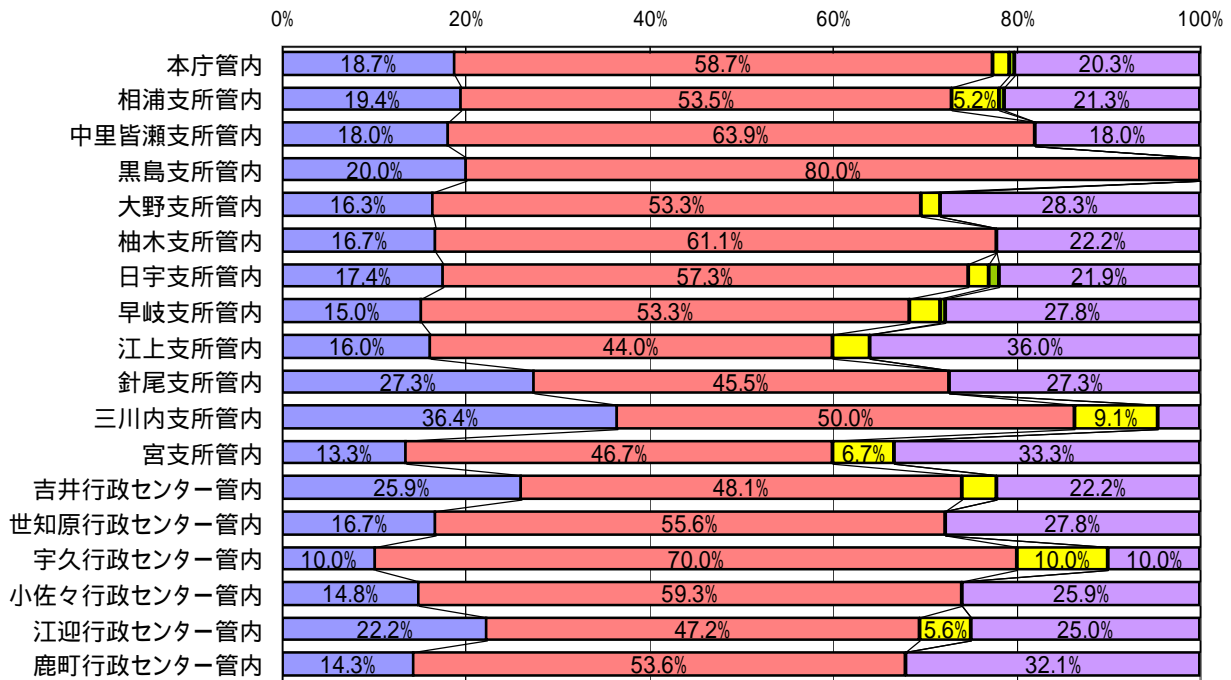
(問24) あなたは、ボランティア・NPO活動が活性化するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものに3つまで)

上位3項目のみ

地域別	1位	2位	3位
本庁管内	活動の情報提供 (63.6%)	ボランティア人材の育成 (39.1%)	ボランティアの調整役 (32.8%)
相浦支所管内	活動の情報提供 (64.0%)	ボランティア人材の育成 (34.2%)	ボランティアの調整役 (29.2%)
中里皆瀬支所管内	活動の情報提供 (52.5%)	ボランティア人材の育成 (36.1%)	活動資金の助成 (32.8%)
黒島支所管内	活動資金の助成 (66.7%)	ボランティア人材の育成 (50.0%)	ボランティアの調整役 (50.0%)
大野支所管内	活動の情報提供 (62.6%)	活動資金の助成 (33.3%)	ボランティア人材の育成 (30.3%)
袖木支所管内	活動の情報提供 (77.8%)	ボランティアの調整役 (27.8%)	ボランティア人材の育成 (22.2%)
日宇支所管内	活動の情報提供 (64.1%)	ボランティア人材の育成 (42.4%)	活動資金の助成 (34.8%)
早岐支所管内	活動の情報提供 (59.7%)	ボランティア人材の育成 (40.3%)	ボランティアの調整役 (33.1%)
江上支所管内	活動の情報提供 (52.0%)	相談窓口の充実 (36.0%)	ボランティア人材の育成 (32.0%)
針尾支所管内	活動の情報提供 (54.5%)	相談窓口の充実 (36.4%)	ボランティアの調整役 (27.3%)
三川内支所管内	活動の情報提供 (72.7%)	ボランティア人材の育成 (36.4%)	相談窓口の充実 (36.4%)
宮支所管内	活動資金の助成 (66.7%)	活動の情報提供 (40.0%)	ボランティア人材の育成 (33.3%)
吉井行政センター管内	活動の情報提供 (59.3%)	活動資金の助成 (40.7%)	ボランティア人材の育成 (37.0%)
世知原行政センター管内	活動の情報提供 (52.4%)	活動資金の助成 (23.8%)	ボランティアの調整役 (23.8%)
宇久行政センター管内	活動資金の助成 (58.3%)	ボランティア人材の育成 (58.3%)	活動の情報提供 (50.0%)
小佐々行政センター管内	活動の情報提供 (59.3%)	ボランティア人材の育成 (44.4%)	ボランティアの調整役 (33.3%)
江迎行政センター管内	活動の情報提供 (52.8%)	ボランティア人材の育成 (36.1%)	活動資金の助成 (25.0%)
鹿町行政センター管内	活動の情報提供 (46.4%)	ボランティア人材の育成 (42.9%)	活動資金の助成 (32.1%)

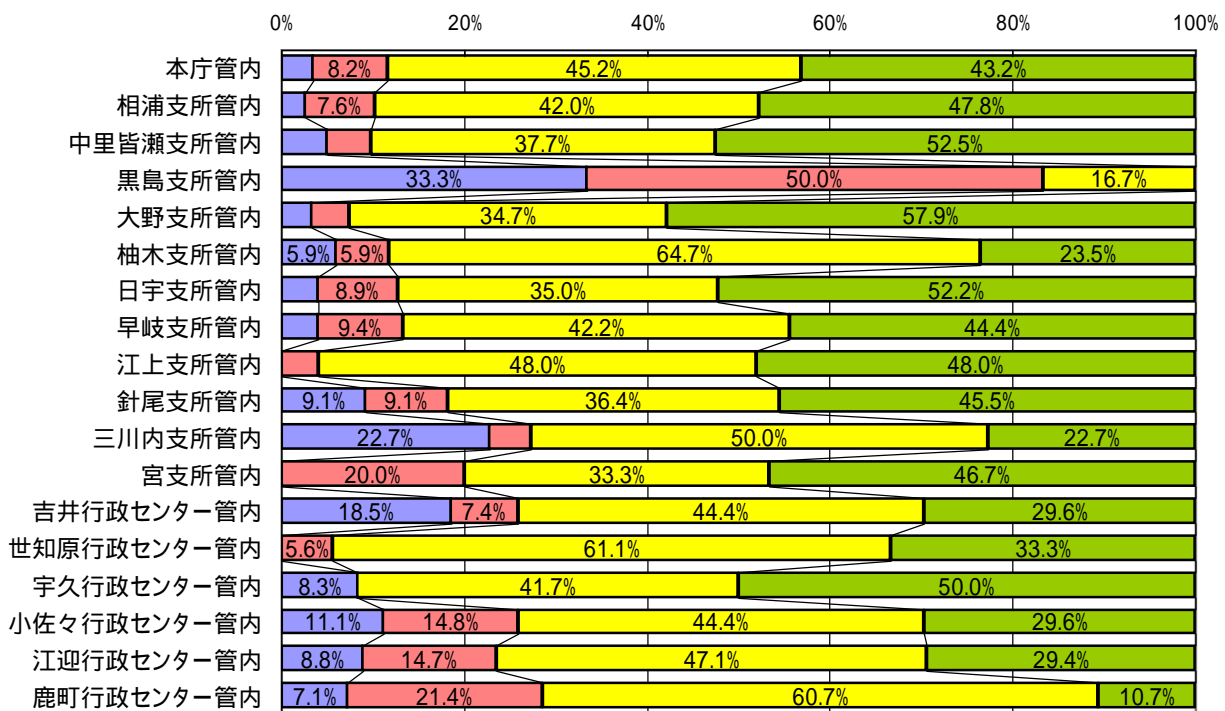
(問25) あなたは、自治会などの“地域”を単位とする組織と、ボランティアやNPOなどの“目的別”の団体の関わり方は、どうあるべきだと思いますか。
(いずれか1つに)

■積極的に関わるべきだ ■場合によっては関わるべきだ ■あまり関わるべきではない ■まったく関わるべきではない ■どちらとも言えない・わからない



(問26) あなたは、「デイクラブ」や「ふれあいいいきサロン」などの住民による交流の場があることを知っていますか。
(いずれか1つに)

■よく知っている ■少しは知っている ■ほとんど知らない ■知らない

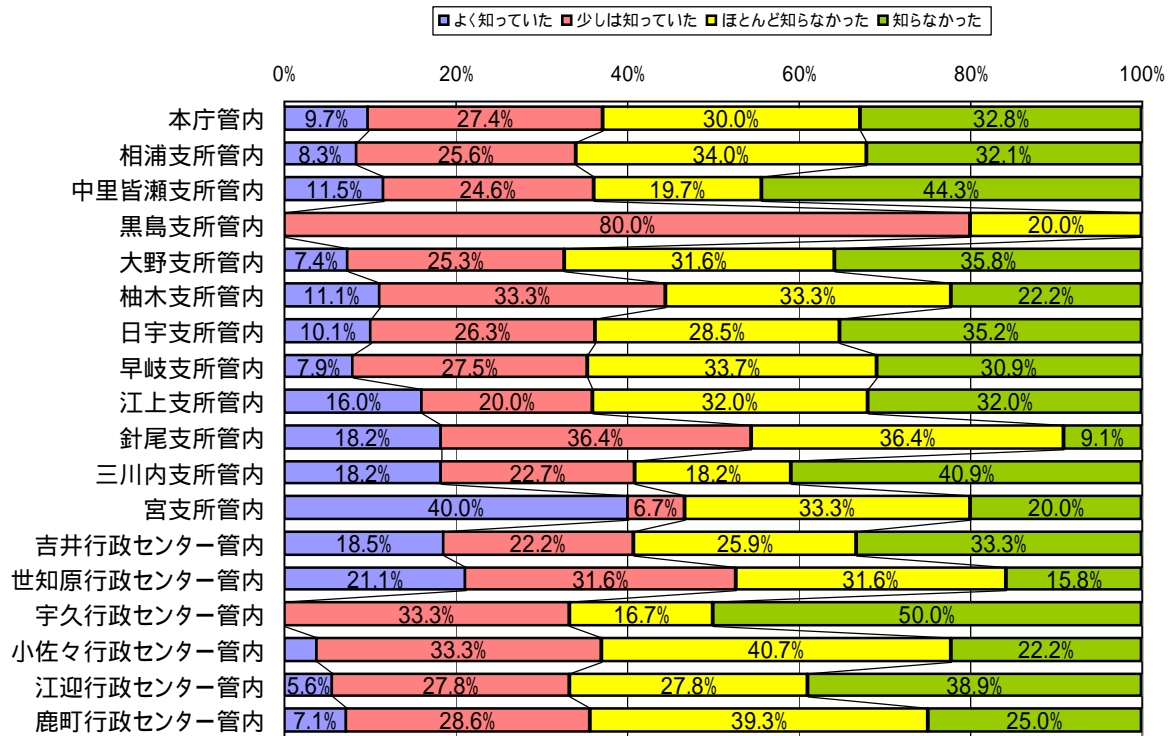


(問27) あなたが福祉に関する情報を入手する場合、どこから情報を入手しますか。
(あてはまるものに3つまで)

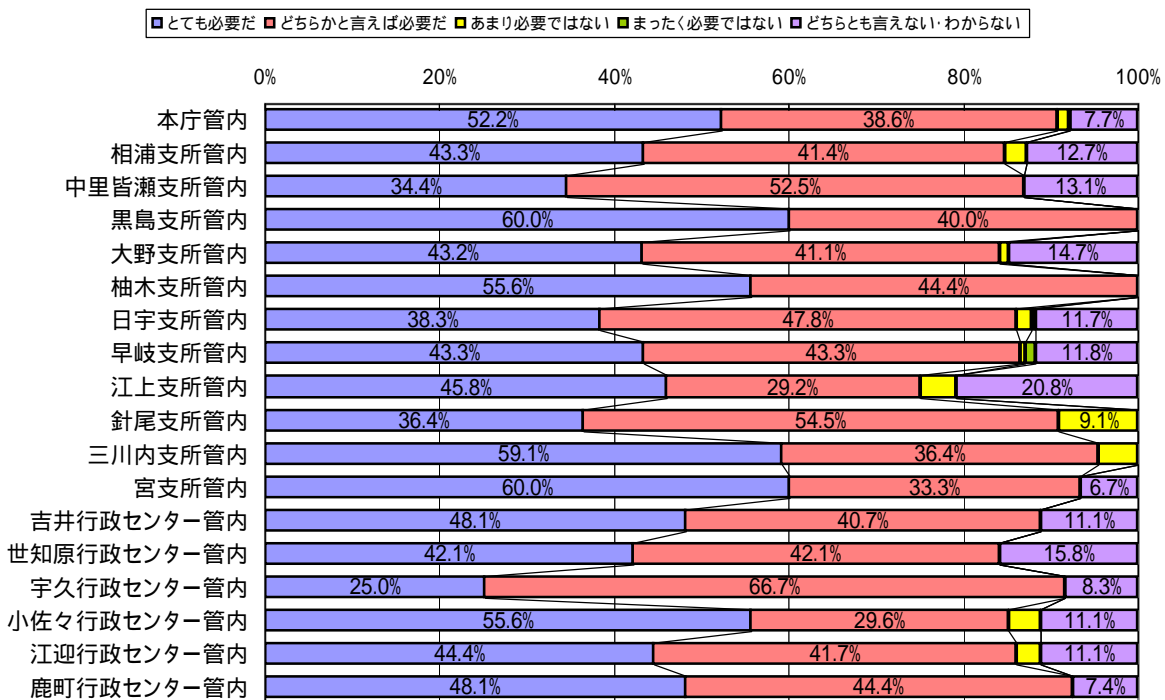
上位5項目のみ

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
本庁管内	広報させば (68.7%)	自治会の回覧板 (35.6%)	市役所など 行政機関の窓口 (32.6%)	テレビ、ラジオ (28.0%)	新聞 (21.7%)
相浦支所管内	広報させば (57.1%)	自治会の回覧板 (36.6%)	市役所など 行政機関の窓口 (28.0%)	テレビ、ラジオ (26.7%)	新聞 (19.3%)
中里皆瀬 支所管内	広報させば (70.5%)	自治会の回覧板 (47.5%)	市役所など 行政機関の窓口 (32.8%)	テレビ、ラジオ (26.2%)	雑誌や本、 タウン誌 (16.4%)
黒島支所管内	自治会の回覧板 (83.3%)	広報させば (50.0%)	市役所など 行政機関の窓口 (16.7%)	テレビ、ラジオ (16.7%)	新聞 (16.7%)
大野支所管内	広報させば (59.6%)	自治会の回覧板 (28.3%)	市役所など 行政機関の窓口 (25.3%)	テレビ、ラジオ (25.3%)	新聞 (22.2%)
柚木支所管内	広報させば (72.2%)	自治会の回覧板 (38.9%)	テレビ、ラジオ (27.8%)	市役所など 行政機関の窓口 (22.2%)	新聞 (22.2%)
日宇支所管内	広報させば (70.1%)	自治会の回覧板 (37.5%)	市役所など 行政機関の窓口 (28.3%)	テレビ、ラジオ (28.3%)	新聞 (19.0%)
早岐支所管内	広報させば (74.0%)	自治会の回覧板 (42.4%)	市役所など 行政機関の窓口 (32.0%)	テレビ、ラジオ (24.9%)	新聞 (18.8%)
江上支所管内	広報させば (72.0%)	市役所など 行政機関の窓口 (48.0%)	自治会の回覧板 (28.0%)	テレビ、ラジオ (28.0%)	新聞 (28.0%)
針尾支所管内	広報させば (45.5%)	自治会の回覧板 (45.5%)	新聞 (45.5%)	市役所など 行政機関の窓口 (36.4%)	テレビ、ラジオ (36.4%)
三川内支所管内	自治会の回覧板 (54.5%)	広報させば (45.5%)	市役所など 行政機関の窓口 (36.4%)	テレビ、ラジオ (36.4%)	社協だよりや 社会福祉協議会の窓口 (22.7%)
宮支所管内	広報させば (66.7%)	自治会の回覧板 (46.7%)	テレビ、ラジオ (33.3%)	新聞 (26.7%)	雑誌や本、 タウン誌 (20.0%)
吉井行政センター 管内	広報させば (70.4%)	自治会の回覧板 (55.6%)	社協だよりや 社会福祉協議会の窓口 (29.6%)	市役所など 行政機関の窓口 (25.9%)	テレビ、ラジオ (18.5%)
世知原行政 センター管内	広報させば (76.2%)	市役所など 行政機関の窓口 (33.3%)	テレビ、ラジオ (33.3%)	新聞 (28.6%)	自治会の回覧板 (23.8%)
宇久行政センター 管内	広報させば (66.7%)	自治会の回覧板 (50.0%)	テレビ、ラジオ (41.7%)	新聞 (25.0%)	社協だよりや 社会福祉協議会の窓口 (25.0%)
小佐々行政 センター管内	広報させば (63.0%)	自治会の回覧板 (51.9%)	市役所など 行政機関の窓口 (29.6%)	テレビ、ラジオ (22.2%)	福祉サービスの事業所 またはその職員 (22.2%)
江迎行政センター 管内	広報させば (52.8%)	自治会の回覧板 (52.8%)	市役所など 行政機関の窓口 (30.6%)	社協だよりや 社会福祉協議会の窓口 (27.8%)	テレビ、ラジオ (19.4%)
鹿町行政センター 管内	広報させば (67.9%)	自治会の回覧板 (57.1%)	市役所など 行政機関の窓口 (28.6%)	テレビ、ラジオ (28.6%)	新聞 (25.0%)

(問28) あなたは、「地域福祉」という言葉を知っていましたか。
(いずれか1つに)

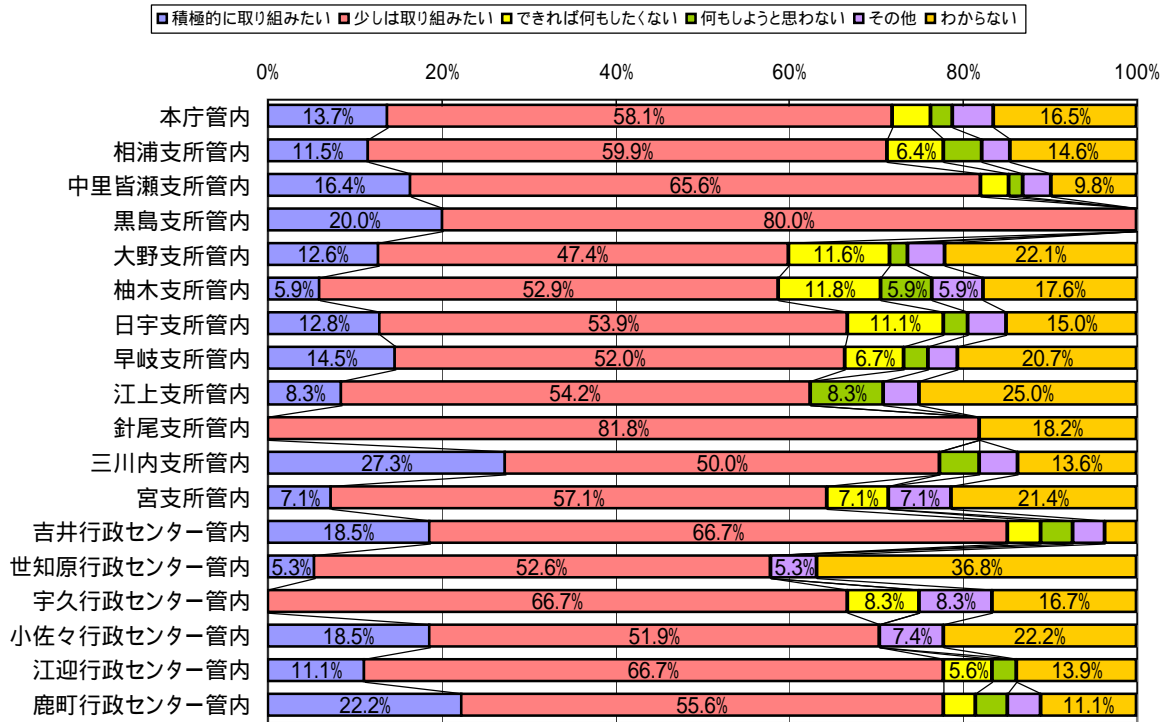


(問29) あなたは、「地域福祉」を進めることが必要だと思いますか。
(いずれか1つに)

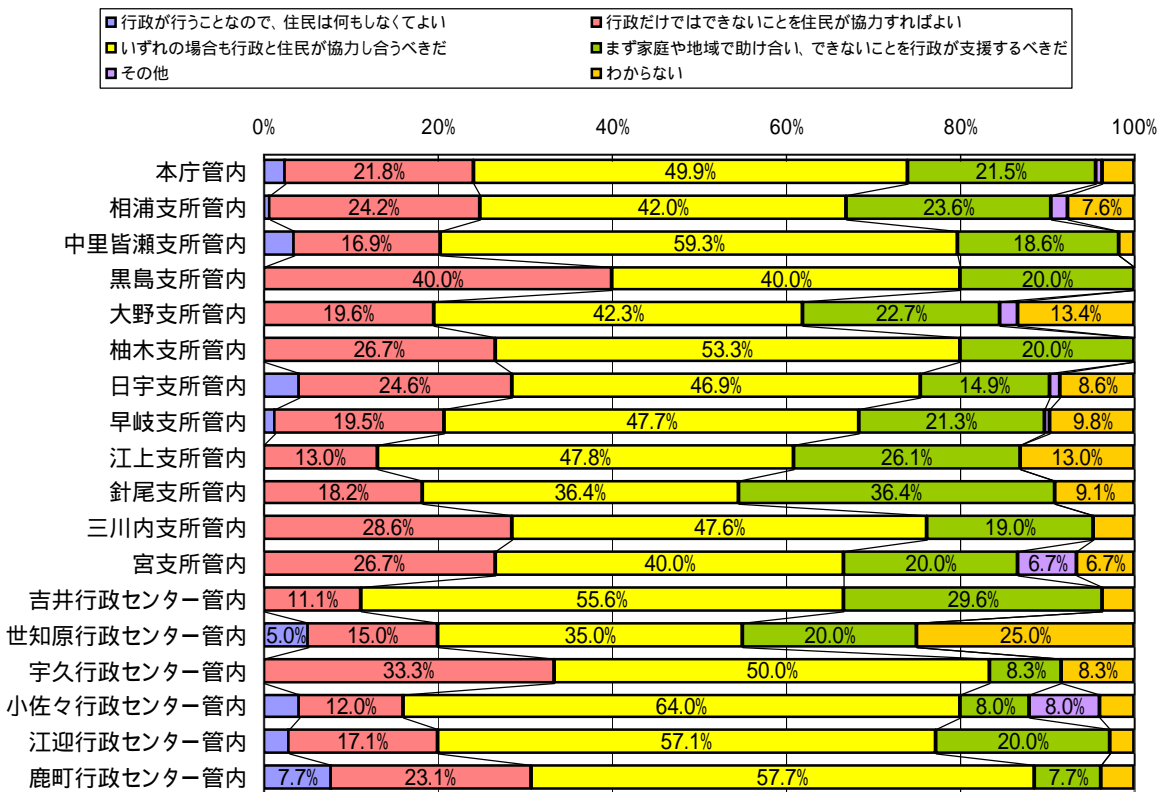


第2章 調査の結果と分析
6. 地域別の回答の結果について

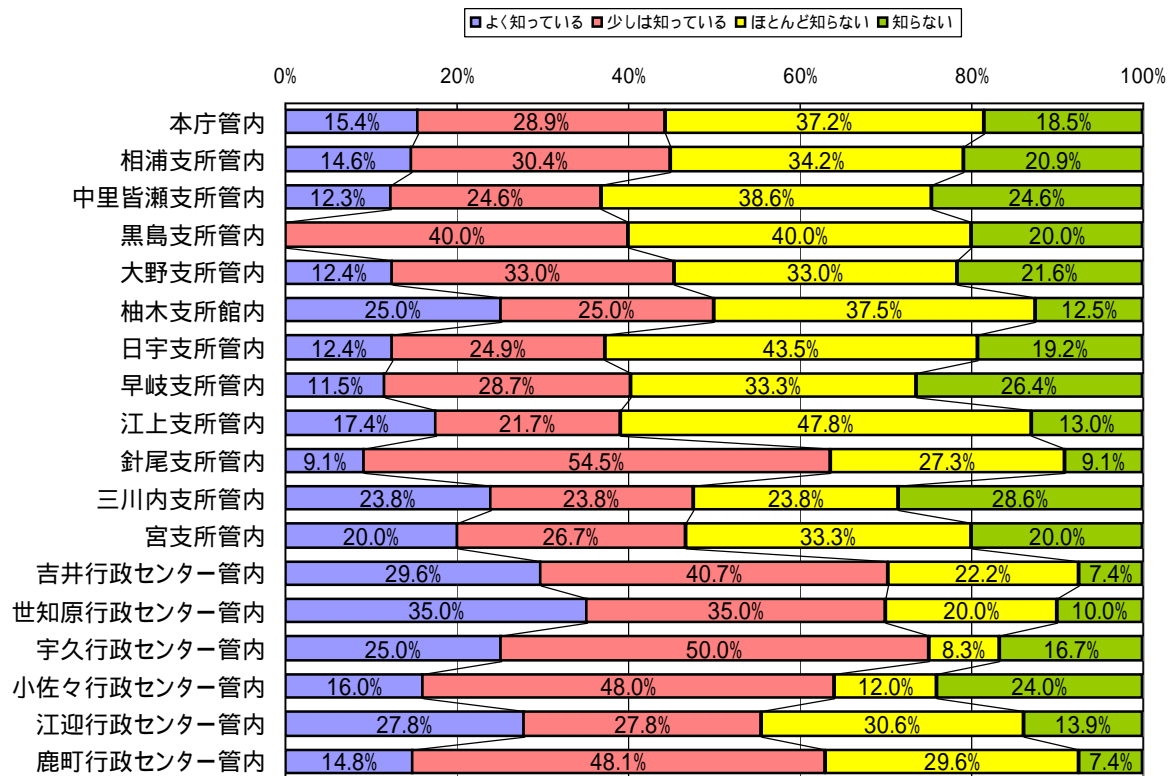
(問30) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、自分ができることに取り組みますか。
(いずれか1つに)



(問31) 「地域福祉」を進めるために、行政と住民はどのような関係にあるべきだと思いますか。
(いずれか1つに)



(問32) あなたは、「地域福祉」を進めるためにさまざまな活動を行っている団体「佐世保市社会福祉協議会」を知っていますか。
(いずれか1つに)



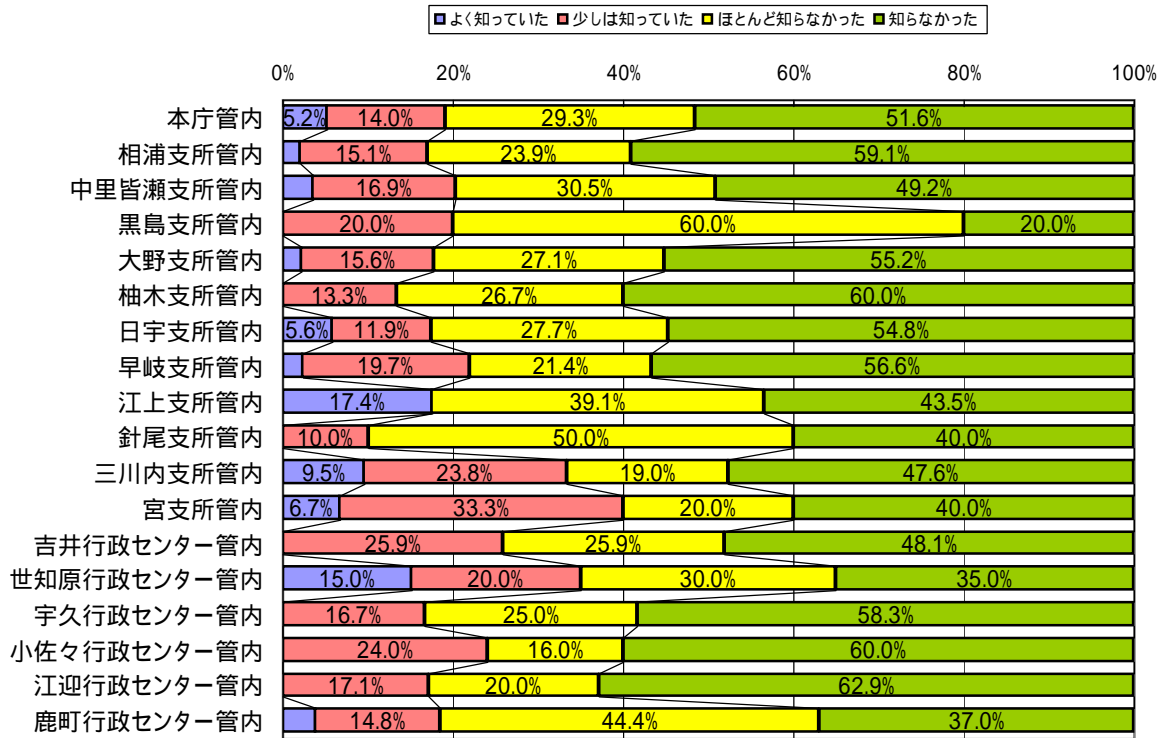
第2章 調査の結果と分析
6. 地域別の回答の結果について

(問33) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、「佐世保市社会福祉協議会」が行う活動・支援として充実すべきことはどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものに3つまで)

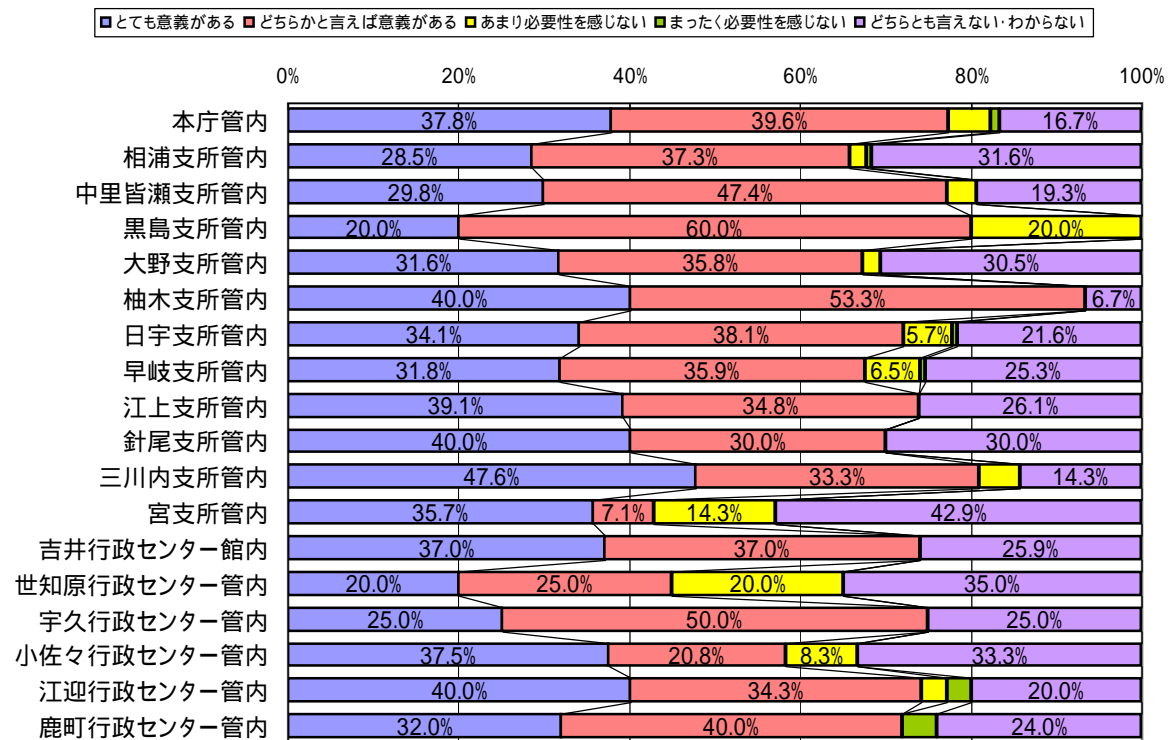
上位5項目のみ

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
本庁管内	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (45.2%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (39.9%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (38.9%)	高齢者や団体への支援 (29.0%)	障がいのある人や団体への支援 (20.7%)
相浦支所管内	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (42.9%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (36.6%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (36.6%)	高齢者や団体への支援 (29.2%)	障がいのある人や団体への支援 (19.9%)
中里皆瀬支所管内	住民による身近な支え合い活動への支援 (49.2%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (44.3%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (44.3%)	高齢者や団体への支援 (24.6%)	学校や地域での福祉教育の推進 (24.6%)
黒島支所管内	高齢者や団体への支援 (66.7%)	障がいのある人や団体への支援 (50.0%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (33.3%)	学校や地域での福祉教育の推進 (33.3%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (16.7%)
大野支所管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (45.5%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (43.4%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (34.3%)	高齢者や団体への支援 (25.3%)	障がいのある人や団体への支援 (22.2%)
柚木支所管内	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (50.0%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (38.9%)	高齢者や団体への支援 (33.3%)	障がいのある人や団体への支援 (33.3%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (33.3%)
日宇支所管内	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (41.8%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (41.3%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (37.0%)	高齢者や団体への支援 (26.6%)	学校や地域での福祉教育の推進 (22.8%)
早岐支所管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (45.3%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (42.0%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (38.7%)	高齢者や団体への支援 (30.9%)	障がいのある人や団体への支援 (24.9%)
江上支所管内	住民による身近な支え合い活動への支援 (44.0%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (36.0%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (32.0%)	障がいのある人や団体への支援 (28.0%)	高齢者や団体への支援 (24.0%)
針尾支所管内	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (63.6%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (54.5%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (36.4%)	高齢者や団体への支援 (27.3%)	障がいのある人や団体への支援 (27.3%)
三川内支所管内	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (59.1%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (59.1%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (31.8%)	高齢者や団体への支援 (31.8%)	福祉に関する情報発信 (31.8%)
宮支所管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (66.7%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (53.3%)	高齢者や団体への支援 (33.3%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (26.7%)	福祉に関する情報発信 (26.7%)
吉井行政センター管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (44.4%)	高齢者や団体への支援 (44.4%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (40.7%)	障がいのある人や団体への支援 (40.7%)	福祉に関する情報発信 (29.6%)
世知原行政センター管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (61.9%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (52.4%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (38.1%)	高齢者や団体への支援 (28.6%)	障がいのある人や団体への支援 (14.3%)
宇久行政センター管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (58.3%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (58.3%)	高齢者や団体への支援 (41.7%)	障がいのある人や団体への支援 (33.3%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (25.0%)
小佐々行政センター管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (55.6%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (48.1%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (40.7%)	高齢者や団体への支援 (37.0%)	学校や地域での福祉教育の推進 (18.5%)
江迎行政センター管内	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (55.6%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (52.8%)	高齢者や団体への支援 (41.7%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (38.9%)	障がいのある人や団体への支援 (19.4%)
鹿町行政センター管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (50.0%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (42.9%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (42.9%)	学校や地域での福祉教育の推進 (25.0%)	高齢者や団体への支援 (21.4%)

(問34) あなたは、「地域福祉計画」または「地域福祉活動計画」を知っていましたか。
(いずれか1つに)

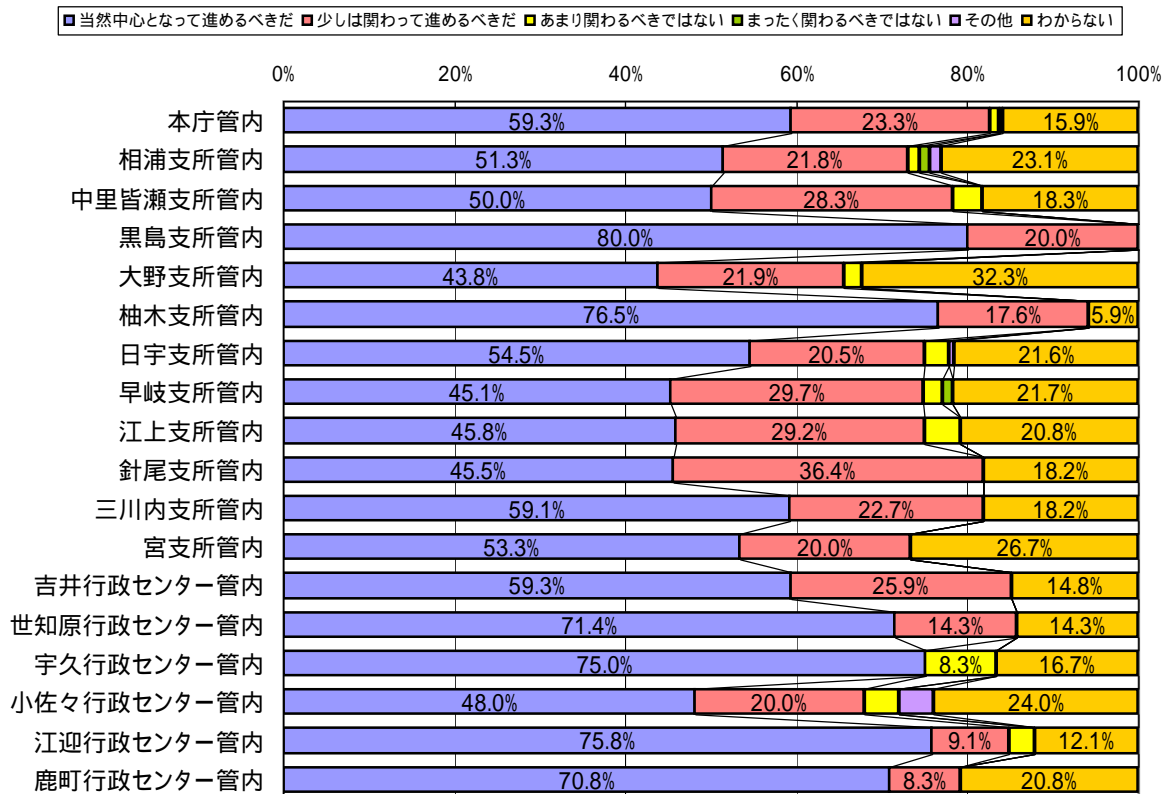


(問35) あなたは、「地域福祉計画」や「地域福祉活動計画」についてどう思いますか。
(いずれか1つに)



第2章 調査の結果と分析
 6. 地域別の回答の結果について

(問36) あなたは、「地域福祉」を進めるための取り組みについて、各地区の福祉推進協議会が中心となって進めることについてどう思いますか。
 (いずれか1つに)



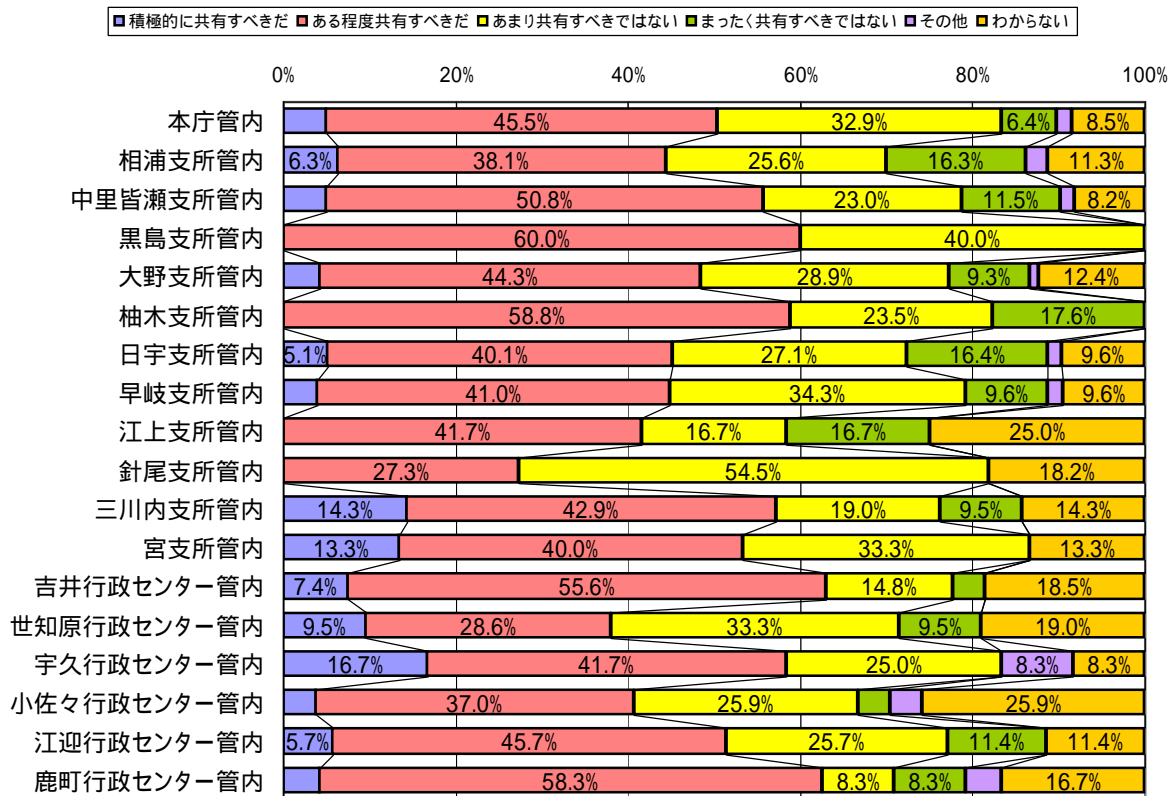
(問37) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、各地区の福祉推進協議会が行う活動として充実すべきことはどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものに3つまで)

上位5項目のみ

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
本庁管内	住民による身近な 支え合いづくり (52.3%)	高齢者への支援 (51.3%)	身近な福祉の 相談機能 (50.0%)	障がいの ある人への支援 (25.0%)	子育てに 関する支援 (22.0%)
相浦支所管内	身近な福祉の 相談機能 (50.9%)	住民による身近な 支え合いづくり (49.7%)	高齢者への支援 (45.3%)	障がいの ある人への支援 (26.1%)	子育てに 関する支援 (23.0%)
中里皆瀬 支所管内	住民による身近な 支え合いづくり (57.4%)	身近な福祉の 相談機能 (42.6%)	高齢者への支援 (36.1%)	子育てに 関する支援 (26.2%)	ボランティア活動 への参加促進 (24.6%)
黒島支所管内	住民による身近な 支え合いづくり (50.0%)	高齢者への支援 (50.0%)	障がいの ある人への支援 (50.0%)	身近な福祉の 相談機能 (33.3%)	ナシ
大野支所管内	住民による身近な 支え合いづくり (46.5%)	高齢者への支援 (35.4%)	身近な福祉の 相談機能 (34.3%)	障がいの ある人への支援 (31.3%)	子育てに 関する支援 (27.3%)
柚木支所管内	身近な福祉の 相談機能 (55.6%)	高齢者への支援 (50.0%)	住民による身近な 支え合いづくり (38.9%)	障がいの ある人への支援 (27.8%)	子育てに 関する支援 (27.8%)
日宇支所管内	住民による身近な 支え合いづくり (47.3%)	高齢者への支援 (47.3%)	身近な福祉の 相談機能 (46.2%)	障がいの ある人への支援 (32.6%)	子育てに 関する支援 (25.5%)
早岐支所管内	高齢者への支援 (47.5%)	身近な福祉の 相談機能 (43.6%)	住民による身近な 支え合いづくり (42.5%)	障がいの ある人への支援 (35.4%)	子どもへの 福祉教育 (21.5%)
江上支所管内	住民による身近な 支え合いづくり (56.0%)	高齢者への支援 (36.0%)	身近な福祉の 相談機能 (36.0%)	障がいの ある人への支援 (36.0%)	子育てに 関する支援 (32.0%)
針尾支所管内	住民による身近な 支え合いづくり (72.7%)	身近な福祉の 相談機能 (54.5%)	高齢者への支援 (27.3%)	子どもへの 福祉教育 (27.3%)	障がいの ある人への支援 (18.2%)
三川内支所管内	住民による身近な 支え合いづくり (50.0%)	高齢者への支援 (50.0%)	身近な福祉の 相談機能 (45.5%)	障がいの ある人への支援 (40.9%)	ボランティア活動 への参加促進 (36.4%)
宮支所管内	住民による身近な 支え合いづくり (66.7%)	高齢者への支援 (46.7%)	身近な福祉の 相談機能 (40.0%)	障がいの ある人への支援 (33.3%)	子どもへの 福祉教育 (20.0%)
吉井行政 センター管内	高齢者への支援 (59.3%)	住民による身近な 支え合いづくり (55.6%)	身近な福祉の 相談機能 (40.7%)	子どもへの 福祉教育 (29.6%)	障がいの ある人への支援 (25.9%)
世知原行政 センター管内	身近な福祉の 相談機能 (52.4%)	高齢者への支援 (47.6%)	住民による身近な 支え合いづくり (42.9%)	障がいの ある人への支援 (33.3%)	子どもへの 福祉教育 (19.0%)
宇久行政 センター管内	高齢者への支援 (50.0%)	身近な福祉の 相談機能 (50.0%)	住民による身近な 支え合いづくり (33.3%)	障がいの ある人への支援 (33.3%)	子育てに 関する支援 (16.7%)
小佐々行政 センター管内	住民による身近な 支え合いづくり (48.1%)	高齢者への支援 (48.1%)	身近な福祉の 相談機能 (37.0%)	障がいの ある人への支援 (33.3%)	子どもへの 福祉教育 (29.6%)
江迎行政 センター管内	高齢者への支援 (55.6%)	身近な福祉の 相談機能 (41.7%)	住民による身近な 支え合いづくり (38.9%)	障がいの ある人への支援 (25.0%)	子育てに 関する支援 (19.4%)
鹿町行政 センター管内	住民による身近な 支え合いづくり (53.6%)	身近な福祉の 相談機能 (50.0%)	高齢者への支援 (42.9%)	障がいの ある人への支援 (14.3%)	子育てに 関する支援 (14.3%)

第2章 調査の結果と分析
6. 地域別の回答の結果について

(問38) あなたは、「地域福祉」を進めるうえで、地域内で個人情報を共有することについて、
どう思いますか。
(いずれか1つに)



資 料
(アンケート調査票)

佐世保市の地域福祉に関するアンケート

このアンケートは、佐世保市が実施している『地域福祉』に関する事業やその内容について、市民の皆さまの「認知度」や「満足度」などをお聞きするために行うものです。

この結果を事業に反映させることで、今後の佐世保市における地域福祉の推進に役立てたいと考えておりますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートは、「佐世保市が行うアンケート調査に係る住民基本台帳情報の利用に関する規則」に基づいて、佐世保市民の中から16歳以上3,500名を無作為に選ばせていただき、お送りしております。

(アンケートの回答のしかた)

- ご回答は、このアンケートのあて名の方ご本人が、**この調査票に直接ご記入**ください。
ご家族の方が代わってご記入される場合は、あて名の方のご意思に基づいてご記入いただきますようお願いいたします。
- ご回答いただいたアンケート用紙は、**平成23年12月22日(木)までに**、同封の返信用封筒に三つ折りにして入れ、郵便ポストにご投函ください。(切手は不要です)

個人情報の取り扱いについて

- アンケート調査票や返信用封筒には、お名前や住所等、個人情報または個人が特定されるような情報の記載は避けていただきますよう、お願いいたします。
- ご記入いただいたご意見は、集計後すみやかに焼却処分するなど、佐世保市個人情報保護条例に基づき、適切な管理・運営を行いますので、個人としてのご意見が外部に出るようなことは決してありません。
- この調査の結果は、この他の目的に使用することはありません。

(このアンケートに関するお問い合わせ先)
佐世保市役所 保健福祉政策課 企画係
〒857-0042 佐世保市高砂町5番1号
佐世保市中央保健福祉センター内
電話：24-1111 (内線5516)

【回答にあたってのお願い】

アンケート調査票や返信用封筒には、お名前や住所等、個人情報または個人が特定されるような情報の記載は避けていただきますよう、お願いいたします。

(住所、お名前の記入は不要です。)

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

(問1) あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

- 1 男
- 2 女

(問2) あなたの年齢をお答えください。(いずれか1つに○)

- 1 20歳未満
- 2 20歳～29歳
- 3 30歳～39歳
- 4 40歳～49歳
- 5 50歳～59歳
- 6 60歳～69歳
- 7 70歳～79歳
- 8 80歳以上

(問3) あなたの“主な職業”または“現在の状態”をお答えください。

(いずれか1つに○)

- 1 自営業主
- 2 家族従業者
- 3 会社・団体役員
- 4 給与所得者
- 5 パート勤務、アルバイト
- 6 学生
- 7 専業主婦(主夫)
- 8 無職(求職中を含む)
- 9 その他

(問4) あなたのお住まいの地域をお答えください。(いずれか1つに○)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1 本庁管内(支所管内以外) | 11 三川内支所管内 |
| 2 相浦支所管内 | 12 宮支所管内 |
| 3 中里・皆瀬支所管内 | 13 吉井行政センター管内 |
| 4 黒島支所管内 | 14 世知原行政センター管 |
| 5 大野支所管内 | 15 宇久行政センター管内 |
| 6 柚木支所管内 | 16 小佐々行政センター管内 |
| 7 日宇支所管内 | 17 江迎行政センター管内 |
| 8 早岐支所管内 | 18 鹿町行政センター管内 |
| 9 江上支所管内 | 19 わからない⇒下に町名をご記入ください。 |
| 10 針尾支所管内 | () |

(問5) 今お住まいの場所に、何年お住まいかお答えください。(いずれか1つに○)

※「吉井、世知原、宇久、小佐々、江迎、鹿町地域」を含む、現在の佐世保市でお考えください。

- 1 2年未満
- 2 2年以上5年未満
- 3 5年以上10年未満
- 4 10年以上20年未満
- 5 20年以上30年未満
- 6 30年以上40年未満
- 7 40年以上
- 8 わからない

(問6) 現在、あなたが同居されているご家族の構成をお答えください。

(いずれか1つに○)

- 1 単身(ひとり暮らし)
- 2 夫婦のみ
- 3 二世帯(親・子)
- 4 三世帯(親・子・孫)
- 5 その他()

(問7) あなたや、あなたの家族や知人など身近な方の中に、介護保険の要介護や要支援の認定を受けている方がおられますか。(いずれか1つに○)

- 1 いる
- 2 いない

(問8) あなたや、あなたの家族や知人など身近な方の中に、障がいの手帳を持っている*方がおられますか。(いずれか1つに○)

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれか、または複数を持っていることを指します。

- 1 いる
- 2 いない

ここからは、“地域での支え合い”についておたずねします。

(問9) あなたは日頃、隣り近所とどの程度のお付き合いがありますか。(いずれか1つに○)

- 1 訪問し合ったり、悩みを相談し合ったりしている
- 2 世間話や立ち話はしている
- 3 あいさつをする程度で、ほとんど付き合いがない
- 4 まったく付き合いがない

(問10) あなたは、日頃の生活を送る上で、隣り近所とのお付き合いが必要だと思えますか。(いずれか1つに○)

- 1 とても必要だ
- 2 まあまあ必要だ
- 3 あまり必要ではない
- 4 まったく必要ではない
- 5 どちらとも言えない・わからない

(問11) あなたに悩みや困り事があったときの、身近な相談相手は誰ですか。

(いずれか1つに○)

- 1 家族や親戚
- 2 友人・知人
- 3 地区の民生委員や主任児童委員
- 4 市役所など行政機関の相談窓口
- 5 社会福祉協議会
- 6 福祉関係の事業所の職員
- 7 ボランティアやNPOの活動をしている人
- 8 かかりつけの医療機関
- 9 町内会・自治会・公民館などの長
- 10 隣り近所の人
- 11 誰にも相談せず、自分で解決する
- 12 相談相手はいない
- 13 その他 ()
- 14 わからない

(問12) あなたが「地域」と聞いてイメージするのは、どの範囲ですか。

(いずれか1つに○)

※選びたい番号が他の番号と同じ範囲になる場合は、ご自身にとって一番わかりやすい番号を選んでください。【例】黒島町…4～7は同じ範囲

- 1 隣り近所
- 2 地元の「班」
- 3 地元の自治組織(町内会・自治会・区【例】大湊町1組、栗迎3など)
- 4 町内(【例】八幡町、江上町など)
- 5 小学校区
- 6 中学校区
- 7 支所(行政センター)
- 8 佐世保市内
- 9 その他 ()
- 10 わからない

(問13) あなたのお住まいの地域では、子ども、高齢者、障がい者を含めて、お互いの生活を地域全体で支え合っていると感じていますか。

(いずれか1つに○)

- 1 とても感じている
- 2 少し感じている
- 3 あまり感じていない
- 4 まったく感じていない
- 5 どちらとも言えない・わからない

(問14) あなたは、住民同士がお互いに助け合えるのは、どの範囲だと思いますか。

(いずれか1つに○)

※選びたい番号が他の番号と同じ範囲になる場合は、ご自身にとって一番わかりやすい番号を選んでください。【例】黒島町…4～7は同じ範囲

- 1 隣り近所
- 2 地元の「班」
- 3 地元の自治組織(町内会・自治会・区【例】大潟町1組、栗迎3など)
- 4 町内(【例】八幡町、江上町など)
- 5 小学校区
- 6 中学校区
- 7 支所(行政センター)
- 8 佐世保市内
- 9 その他()
- 10 わからない

(問15) あなたは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方など、生活上何らかの支援が必要な方が困っているときに、誰がその方の相談相手になるべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 その人の家族や親類
- 2 周りに住む人みんな
- 3 地区の民生委員や主任児童委員
- 4 町内会などの役員
- 5 市役所の職員
- 6 福祉関係の事業所の職員
- 7 ボランティアやNPOの活動をしている人
- 8 新しく地域の「相談役」になる人が必要
- 9 その他 ()
- 10 わからない

(問16) あなたは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方など、生活上何らかの支援が必要な方に対して、地域で助け合って日常生活のお手伝いなどをするべきだと思いますか。(いずれか1つに○)

- 1 ぜひするべきだ
- 2 ある程度するべきだ
- 3 あまりするべきではない
- 4 するべきではない
- 5 どちらとも言えない・わからない

(問17) あなたは、児童・生徒に対する福祉教育(思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育)について、どのように行うべきだと思いますか。
(いずれか1つに○)

- 1 学校教育の中で学ぶべきだ
- 2 家庭の中で学ぶべきだ
- 3 子ども会など地域の活動を通じて学ぶべきだ
- 4 公民館などでの社会教育を通じて学ぶべきだ
- 5 生活していく中で自然と身につく
- 6 その他 ()
- 7 わからない

(問18) 地域には、町内会や自治会などの組織のほか、地区福祉推進協議会などのさまざまな団体が活動していますが、あなたは、どのような団体を知っていますか。

(知っているものすべてに○)

- 1 町内会・自治会(婦人会などを含む)
- 2 PTA・育友会
- 3 民生委員や主任児童委員の協議会
- 4 地区福祉推進協議会
- 5 ボランティア団体やNPO法人
- 6 その他()

(問19) あなたは、お住まいの地域の活動にどの程度参加していますか。

(いずれか1つに○)

- | | | |
|---------------|---|------|
| 1 積極的に参加している | } | 問20へ |
| 2 時々参加している | | |
| 3 あまり参加していない | | |
| 4 まったく参加していない | ⇒ | 問21へ |

(問20) あなたは、地域でどのような活動や行事に参加していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 町内会や自治会の活動
- 2 子ども会やPTA・育友会の活動
- 3 老人クラブの活動
- 4 地区福祉推進協議会の活動
- 5 お祭りや運動会などの行事
- 6 町内清掃
- 7 その他()

(問21) あなたは、現在の地域の活動に問題があると思いますか。

(いずれか1つに○)

- 1 思う ⇒ 問22へ
- 2 思わない ⇒ 問23へ

(問22) あなたは、地域の活動の問題点はどのようなことだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 活動する人(とくに若い人)が少なくなっている
- 2 住民の関心が低い
- 3 活動資金が十分ではない
- 4 活動する場所や拠点の確保が難しい
- 5 地域活動に関する情報が十分ではない
- 6 その他()

(問23) あなたは、ボランティア・NPO活動に参加したことがありますか。

(いずれか1つに○)

- 1 ある
- 2 ない

(問24) あなたは、ボランティア・NPO活動が活性化するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものに3つまで○)

- 1 活動に関する情報の把握と提供
- 2 ボランティア人材の育成
- 3 活動資金の助成
- 4 活動に関する相談窓口の充実
- 5 ボランティアをする人と受ける人を結びつける調整役の育成
- 6 活動の場の確保
- 7 講演会やセミナーなどによる意識啓発
- 8 その他()
- 9 特にない

(問25) あなたは、自治会などの“地域”を単位とする組織と、ボランティアや NPO などの“目的別”の団体の関わり方は、どうあるべきだと思いますか。

(いずれか1つに○)

- 1 積極的に関わるべきだ
- 2 場合によっては関わるべきだ
- 3 あまり関わるべきではない
- 4 まったく関わるべきではない
- 5 どちらとも言えない・わからない

(問26) あなたは、「デイクラブ」や「ふれあいいいききサロン」などの住民による交流の場があることを知っていますか。

(いずれか1つに○)

- 1 よく知っている(参加している)
- 2 少しは知っている(何回か参加したことがある)
- 3 ほとんど知らない(聞いたことはあるが、参加したことはない)
- 4 知らない

(問27) あなたが福祉に関する情報を入手する場合、どこから情報を入手しますか。

(あてはまるものに3つまで○)

- 1 市役所など行政機関の窓口
- 2 広報させぼ
- 3 テレビ、ラジオ
- 4 新聞
- 5 インターネットや携帯電話の情報サイト
- 6 雑誌や本、タウン誌(ライフさせぼなど)
- 7 自治会(町内会・区など)の回覧板
- 8 社協だよりや社会福祉協議会の窓口
- 9 民生委員や主任児童委員
- 10 福祉サービスの事業所またはその職員
- 11 その他()

佐世保市では、行政・地域住民・事業者・ボランティアなど様々な主体が協力しながら、子どもも高齢者も、障がいのある人もない人も、誰もが支え合って安心して暮らせる地域づくりを行う、「地域福祉」を進める取り組みを行っています。

(問28) あなたは、上のような意味での「地域福祉」という言葉を知っていましたか。

(いずれか1つに○)

- 1 よく知っていた
- 2 少しは知っていた
- 3 ほとんど知らなかった(「聞いたことはあった」程度)
- 4 知らなかった

(問29) あなたは、「地域福祉」を進めることが必要だと思いますか。

(いずれか1つに○)

- 1 とても必要だ
- 2 どちらかと言えば必要だ
- 3 あまり必要ではない
- 4 まったく必要ではない
- 5 どちらとも言えない・わからない

(問30) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、自分ができることに取り組もうと思いますか。(いずれか1つに○)

- 1 積極的に取り組みたい
- 2 少しは取り組みたい
- 3 できれば何もしたくない
- 4 何もしようと思わない
- 5 その他()
- 6 わからない

(問31) 「地域福祉」を進めるために、行政と住民はどのような関係にあるべきだと思いますか。(いずれか1つに○)

- 1 行政が行うことなので、住民は何もしなくてよい
- 2 行政だけではできないことを住民が協力すればよい
- 3 いずれの場合も行政と住民が協力し合うべきだ
- 4 まず家庭や地域で助け合い、できないことを行政が支援するべきだ
- 5 その他 ()
- 6 わからない

(問32) あなたは、「地域福祉」を進めるためにさまざまな活動を行っている団体「佐世保市社会福祉協議会」を知っていますか。
(いずれか1つに○)

- 1 よく知っている
- 2 少しは知っている
- 3 ほとんど知らない(「名前は聞いたことがある」程度)
- 4 知らない

(問33) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、「佐世保市社会福祉協議会」が行う活動・支援として充実すべきことはどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものに3つまで○)

- 1 住民による身近な支え合い活動への支援
- 2 ボランティア・NPO 活動への参加促進と支援
- 3 在宅で生活するための福祉サービスの提供
- 4 身近に福祉の相談ができる窓口の設置
- 5 学校や地域での福祉教育の推進
- 6 福祉に関する情報発信(インターネット等を含む)
- 7 子育てに関する支援
- 8 障がいのある人や団体への支援
- 9 高齢者や団体への支援
- 10 その他 ()
- 11 特にない

佐世保市では、地域福祉に関する基本的な考え方などをまとめた「**地域福祉計画**」をつくりました。また、各地区の福祉推進協議会※が中心となり、地域住民が自ら取り組んでいくべき内容を地区ごとに「**地域福祉活動計画**」としてまとめ、これらの計画に基づく取り組みを進めています。平成22年3月に合併した江迎、鹿町地域においては、現在、作成準備が進められています。

※各地区内の町内会・自治会、民生委員、老人会、小・中学校、PTA、警察などの様々な団体が構成され、地域の問題を解決し、「福祉のまちづくり」を進める組織で、市内33地区に組織されています。

(問34) あなたは、「地域福祉計画」または「地域福祉活動計画」を知っていましたか。

(いずれか1つに○)

- 1 よく知っていた
- 2 少しは知っていた
- 3 ほとんど知らなかった（「聞いたことはあった」程度）
- 4 知らなかった

(問35) あなたは、「地域福祉計画」や「地域福祉活動計画」についてどう思いますか。

(いずれか1つに○)

- 1 とても意義がある
- 2 どちらかと言えば意義がある
- 3 あまり必要性を感じない
- 4 まったく必要性を感じない
- 5 どちらとも言えない・わからない

(問36) あなたは、「地域福祉」を進めるための取り組みについて、各地区の福祉推進協議会が中心となって進めることについてどう思いますか。

(いずれか1つに○)

- 1 当然中心となって進めるべきだ
- 2 少しは関わって進めるべきだ
- 3 あまり関わるべきではない
- 4 まったく関わるべきではない
- 5 その他 ()
- 6 わからない

(問37) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、各地区の福祉推進協議会が行う活動として充実すべきことはどのようなことだと思いますか。

(あてはまるものに3つまで○)

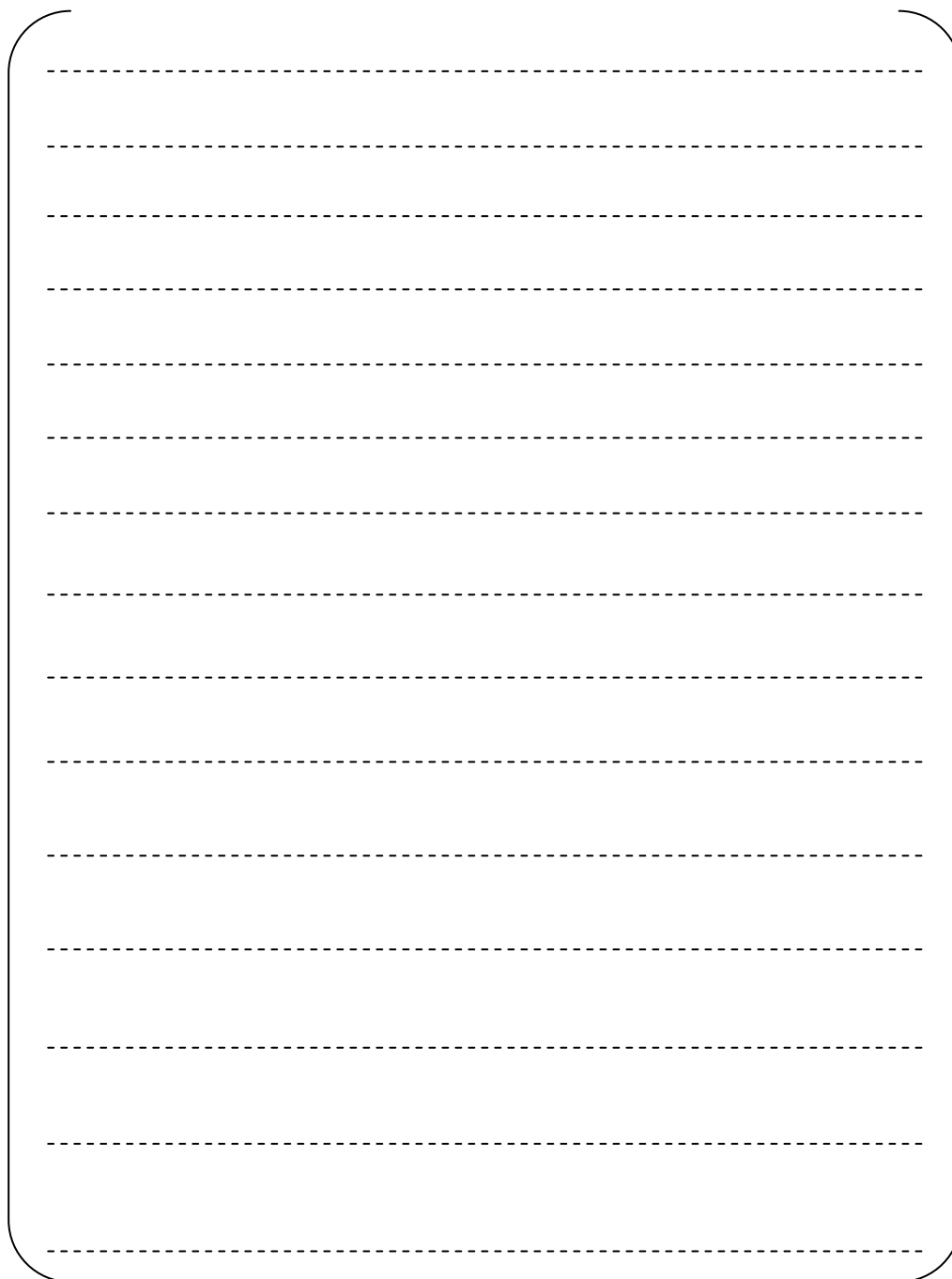
- 1 住民による身近な支え合いづくり
- 2 ボランティア活動への参加促進
- 3 身近な福祉の相談機能
- 4 子どもへの福祉教育
- 5 子育てに関する支援
- 6 障がいのある人への支援
- 7 高齢者への支援
- 8 その他 ()
- 9 特になし

(問38) あなたは、「地域福祉」を進めるうえで、地域内で個人情報※を共有することについて、どう思いますか。(いずれか1つに○)

※氏名・生年月日・性別・住所・家族構成など、特定の個人を識別できる情報のほか、病歴や通院履歴など、個人の私生活がわかってしまうおそれのある情報を指します。

- 1 積極的に共有すべきだ
- 2 ある程度共有すべきだ
- 3 あまり共有すべきではない
- 4 まったく共有すべきではない
- 5 その他 ()
- 6 わからない

(問39) 「地域福祉」に関する取り組みについて、ご意見やご提案などがございましたら
お書きください。



※ご住所やお名前、または個人が特定される記載は
しないでください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。